取扱説明書

通話録音装置
VR-D170
VR-D170AⅡ

このたびは通話録音装置 VR-D170/VR-D170AⅡをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
本取扱説明書は、「再生ソフト VPS170」のバージョン《Ver.1.2.*》の製品に対応しています。
お使いになる前にこの取扱説明書をお読みいただき正しくお使いください。
お読みになったあとも大切に保管していただき、必要なときにお役立てください。

株式会社 タカコム

もくじ

安全にお使いいただくために 2
お使いになる前に 4

本体装置 VR-D170 編 7

各部の名前とはたらき（VR-D170） 8
時計を合わせる 10
通話を録音する（VR-D170） 12
録音 12
ディスプレイ表示 14
エンドレス録音について 14
SD カードについて.......................... 14
通話の再生とファイルの操作をする 16
再生 16
ファイルの操作 19
再生とファイルの操作を禁止する............ 20
USB でパソコンと接続する 22
設置（VR-D170）......................... 24
電源の接続 24
音源の接続 24
機能設定スイッチの切り替え................ 25
入力切替スイッチの設定.................... 26
録音レベルの調整 26
セキュリティカバーの取り付け.............. 28
機能登録を変える 30
設定一覧 30
変更方法 31
操作早見表 32

本体装置 VR-D170AⅡ 編................. 33

各部の名前とはたらき（VR-D170AⅡ ） 34
通話を録音する（VR-D170AⅡ ） 36
録音 36
ディスプレイ表示 38
エンドレス録音について 38
SD カードについて.......................... 38
設置（VR-D170AⅡ ） 39
電源の接続 39
音源の接続 39
機能設定スイッチの切り替え................ 40
入力切替スイッチの設定.................... 41
録音起動の確認 42
録音レベルの調整 42
その他の接続 44
セキュリティカバーの取り付け.............. 46
VR-D170AⅡ その他の取り扱いについて........ 46

再生ソフト VPS170 編 47

はじめに................................ 48
本ソフトの概要 48
インストール 48
ソフトの起動・終了 53
操作のしかた 54
再生ソフト VPS170 の基本画面.............. 54
フォルダの操作 55
ファイルのバックアップ保存................ 58
SD カード取り外し時の注意 59
ファイルの操作 60
再生 68
USB データ転送............................ 72
設定 76
ツールボタンについて 79

主な仕様................................ 80

故障とお考えになる前に 81

アフターサービスについて 82

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容および利用できない機能などの内容を示しています。

ワンポイント

この表示は、本製品を取り扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。

警告 ご使用にあたって

本装置がぬれたり、水が入らないようご注意ください。また、ぬれた手で本装置を操作しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

本装置のケースをはずしたり、改造しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。内部の点検・清掃・修理は、当社のサービス担当にご依頼ください。

本装置の通風口などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。万一、異物が入ったときは、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス担当にご連絡ください。

警告 電源について

AC100V の電源コンセント以外には、絶対に接続しないでください。また、テーブルタップなどを使用したタコ足配線はしないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。

電源アダプタは大切に扱ってください。
コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、加工や加熱したり、傷つけたりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因になります。コードが傷んだ場合は、当社のサービス担当にご連絡ください。

電源アダプタは添付のもの以外は使用しないでください。
火災・感電の原因になります。

電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに確実に差し込んでください。また、定期的に電源アダプタをコンセントから抜いて、点検・清掃をしてください。
ほこりにより火災・感電の原因になります。

警告 設置場所や環境について 設置にあたって

本装置のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属類をおかないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因になります。万一、異物が入った場合は、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス担当にご連絡ください。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
倒れたり、落下してけがの原因になります。

警告　設置場所や環境について　設置にあたって

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

警告　こんなときは（対処のしかた）

雷が鳴り出したら、本装置や電源アダプタには触れないでください。
落雷による感電の原因になります。

動作が異常、音が出ないなど故障状態のままで使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

煙が出ている、変な臭いがするなど異常状態のまま使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、煙が出なくなることを確認して当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

内部に水が入った場合は、使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

本装置を落としたり、ケースを破損した場合は、使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

床や壁の掃除などによって、電源アダプタやモジュラージャックに洗剤・ワックスなどが付着しないようにしてください。
付着した場合にはすぐに拭き取ってください。そのまま使用すると、火災の原因になります。

注意　使用方法・設置環境について

直射日光の当たる場所や温度の高いところに置かないでください。
内部の温度が上がり、火災の原因になります。

密閉したところに置かないでください。また、テーブルクロスや座布団などで通風口をふさがないでください。
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電や、漏電火災の原因になることがあります。

お願い　使用方法・設置環境について

落としたり強い衝撃を加えないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。
汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れを拭き取り、柔らかい布でカラぶきをしてください。

極端に寒いところ、ちりやほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所に置かないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

テレビ・ラジオ・こたつ・アンプ・スピーカボックス・電気カーペットの上など磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

- この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
  ＶＣＣＩ－Ｂ
- 本装置の仕様は国内向けになっていますので、規格の異なる海外でご利用いただくことはできません。
  This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.
- 正常な使用状態で本装置に故障が生じた場合、当社は本装置の保証書に定められた条件に従って修理いたします。
  ただし、本装置の故障･誤動作または不具合により、通話などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- この取扱説明書、ハードウエア、ソフトウエアおよび外観の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 共同電話、公衆電話、地域集団電話ではご使用になれません。
- Windows は Microsoft Corporation の、Pentium は Intel Corporation の登録商標です。また、社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

お使いになる前に

本システムは、本体装置の「通話録音装置 VR-D170」（以下、「VR-D170」と記します。）と「通話録音装置 VR-D170AⅡ」（以下、「VR-D170AⅡ」と記します。）、およびパソコンで音声ファイルが再生できる「再生ソフト VPS170」（以下、「VPS170」と記します。）で構成されます。
「VR-D170」は、通話録音の音源として「受話器」に接続する方法と「外部音源」に接続する方法があります。
「VR-D170AⅡ」は、上記の２つの方法のほかに「回線」に接続して通話録音することもできます。

■セットの確認

次のものがそろっていることをご確認ください。万一、セットに足りないものがあったり、取扱説明書に落丁・乱丁があったときは、販売店または当社営業所へご連絡ください。

品名	数量
本体	1
電源アダプタ	1
SD カード	1
セキュリティカバー	1
モジュラーコード　20cm	1
モジュラーコード　3m（注）	1
USB ケーブル　1 m	1
再生ソフト　VPS170（CD-ROM）	1
取扱説明書	1

（注）モジュラーコード 3m は「VR-D170AⅡ」のみに添付されます。

■停電について

● 停電すると本装置は通話の録音はできません。録音中に停電すると、直ちに本装置は停止します。録音中の内容は保存できません。
● 内蔵の時計は、約 10 年間バックアップされています。
● 各種設定や保存されている録音が消えることはありません。

■システム概要

●接続方式（通話音声の入力方法）

・**受話器接続**
電話機の受話器に接続します。
・**外部入力接続**
電話機の音声出力端子と接続します。
・**回線接続**
電話回線に接続します。（「VR-D170AⅡ」のみ）

●録音方式

・**自動録音**
音声の有無で録音開始・録音終了を制御します。
・**手動録音**
本装置の録音ボタンを押すと録音を開始し、停止ボタンを押すと録音を終わります。

●起動方式

・**音声起動**
音声の有無で録音開始・録音終了を制御します。
・**外部起動（「VR-D170AⅡ」のみ）**
本装置外からの信号で録音の開始・終了を制御します。

●外部録音装置の制御（「VR-D170AⅡ」のみ）

本装置と外部の録音装置を連動して録音制御することができます。

●ビギニング録音機能

手動録音方式で、通話の途中で録音ボタンを押したときに、その通話の最初からの録音を残すことができます。

●録音モード

標準の「ＳＰモード」と､録音時間が２倍になる「ＬＰモード」を選択することができます。

●エンドレス録音

１枚の SD カードでエンドレス録音をすることができます。すべて使い切ると、古い録音を消しながら新しい録音を記録します。

●再生速度

「標準／早い（1.5 倍）」の２モードがあります。

●重要マーク

特定の音声ファイルに重要マークをつけ、重要ファイルだけを再生することができます。

●セキュリティ

SD カードや本体装置の盗難防止のために、セキュリティカバーとセキュリティワイヤーを取り付けることができます。また、本体装置のボタン操作を禁止する暗証番号の登録ができます。

●再生ソフト VPS170

添付の「VPS170」をインストールし、音声ファイルをパソコンで再生することができます。

■ SD カードについて

● 種類

ご利用になれる「SD カード」の容量と、おおよその録音時間は次のとおりです。

容量	録音モード	
	SP モード	LP モード
128MB	8.5 時間	17 時間
256MB	17 時間	34 時間
512MB	34 時間	68 時間
1GB	68 時間	136 時間
2GB	136 時間	272 時間

- 1 枚の SD カードに 10,000 件以上の録音を記録することはできません。
- SD カードは本装置専用としてください。他の機器で使用した SD カードは、必ず本装置でフォーマットをしてからお使いください。SD カード内に本装置以外のデータが混在すると、誤動作の原因となることがあります。
- 市販の SD カードは、まれに正常に機能しないことがあります。本装置で動作確認済みの SD カードを、弊社ホームページに掲載しています。市販品をお求めの場合は、弊社ホームページで品名などをご確認の上お求めください。
  【タカコムホームページアドレス】
  http://www.takacom.co.jp

● 本装置に入れる

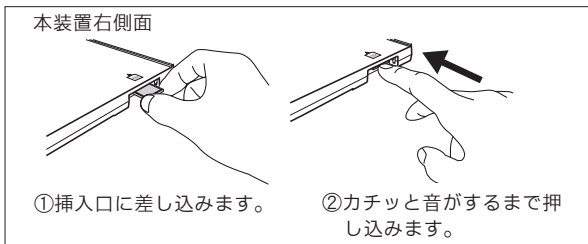
SD カードのライトプロテクトがロックされていないことを確認して、表面を上にして SD カード挿入口に差し込みます。奥までしっかり差し込みます。

※カチッと音がして、カードが少し戻ります。

①挿入口に差し込みます。　②カチッと音がするまで押し込みます。

STOP お願い

- 差し込む方向と表裏を間違えないように注意してください。間違えると機器を破損することがあります。

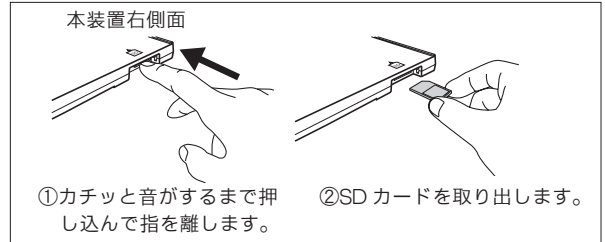
- 本装置では、SD カードのライトプロテクトがロックされた状態では使用できません。必ずロックを解除してセットしてください。
- 差し込んだとき、ディスプレイにエラーを表示した場合は、もう一度差しなおしてください。

● 本装置から取り出す

本装置が【待機画面】で、ディスプレイの SD カードマークが点滅していないことを確認します。

SD カードを押し込みます。

※カチッと音がしたら、指を離します。

SD カードをつまんで取り出します。

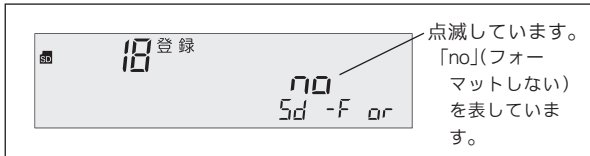
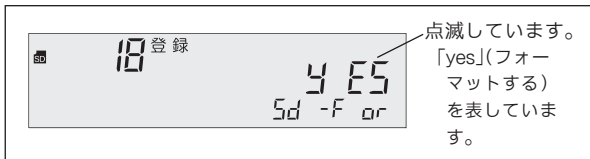
①カチッと音がするまで押し込んで指を離します。　②SD カードを取り出します。

STOP お願い

- SD カードマークが点滅中は、SD カードを取り出さないでください。内部のデータが壊れることがあります。

●フォーマット

新しいSDカードを初めて本装置に装着すると、自動的に本装置専用のフォーマットをします。
ご使用中のSDカードをフォーマットする方法は次のとおりです。フォーマットをするとすべての録音内容が消去されますのでご注意ください。

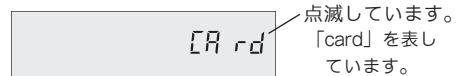
＜手順＞

① 31ページの手順で機能登録モードにします。
② 手順２で登録番号を「18」にし 登録 ボタンを押します。

③ 早送 ボタンを押し表示を下の図にして 登録 ボタンを押します。

④ フォーマットが始まります。
⑤ フォーマット終了後、 停止 ボタンを押すと【待機画面】になります。

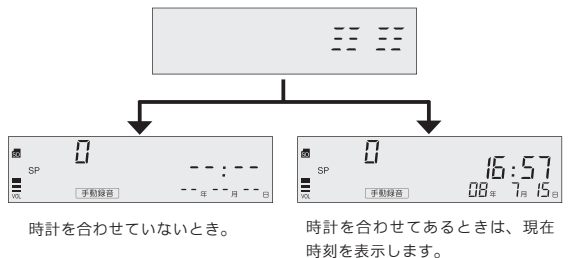
お願い

- パソコンでSDカードの内容を編集しないでください。本装置でデータを読み書きすることができなくなることがあります。
- パソコンでSDカードをフォーマットするときは、FAT（FAT32を除く）でフォーマットしてください。

ワンポイント

- SDカードが入っていない、または入っていても入り方が完全でない場合スピーカから警報音（「ピピ、ピピ」）がでて、ディスプレイに次のように表示します。

任意のボタンを押すと警報音を止めることができます。

- SDカードを入れるとディスプレイは数秒間下のような表示になり、その後【待機画面】を表示します。

時計を合わせていないとき。　時計を合わせてあるときは、現在時刻を表示します。

■運用開始までの手順

1 設置と機器の接続
VR-D170：24ページ／VR-D170AⅡ：39ページ
電源や電話機の接続をします。

2 時計を合わせる
10ページ
本装置内蔵の時計を合わせます。録音時刻を記録する時計になります。

3 機能設定
VR-D170：25ページ／VR-D170AⅡ：40ページ
本装置裏面の機能設定スイッチで録音方式や録音起動方式、音源接続方式（通話音声の入力方法）などを設定します。

4 録音レベル調整
VR-D170：26ページ／VR-D170AⅡ：42ページ
送話および受話の音量などを調節します。

5 各種機能登録
30ページ
必要であれば、機能登録を変更します。

本体装置 VR-D170 編

各部の名前とはたらき（VR-D170）

上　面

番号	名称	主なはたらき
1	スピーカ	録音内容を拡声します。
2	登録ボタン	機能登録をするときに使用します。
3	消去ボタン	音声ファイルを消去するときに押します。
4	重要ボタン	重要マークをつけるときに押します。
5	セキュリティボタン	セキュリティロックを解除するときに押します。
6	録音ランプ	録音待機時に緑、録音時に赤で点灯します。
7	録音ボタン	手動録音では録音するとき、自動録音では録音待機にするときに押します。
8	停止ボタン	いろいろな動作を終了するときに押します。
9	再生／一時停止ボタン	音声ファイルを再生するときや一時停止するときに押します。
10	早送ボタン	再生時に録音内容を進めるときに押します。
11	巻戻ボタン	再生時に録音内容を戻すときに押します。
12	音量ボタン	再生音量を調節するときに＋・－を押します。
13	ディスプレイ	動作状況や録音された内容の情報を表示します。

側　面

番号	名称	主なはたらき
1	電話機ジャック	電話機の受話器ジャックと接続します。
2	受話器ジャック	受話器を接続します。
3	レベル調整スイッチ	送受話のレベルを調整するとき「設定」側に切り替えます。
4	イヤホンジャック	イヤホンを接続します。
5	SD カード挿入口	SD カードを挿入します。

後　面

番号	名称	主なはたらき
1	セキュリティカバー挿入口	セキュリティカバーを挿入します。
2	セキュリティスロット	市販のセキュリティワイヤーを接続します。
3	電源アダプタジャック	電源アダプタを接続します。
4	USB コネクタ	USB ケーブルを接続します。
5	外部入力ジャック	外部音源の入力ケーブルを接続します。

裏　面

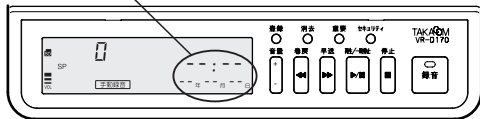
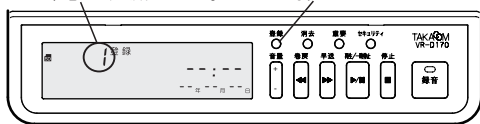
①
②
③
④
⑤

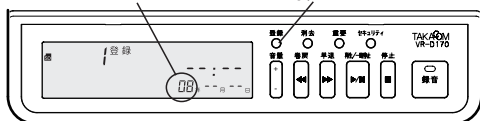
番号	名称	主なはたらき
1	入力切替スイッチ 1	受話器接続時の送受話ピン番号を、接続する電話機に合わせて切り替えます。また、外部入力接続時のレベルを切り替えます。
2	入力切替スイッチ 2	
3	入力切替スイッチ 3	
4	機能設定スイッチ	録音方式や録音起動方式などの機能を設定します。
5	電源アダプタコードガイド	電源アダプタコードをガイドに沿って収納します。

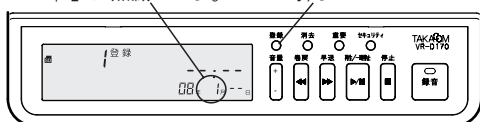
ディスプレイの表示項目

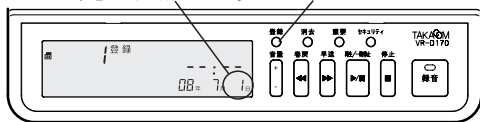
時計を合わせる

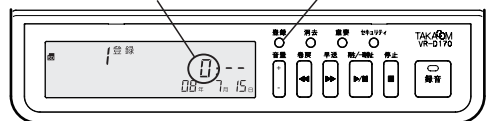
最初に時計を合わせます。通話録音開始の時刻を記録するときにこの時計の値が使われます。
例：2008 年 7 月 15 日 14 時 38 分に合わせます。

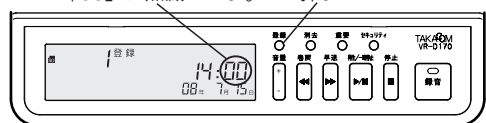
1 最初に電源を入れ、SD カードを入れた状態です。

2 登録 ボタンを押します。
※登録モードになり、登録番号「1」が点滅します。

3 もう一度 登録 ボタンを押します。
※「年」が点滅します。

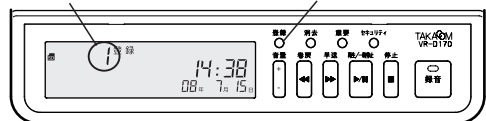
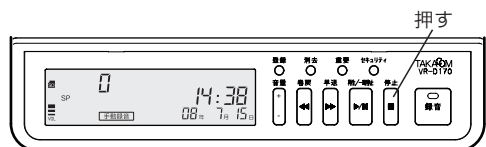
「08」が点滅します。　押す

●「年」を合わせます。
巻戻 ／ 早送 ボタンを押して、合わせる年（08）を表示します。

4 登録 ボタンを押します。
※「年」が登録されて「月」が点滅します。

●「月」を合わせます。
巻戻 ／ 早送 ボタンを押して、合わせる月（7）を表示します。

5 登録 ボタンを押します。
※「月」が登録されて「日」が点滅します。

●「日」を合わせます。
巻戻 ／ 早送 ボタンを押して、合わせる日（15）を表示します。

6 登録 ボタンを押します。
※「日」が登録されて「時」が点滅します。

●「時」を合わせます。
巻戻 ／ 早送 ボタンを押して、合わせる時（14）を表示します。

7 登録 ボタンを押します。
※「時」が登録されて「分」が点滅します。

●「分」を合わせます。
巻戻 ／ 早送 ボタンを押して、合わせる分（38）を表示します。

8 登録 ボタンを押します。
※「分」が登録されます。
※登録番号の選択に戻り、登録番号「1」が点滅します。

9 停止 ボタンを押します。
※【待機画面】が表示されます。
※合わせた日付と時刻が表示され「：」が点滅します。

ワンポイント

- 時刻を修正するときは、手順 1 から同様の操作をします。
- 手順 8 で 登録 ボタンを押したときにゼロ秒になります。
- 操作の途中で２分間何も操作をしないと、それまでの処理をキャンセルし、【待機画面】に戻ります。
- 途中で 停止 ボタンを押すと、それまでの操作をすべてキャンセルし、手順２に戻ります。

通話を録音する（VR-D170）

録音

本装置の録音方式には、手動録音と自動録音の２種類があります。いずれかの方式を機能設定スイッチで設定します。設定方法は「設置（VR-D170） 機能設定スイッチの切り替え」（25 ページ）を参照してください。

■手動録音方式

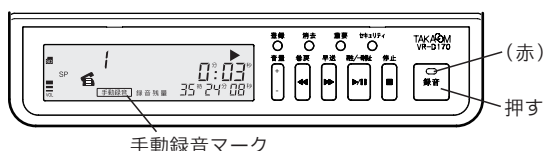
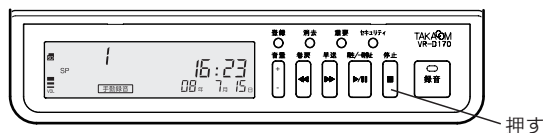
ボタン操作で録音の「開始／停止」を行う方式です。

ディスプレイに手動録音マークを表示していることを確認します。

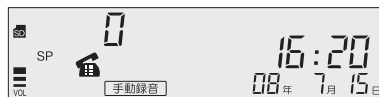
---

1 録音 ボタンを押すと、録音を開始します。
※録音ランプが赤色点灯に変わります。

手動録音マーク

---

2 停止 ボタンを押すと、録音を終了します。
※録音ランプが消灯に変わります。

ビギニング録音機能について

● 本装置の手動録音方式では、ビギニング録音機能が設定できます。ビギニング録音機能を設定すると、通話の途中で録音を開始した場合でも、その通話の始まったときからの通話内容を録音保存できます。

【ビギニング録音中のディスプレイ表示】

※待機中の画面で録音中マークと録音モードを表示します。

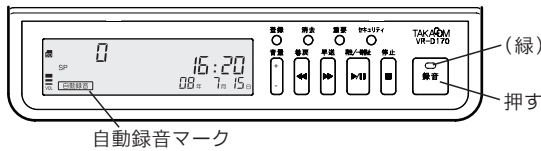
● ビギニング録音の設定方法は「機能登録を変える」（30 ページ）を参照してください。

ワンポイント

● 通話の音声が小さいなどで「録音中マーク」が表示されないときは、ビギニング録音はされません。
● ビギニング録音が最大録音時間を超えた場合、その録音は一旦キャンセルされ、引き続き新しいビギニング録音が始まります。
● ビギニング録音中は各操作ボタンが有効です。ボタン操作を行うとそのビギニング録音は一旦キャンセルされますが、操作を終了して【待機画面】に戻ると新しいビギニング録音が始まります。

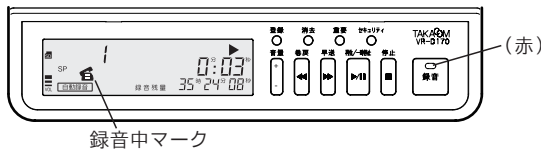
■自動録音方式

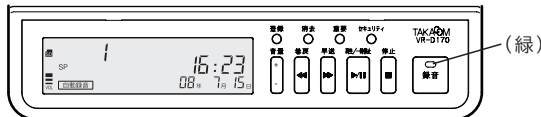
本装置を録音待機状態にセットして、通話時の音声の「有り／無し」により自動的に録音が「開始／停止」する方式です。機能設定スイッチを「音声起動」に設定します。設定方法は「設置（VR-D170） 機能設定スイッチの切り替え」（25 ページ）を参照してください。

ディスプレイに自動録音マークを表示していることを確認します。

1 録音 ボタンを押します。

※録音ランプが緑色点灯して、録音待機状態になります。

2 通話の音声が検出されると録音を開始します。

※録音ランプが赤色点灯に変わります。

3 音声がなくなると一定時間後に録音を終了します。

※録音ランプが緑色点灯に変わります。

● 自動録音を終了するときは、停止 ボタンを押します。

※録音ランプが消灯して、【待機画面】に戻ります。

ワンポイント

● 音声がなくなってから、停止するまでの時間を変更することができます。「機能登録を変える」（30 ページ）を参照してください。

● 音声起動方式で通話録音を行なった場合、無音時間が長い、または音声が小さいなどの理由により、音声ファイルが複数に分割されることがあります。

● 自動録音方式で「自動録音待機セット」の設定が“使用する”の場合は、【待機画面】に戻ったあと 30 秒経過すると録音ランプが点灯（緑）して録音待機状態になります。

■録音中の操作

録音中には次のような操作を行うことができます。

●重要マークを付ける

大切な用件に重要マークを付けて、誤って消去することがないようにできます。

1 録音中に 重要 ボタンを押します。

※録音中のファイルに重要マークが付きます。

◆ 重要マークの付いたファイル（重要ファイル）

重要マークを付けることにより、重要ファイルだけを再生することができます。「再生　重要ファイルモード」（18 ページ）を参照してください。

ワンポイント

● 一度付けた重要マークは録音中に消去することはできません。
録音を終了して「ファイルの操作　重要マークの消去」（20 ページ）の方法で消去してください。

● 重要ファイルはそのままで消去することができません。重要マークを消去してからファイルを消去してください。

●録音中の音声をモニターする

本装置のイヤホンジャックにイヤホンを接続すると、録音中の音声をモニターすることができます。モニター音は音量ボタンで調節できます。

※イヤホンは市販の「モノラル・ミニプラグ」の商品をご用意ください。

ワンポイント

● 録音中の音声を本装置のスピーカからモニターすることはできません。

ディスプレイ表示

録音時にはディスプレイに次のような録音情報を表示します。

■録音待機中の表示

■録音中の表示

エンドレス録音について

機能登録で「エンドレス録音」を“使用する”に設定した場合は、SD カードの録音残量が少なくなると古い音声ファイルから順に自動的に消去して録音を継続します。ただし、重要ファイルは自動消去されません。

エンドレス録音の設定方法は「機能登録を変える」（30 ページ）を参照してください。

SD カードについて

■ SD カードを使い切ると

SD カードの録音時間を使い切ると下図のような表示になり、アラーム音が鳴ります。また、自動録音方式の場合は録音ランプが緑の点滅に変わります。

また、1 枚の SD カードに保存できる音声ファイルは、最大 9999 件です。9999 件になると、録音残量がゼロでなくても、下図の表示が出て以後の録音はできません。

これらの表示が出たら、SD カードを交換するか、不要なファイルを消去してください。

■録音残量の表示

待機中に SD カードの録音残量を確認することができます。詳しくは「ファイルの操作　録音残量表示」（19 ページ）を参照してください。

■ SD カードの交換

SD カードの交換のしかたは「お使いになる前に　SD カードについて」（5 ページ）を参照してください。

STOP お願い

● SD カードマークが点滅中は、SD カードを取り出さないでください。保存されているデータが壊れることがあります。

■ファイルの消去

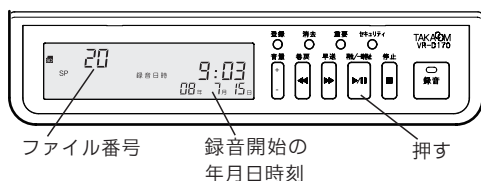
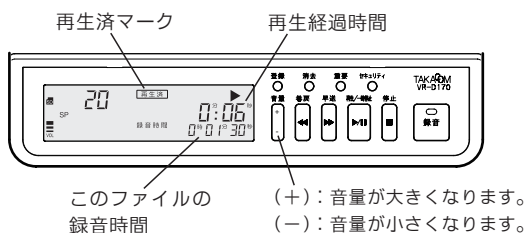
音声ファイルの消去のしかたは「ファイルの操作　ファイルの消去」（19 ページ）を参照してください。

通話の再生とファイルの操作をする

再生

録音ランプが点灯しているときは、［停止］ボタンを押して消灯します。

1 ［巻戻］／［早送］ボタンを押して、再生するファイルを選択します。

2 再生するファイルが表示されたら、［再生／一時停止］ボタンを押します。

3 再生が始まります。

再生音は［音量］ボタンで調節することができ、本装置のスピーカから聞こえてきます。

※「タイムスタンプ」が“使用する”に設定されていると、録音が開始された「月日時刻」を再生したあとに録音内容が再生されます。

※「再生済み表示」が“使用する”に設定されていると、再生開始後しばらくすると、再生済マークを表示します。

※「タイムスタンプ」「再生済み表示」については 、「機能登録を変える」（30 ページ）を参照してください。

4 複数のファイルがある場合は、ファイル番号の若い順に再生を続けます。

※最後のファイルの再生が終了すると、約２秒間【再生終了表示】して【待機画面】に戻ります。

【再生終了表示】

※【再生終了表示】中に［巻戻］ボタンを押すと、巻き戻しや１つ前のファイルに移動することができます。

ワンポイント

● 本装置のイヤホンジャックにイヤホンを接続すると、再生音をイヤホンから聞くことができます。この場合、スピーカから再生音は拡声されません。

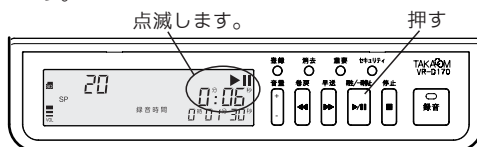
※イヤホンは市販の「モノラル・ミニプラグ」の商品をご用意ください。

■再生中の操作

再生中には次のような操作を行うことができます。

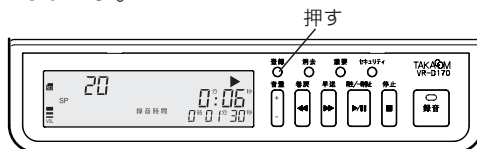
●一時停止

1 再生中に［再生／一時停止］ボタンを押します。

※再生を中断して一時停止マークと再生時間が点滅します。

再生に戻るときは、もう一度［再生／一時停止］ボタンを押します。

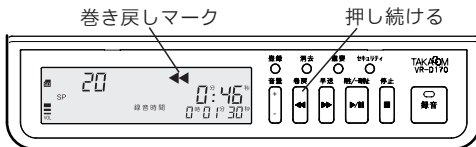
※一時停止が２分以上継続すると、再生を停止して【待機画面】に戻ります。

●早聞き

1 再生中に［登録］ボタンを押すと、再生速度が 1.5 倍になります。

もう一度［登録］ボタンを押すと通常の再生速度に戻ります。

再生が終了するかまたは［停止］ボタンを押すと、次からの再生は、通常の速度で再生します。

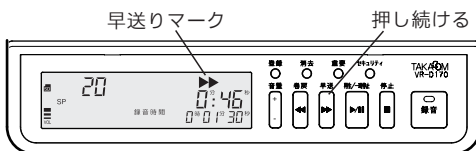
●巻き戻し

1 再生中に 巻戻 ボタンを 0.5 秒以上押し続けると、ファイルは次の様に巻き戻しされます。
- ・最初の 5 秒間は、中速（約 7.5 倍）で巻き戻します。（再生音は聞こえません。）
- ・以後は、高速（約 25 倍）で巻き戻します。（再生音は聞こえません。）

ボタン押しを止めると再生に戻ります。

※巻き戻し中にファイルの冒頭に来ると、1 つ前のファイルを巻き戻します。

※すべてのファイルを巻き戻すと、巻き戻しを終了し巻き戻しマークが消えます。ボタン押しを止めると再生を開始します。

●早送り

1 再生中に 早送 ボタンを 0.5 秒以上押し続けると、ファイルは次の様に早送りされます。
- ・最初の 5 秒間は、早聞きで再生します。
- ・次の 5 秒間は中速（約 7.5 倍）で早送りします。（再生音は聞こえません。）
- ・以後は高速（約 25 倍）で早送りします。（再生音は聞こえません。）

ボタン押しを止めると再生に戻ります。

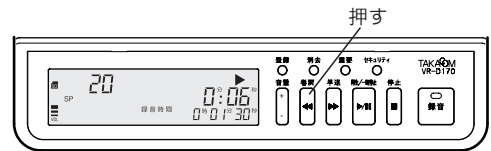
※早送り中にファイルの終わりになると、次のファイルを早送りします。

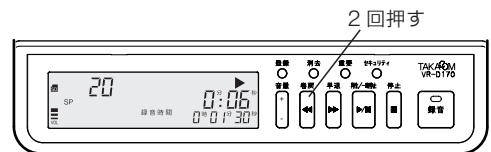
※すべてのファイルを早送りすると【再生終了表示】になります。

ワンポイント

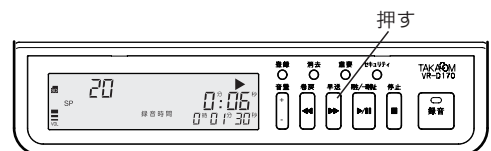
● タイムスタンプの再生中は、 巻戻 / 早送 のボタン操作はできません。

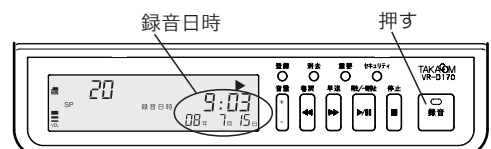
●再生中のファイルの冒頭に戻る

1 再生中に 巻戻 ボタンを押すと、そのファイルの冒頭に戻り、再生を始めます。ただしタイムスタンプは再生しません。

●1 つ前のファイルに移動する

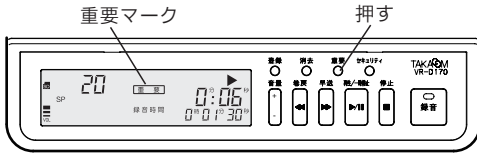
1 再生中に 巻戻 ボタンを 2 回押すと、1 つ前のファイルの冒頭に移動して、再生を始めます。ただしタイムスタンプは再生しません。
- ・ボタンを押す間隔は、0.5 秒以内にします。

●次のファイルに移動する

1 再生中に 早送 ボタンを押すと、次のファイルの冒頭に移動して、再生を始めます。

※最後のファイルを再生中にこの操作を行うと、約 2 秒間【再生終了表示】して【待機画面】に戻ります。

●録音日時を表示する

1 再生中に 録音 ボタンを押すと、約 3 秒間そのファイルの録音日時を表示します。

●重要マークを付ける

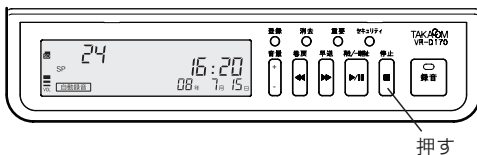
大切なファイルに重要マークを付けて、誤って消去することがないようにできます。

1 再生中に 重要 ボタンを押します。
※再生中のファイルに重要マークが付きます。

ワンポイント

- 一度付けた重要マークは再生中に消去することはできません。
  再生を終了して「ファイルの操作　重要マークの消去」（20 ページ）の方法で消去してください。
- 重要ファイルはそのままで消去することができません。重要マークを消去してからファイルを消去してください。

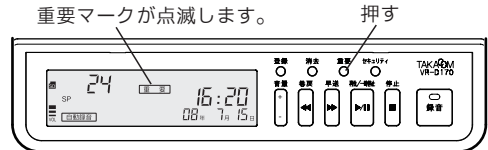
■再生を終了する

再生を途中で終了するときは 停止 ボタンを押します。

1 再生中に 停止 ボタンを押します。
※再生を終了して【待機画面】に戻ります。

■重要ファイルモード

SD カードに保存されている音声ファイルの中から、重要ファイルだけを操作することができます。

●重要ファイルモードにする

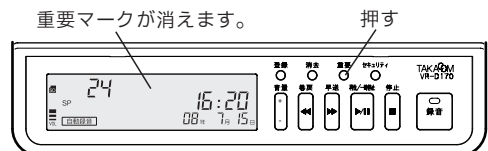
1 【待機画面】または【録音情報表示画面】のときに 重要 ボタンを押します。
※重要マークが点滅表示します。
※重要ファイルのファイル番号を表示します。

2 再生およびファイルの操作は、重要ファイルのみが対象となります。
※操作方法は通常と同じですが、このモードではファイルに付いた重要マークを消去することはできません。

ワンポイント

- 手順 1 で 重要 ボタンを押したときに、重要ファイルが 1 つもない場合は、次の表示となり重要ファイルモードになりません。

- 30 秒間ボタン操作を行わないと重要ファイルモードは解除されます。

●重要ファイルモードを解除する

1 重要ファイルモードの【待機画面】または【録音情報表示画面】のときに 重要 ボタンを押します。
※重要マークの点滅表示が消え、重要ファイルモードは解除されます。

ワンポイント

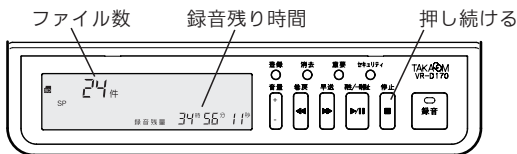
- 重要ファイルモードは、 録音 ボタンを押したときにも解除されます。
  ※自動録音方式では録音待機となり、手動録音方式では録音を開始します。

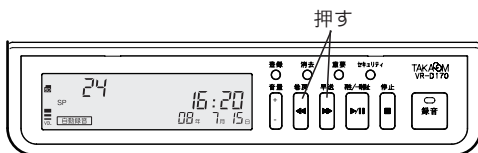
ファイルの操作

【待機画面】（録音ランプ消灯、再生や登録をしていない画面）のときに、次のような操作ができます。

■録音残量表示

1 停止 ボタンを押します。

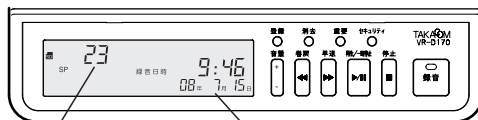
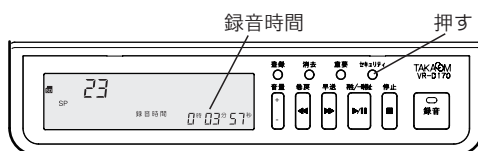
※押している間、録音されているファイルの件数とSDカードの録音残量（時間）を表示します。

■ファイルの移動と録音情報表示

1 巻戻 ／ 早送 ボタンを押します。

※ 巻戻 ボタンは１つ前のファイルへ、早送 ボタンは１つ先のファイルへ、押すたびに移動します。

※一番新しいファイルで 早送 ボタンを押すと、一番古いファイルに移動します。また、一番古いファイルで 巻戻 ボタンを押すと、一番新しいファイルに移動します。

※ 停止 ボタンを押しながら 巻戻 ／ 早送 ボタンを押すと、それぞれ最古ファイル／最新ファイルへ移動します。

2 ファイルを移動したとき、約５秒間そのファイルの録音情報を表示します。

【録音情報表示画面】

3 録音情報を表示中に セキュリティ ボタンを押すと、押している間、そのファイルの録音時間を表示します。

ワンポイント

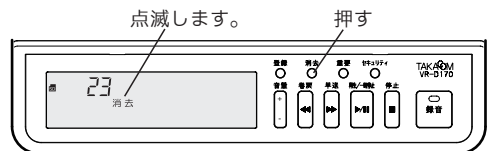
● 巻戻 ／ 早送 ボタンを押し続けると、ファイルの移動が高速で行えます。

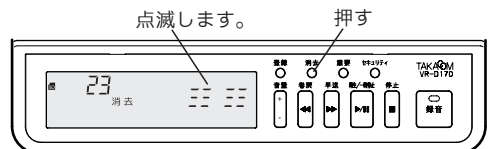
- ・最初の５秒間　：1ファイル単位で増減。
- ・次の５秒間　：10ファイル単位で増減。
- ・10秒以降　：100ファイル単位で増減。

■ファイルの消去

1 「ファイルの移動」の方法で消去するファイルを選びます。

2 消去 ボタンを押します。

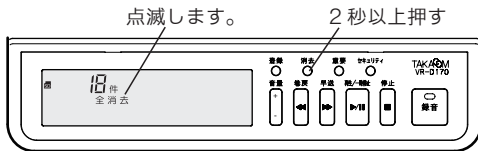
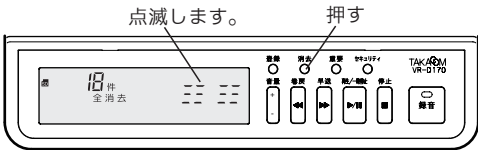
※消去マークが点滅表示します。

3 もう一度 消去 ボタンを押します。

※"ピッピッ･･･"と鳴って次の表示となり消去されます。

ワンポイント

● 重要ファイルを消去することはできません。重要ファイルを選択しているときに 消去 ボタン押すと、"ピッピッ･･･"と鳴って次の表示となり消去できません。

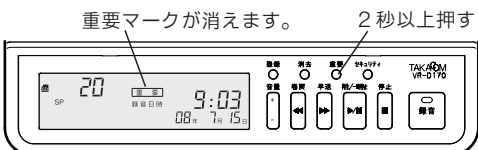
● 重要ファイルを消去するときは、「重要マークの消去」の方法で重要マークを消去したあとファイルの消去をするか、SDカードをフォーマットします。フォーマットするとSDカード内のすべてのファイルが消去されます。フォーマットについては、「お使いになる前に」（6ページ）を参照してください。

■すべてのファイルの消去

1 消去 ボタンを２秒以上押し続けます。
※全消去マークが点滅表示します。
※重要ファイルを除くファイル数（消去されるファイル数）を表示します。

2 もう一度 消去 ボタンを押します。
※“ピッピッ･･･”と鳴って次の表示となり、重要ファイル以外のすべてのファイルが消去されます。

■重要マークの消去

重要ファイルに指定したファイルを、通常のファイルに戻します。

1 「ファイルの移動」の方法で重要マークを消去するファイルを選びます。

2 重要 ボタンを２秒以上押し続けます。
※“ピッ”と鳴って重要マークが消えます。

重要ファイルモードでは･･･

- 録音残量表示で表示されるファイル数は、重要ファイルの数です。
- ファイルの移動では重要ファイルだけが１ファイル単位で表示されます。高速での移動はできません。
- ファイルの消去、全消去はできません。
- 重要マークの消去はできません。

再生とファイルの操作を禁止する

機能登録の「セキュリティロック」を“使用する”に設定した場合、４桁の暗証番号を登録すると「録音の開始と停止」以外の操作を制限することができます。

■セキュリティロック中の表示

● **セキュリティロック対象外の操作**

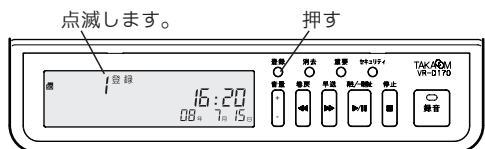
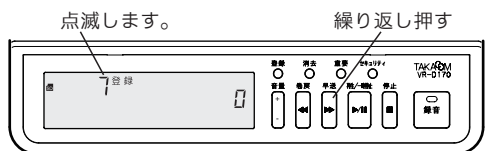
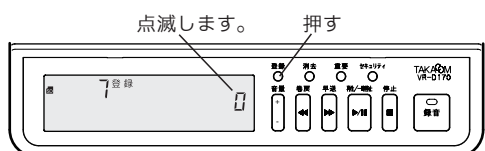
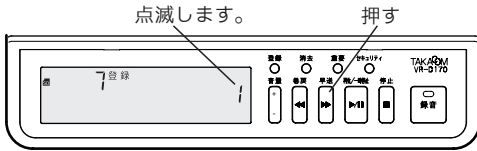
次の操作はセキュリティロック中でも可能です。

- ・自動録音方式での録音待機セットと解除。
- ・手動録音方式での録音開始と停止。
- ・機能設定スイッチ、入力切替スイッチ、レベル調整スイッチの操作。

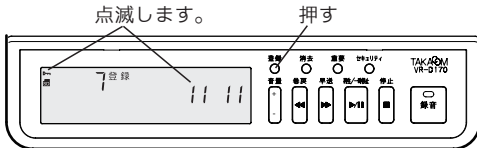
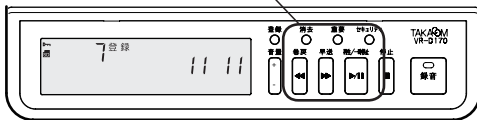
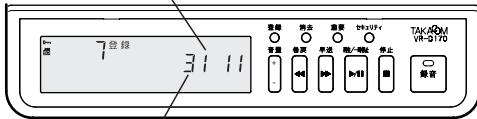
■セキュリティロックの設定方法

セキュリティロックの設定と暗証番号の登録は、次の手順で行います。

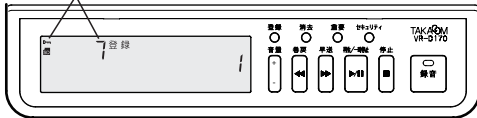
録音ランプが点灯しているときは、停止 ボタンを押して消灯します。

1 登録 ボタンを押します。
※登録モードになり、登録番号「1」が点滅します。

2 早送 ボタンを押して、登録番号を「7」まで進めます。

3 登録 ボタンを押して、登録番号を決定します。
※現在の登録値「0」が点滅します。

4 早送 ボタンを押して、登録値を「1」にします。

5 登録 ボタンを押して、登録値を決定します。

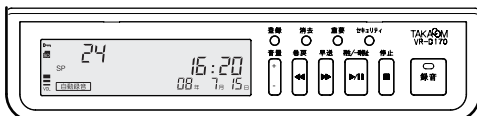
※初期値の暗証番号「１１１１」を表示して、1桁目が点滅します。

※セキュリティマークが点滅表示します。

6 消去、重要、セキュリティ、巻戻、早送、再生／一時停止 のいずれかのボタンで暗証番号の1桁目を登録します。

7 いずれかのボタンを押して1桁目を登録すると、2桁目が点滅します。

※ セキュリティ ボタンが押された例。

同様に、２～４桁目の暗証番号を入力します。

8 4桁目の暗証番号を入力し 登録 ボタンを押すと、セキュリティロックの設定を完了して、手順２の登録番号の選択画面になります。

9 停止 ボタンを押します。

※【待機画面】に戻ります。

※しばらくするとセキュリティマークが点灯に変ります。

ワンポイント

● 暗証番号登録時の、各ボタンに対応する数は下表のとおりです。暗証番号は各桁「1～6」の範囲で登録できます。

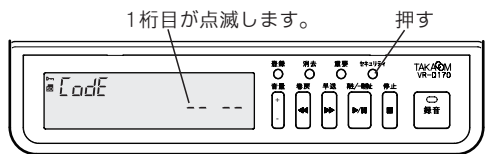
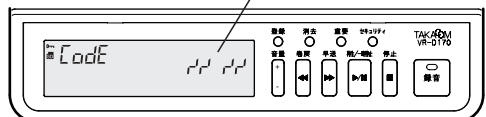
ボタンの種類	対応する数
消去	1
重要	2
セキュリティ	3
巻戻	4
早送	5
再生／一時停止	6

■セキュリティロックを一時解除する

セキュリティロックされた本装置で再生などの操作を行なう場合は、次の手順でセキュリティロックを一時解除してください。

暗証番号が一致するとセキュリティロックが一時解除され、再生ボタンなどの操作ができます。操作終了後約10秒間ボタン操作がないとセキュリティロックの状態に戻ります。

1 セキュリティ ボタンを押します。

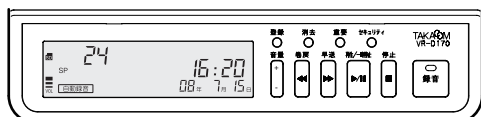
※【暗証番号入力画面】になり、暗証番号の1桁目が点滅します。

2 操作パネルの各ボタンで暗証番号（4桁）を入力します。

3 暗証番号が一致すると“ピー”と鳴ってセキュリティマークが点滅表示になり、セキュリティロックが解除されます。

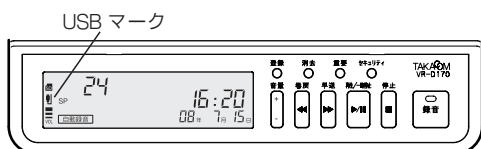
USB でパソコンと接続する

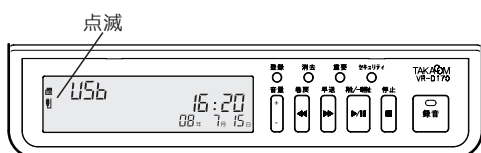
本装置と「VPS170」をインストールしたパソコンをUSB 接続すると、本装置への電源の供給やパソコンへのファイル転送などの操作ができます。

●パソコン接続時のディスプレイ表示

1 本装置をパソコンとUSB 接続すると、本装置に電源が供給され、しばらくすると【待機画面】を表示します。

※電源アダプタを接続する必要はありません。

2 パソコンで「VPS170」を起動します。

※しばらくすると【待機画面】にUSB マークを表示します。

● ファイル転送中のディスプレイ表示

「VPS170」で本装置の音声ファイルを転送中は、次の表示となり、本装置での操作はできません。

ワンポイント

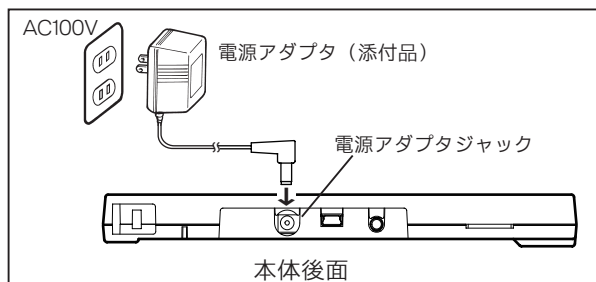
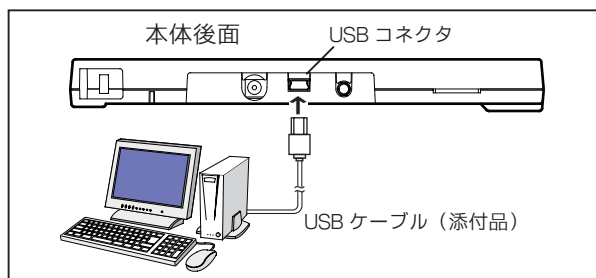
- あらかじめパソコンに「VPS170」と「VR-D170のUSB ドライバ」をインストールしておきます。インストールのしかたは「再生ソフト VPS170 編　インストール」（48 ページ）を参照してください。
- ファイルの転送方法などについては、「再生ソフト VPS170 編　USB データ転送」（72 ページ）を参照してください。

設置（VR-D170）

電源の接続

電源アダプタを AC100V に接続します。本装置には電源スイッチがありませんので、接続すると電源が入ります。添付の電源アダプタ以外は使用しないでください。火災などの原因になります。

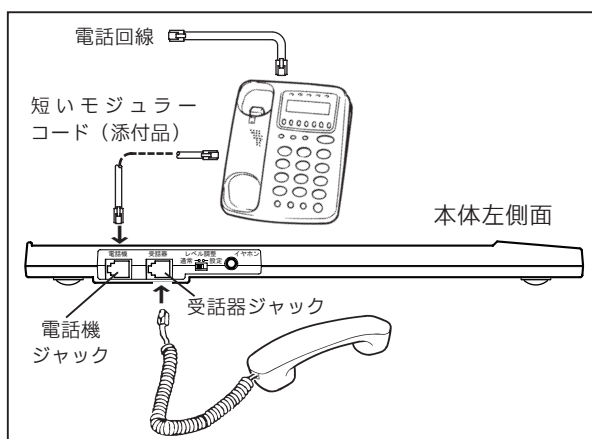
パソコンと USB 接続した場合も電源が入ります。ただしパソコンが起動していないときは、本装置の電源は入りません。また、パソコンがスタンバイモードになったときは電源が切れます。

お願い

- USB ハブ経由で電源の供給を行なう場合は、電流容量が 500mA の USB ハブをご使用ください。
- USB ケーブルをパソコンに挿し直す場合は、5 秒以上時間を置いてから接続してください。
- 電源の供給を USB のみで長期間ご使用の場合、本装置の内蔵時計の時刻誤差が大きくなることがあります。定期的に時刻の修正登録を行うことをお薦めします。

音源の接続

■受話器に接続するとき

機能設定スイッチで音源接続方式を「受話器接続」にします。

電話機から受話器をはずし、本装置の受話器ジャックに接続します。添付の短いモジュラーコードで電話機の受話器ジャックと、本装置の電話機ジャックを接続します。

ワンポイント

- 本装置を電話機の受話器に接続した場合、まれに、通話相手の電話機で音声が二重に聞こえる（エコーがかかる）場合があります。このような場合は、本装置裏面の「入力切替スイッチ」で、送受話のピン番号をお使いの電話機と合わせてください。詳しくは「入力切替スイッチの切り替え」(26 ページ）を参照してください。

■外部音源に接続するとき

機能設定スイッチで音源接続方式を「外部入力接続」にします。

外部入力ジャックに外部音源を接続します。

機能設定スイッチの切り替え

録音方式・録音起動方式、および音源との接続方式を、本装置裏面の機能設定スイッチで設定します。

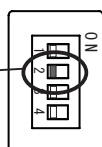
■録音方式の設定（SW-1）

本装置を手動録音方式で使用するか、自動録音方式で使用するかを設定します。

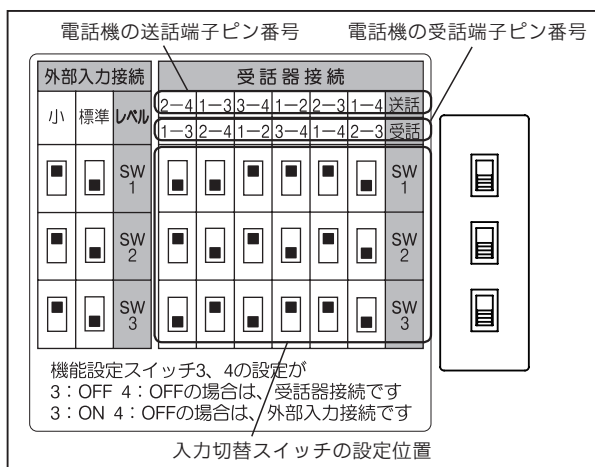
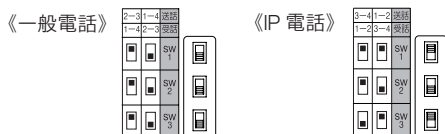
■録音起動方式の設定（SW-2）

本装置の録音起動方式は、録音の「起動／停止」を音声の「有／無」で行う音声起動方式の固定です。

■音源接続方式の設定（SW-3/4）

本装置をどこに接続して音声を録音するのかを「音源の接続」に合わせて設定します。

入力切替スイッチの設定

■受話器接続の場合

音源接続方式が受話器接続のときは、「入力切替スイッチ（1～3)」は工場出荷時の位置でご使用ください。このとき、録音した音声が小さいなどの現象が発生した場合は、このスイッチで送受話のピン番号をお使いの電話機に合わせてください。詳しくは販売店または弊社営業所にお問合せください。

※電話機の機種により次の設定を目安としてください。

■外部入力接続の場合

音源接続方式が外部入力接続のときは、「入力切替スイッチ（1～3)」を下図の「標準」に設定します。このとき、録音した音声が小さい場合は、「小」に切り替えてください。スイッチの切り替えを行っても改善できない場合は、次項の「録音レベルの調整」を行ってください。

録音レベルの調整

通話録音の音声が全体的に小さい、送話または受話の音声だけが小さいなどのときは、次の手順でレベルの調整を行います。また、この調整画面では録音起動の確認もできます。

■受話器入力の調整

受話器接続したときの、送話レベルおよび受話レベルを調整します。「機能設定スイッチ３および４」で、受話器接続に設定します。「音源接続方式の設定」(25ページ）を参照してください。

●送話レベルの調整

1 【待機画面】表示中に、本装置左側面の「レベル調整スイッチ」を“設定”側に切り替えます。

※【送話レベル調整画面】を表示します。

2 接続された電話機で、外線に電話をかけてお話しします。通話中に 巻戻 ／ 早送 ボタンでレベルを調整します。

※録音の起動が確定すると、録音中マークと再生マークを表示して【録音ランプ】が点灯します。

※レベル数値は、0（録音しない）と、1（小）～8（大）の間で設定できます。

※レベル表示は、通常の音声で“ロ”が３個目まで表示し、大きい声のときに４個目の“ロ”が表示するように調整します。

3 送話レベルの調整を終了するときは、「レベル調整スイッチ」を“通常”側に切り替えます。

※【待機画面】に戻ります。

●受話レベルの調整

1 送話レベルの調整の手順２で **登録** ボタンを押すと、受話レベルの調整に切り替ります。

2 送話レベルの調整と同様に調整します。

※レベル数値は、1（小）～8（大）の間で設定できます。
※レベル表示は、通常の音声で“ロ”が３個目まで表示し、大きい声のときに４個目の“ロ”が表示するように調整します。

3 受話レベルの調整を終了するときは、「レベル調整スイッチ」を“通常”側に切り替えます。
※【待機画面】に戻ります。

■外部入力の調整

外部入力接続したときの、録音レベルを調整します。「機能設定スイッチ３および4」で、外部入力接続に設定します。「音源接続方式の設定」（25 ページ）を参照してください。

1「入力切替スイッチ（1～3)」を外部音源出力レベル「標準」に合わせます。
※「入力切替スイッチの設定　外部入力接続の場合」を参照してください。

2【待機画面】表示中に、本装置左側面の「レベル調整スイッチ」を“設定”側に切り替えます。
※【E1 レベル調整画面】を表示します。

3 外部音源からの音声を入力します。受話器入力の場合と同様に調整します。

※レベル数値は、1（小）～8（大）の間で設定できます。
※レベル表示は、通常の音声で“ロ”が３個目まで表示し、大きい声のときに４個目の“ロ”が表示するように調整します。

4 レベルの調整を終了するときは、「レベル調整スイッチ」を“通常”側に切り替えます。
※【待機画面】に戻ります。

●外部音源のレベルが小さいとき

前記の調整でレベルを最大にしても、録音した音声が小さい場合は、次の方法で調整を行ってください。

1「入力切替スイッチ（1～3)」を外部音源出力レベル「小」に合わせます。
※「入力切替スイッチの設定　外部入力接続の場合」を参照してください。

2 外部入力の調整の手順２で **登録** ボタンを押します。
※【E2 レベル調整画面】を表示します。

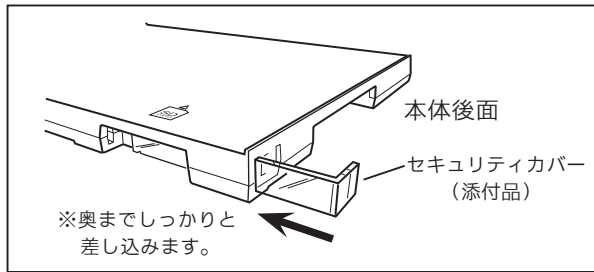
3 E1 レベルの調整と同様に調整します。

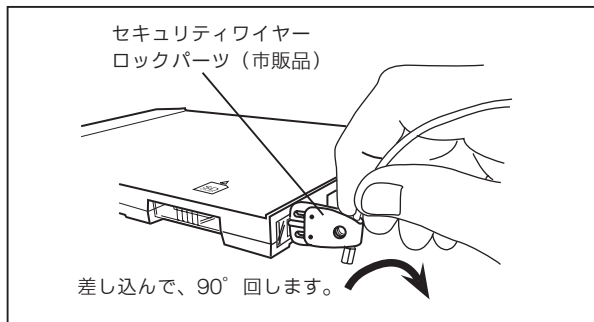
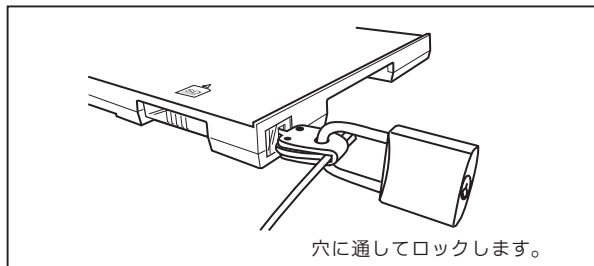
4 レベルの調整を終了するときは、「レベル調整スイッチ」を“通常”側に切り替えます。
※【待機画面】に戻ります。

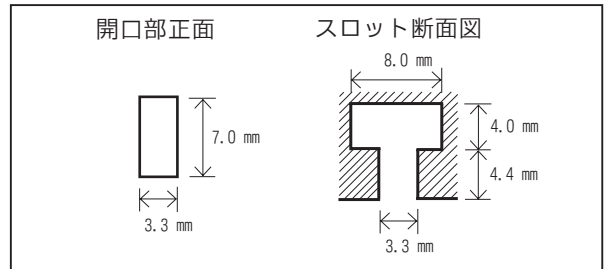
セキュリティカバーの取り付け

本装置にはSDカードおよび本体の盗難防止のために、セキュリティスロットが設けられています。次の方法でセキュリティカバー（添付品）とセキュリティワイヤー（市販品）を取り付けてください。

●セキュリティカバーの取り付け

後面の、セキュリティカバー挿入口からセキュリティカバー（添付品）を差し込みます。

●セキュリティワイヤーの取り付け（例）

市販のセキュリティワイヤーのロックパーツを、下図の様に縦向きにしてセキュリティカバーの上からセキュリティスロットに差し込み、矢印の方向に90°回転させます。

ロックパーツの内側と外側の穴を揃えて、南京錠を通してロックします。

●セキュリティスロットの寸法

本装置のセキュリティスロットの寸法は以下の通りです。サイズに応じたセキュリティワイヤーをご用意ください。

機能登録を変える

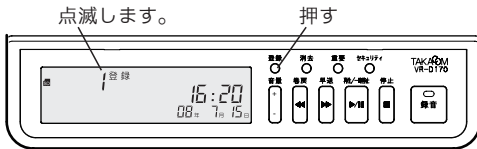
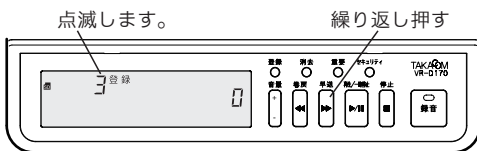
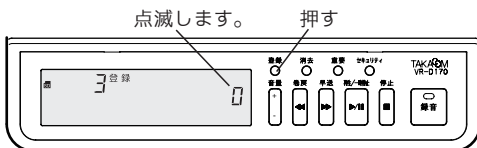
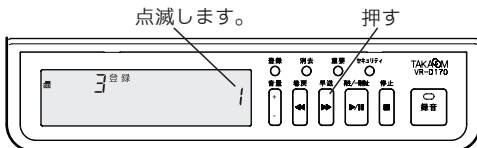
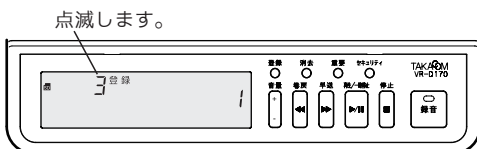
本装置のいろいろな動作条件を変更することができます。

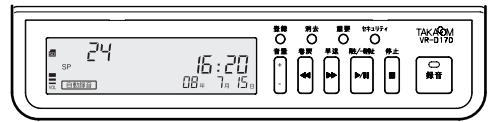
設定一覧

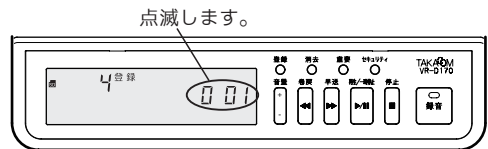
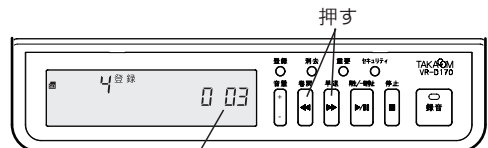
登録番号	項目名	内容	値の意味と範囲	工場出荷時	参照ページ
1	日時設定	内蔵時計の年月日時刻を合わせます。	2008 年 1 月 1 日～ 2099 年 12 月 31 日	なし	10
2	録音モード	録音モードを設定します。LP モード（長時間）にすると録音時間は SP モード（標準）の 2 倍になりますが、音質が多少悪くなります。	0：SP モード（標準） 1：LP モード（長時間）	0	4
3	エンドレス録音	SD カードを使い切ったとき、古い録音を消しながら新しい録音をする「エンドレス録音」を、する／しないを設定します。	0：しない 1：する	0	14, 38
4	装置番号	この装置の装置番号を登録します。複数の装置をご使用の場合に区別できます。	001 ～ 999	001	31
5	最大録音時間	ひとつのファイルに保存できる最大録音時間を設定します。	1 ～ 99分	60	-
6	タイムスタンプ	再生時に、そのファイルの録音日時をアナウンスする「タイムスタンプ」を、使用する／しないを設定します。	0：使用しない 1：使用する	0	16
7	セキュリティロック	再生や登録などの操作を禁止する「セキュリティロック」を、使用する／しないを設定します。	0：使用しない 1：使用する	0	20
		使用する場合、4 桁の暗証番号を登録する。	各桁 1 ～ 6 の数	1111	20
8	後追い録音	録音の起動が確定する最大 5 秒前からの音声を保存する「後追い録音」機能を、使用する／しないを設定します。	0：使用しない 1：使用する	0	-
9	ビギニング録音	手動録音で、通話の途中で録音を開始したとき、その通話の冒頭からの音声を保存する「ビギニング録音」機能を、使用する／しないを設定します。	0：使用しない 1：使用する	0	12, 36
10	終話検出時間	音声起動方式のときに、音声がなくなってから録音を終了するまでの時間を設定します。	0：4 秒 1：8 秒	0	13. 37
11	テールカット	音声起動方式で録音されたファイルを再生するときに、終話検出時間分の再生をカットする「テールカット」機能を、使用する／しないを設定します。	0：使用しない 1：使用する	0	-
12	メモリフルアラーム	SD カードを使い切ったときに、アラーム音を、出す／出さないを設定します。	0：出さない 1：出す	0	14, 38
13	キー受付音	本装置のボタン操作をしたときに、受付音を、出す／出さないを設定します。	0：出さない 1：出す	1	-
14	再生済み表示	指定されたファイルが、以前に再生済みの場合のマークを、表示する／しないを設定します。	0：表示しない 1：表示する	0	16
15	自動録音待機セット	自動録音方式で、録音ランプが 30 秒以上消えている場合に、自動的に録音待機状態にする機能を、使用する／しないを設定します。	0：使用しない 1：使用する	0	13, 37
16	外部起動入力（VR-D170AⅡのみ）	外部起動入力が、メーク（接）のときに録音起動／ブレーク（断）のときに録音起動を設定します。 ※電話回線に接続してご使用の場合は、必ず、「0：メークで起動」に設定します。	0：メークで起動 1：ブレークで起動	0	44
17	外部起動出力（VR-D170AⅡのみ）	本装置が VR OUT ジャックに出力する信号を、本装置が録音状態になったときに出力する／外部起動入力に連動して出力するを設定します。	0：本装置が録音状態になったとき出力 1：外部起動入力に連動して出力	0	44
18	フォーマット	SD カードを本装置用に初期化します。	yes：実行 no ：中止	no	6

変更方法

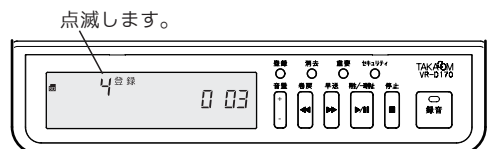
各機能登録の変更は、次の手順で行います。録音ランプが点灯しているときは、停止ボタンを押して消灯します。
例：登録番号「3」のエンドレス録音を、「0＝しない」から「1＝する」に変更します。

1 登録ボタンを押します。
※登録モードになり、登録番号「1」が点滅します。

2 早送ボタンを押して、登録番号を「3」まで進めます。

3 登録ボタンを押して、登録番号を決定します。
※現在の登録値「0」が点滅します。

4 早送ボタンを押して、登録値を「1」にします。

5 登録ボタンを押して、登録値を決定します。
※手順2の登録番号の選択画面に戻ります。

ほかの登録内容を変更するときは、手順2の登録番号の選択から操作します。

6 終了するときは停止ボタンを押します。
※【待機画面】に戻ります。

●装置番号の登録方法について

1 手順の2で登録番号「4」を選択して登録ボタンを押します。
※初期値の装置番号「001」が点滅表示します。

2 巻戻／早送ボタンを押して装置番号を選択します。

※装置番号「003」が点滅表示しています。

※巻戻ボタンはひとつ前の番号へ、早送ボタンはひとつ先の番号へ、押すたびに移動します。
※「999」で早送ボタンを押すと「001」に、「001」で巻戻ボタンを押すと「999」に移動します。

3 登録ボタンを押して、装置番号を決定します。
※手順2の登録番号の選択画面に戻ります。

ワンポイント

● 巻戻／早送ボタンを押し続けると、装置番号の移動が高速で行えます。
・最初の5秒間　：1番号単位で増減。
・次の5秒間　：10番号単位で増減。
・10秒以降　：20番号単位で増減。

操作早見表

録　音

■自動録音方式のとき

●準備

【待機画面】のときに操作します。

録音 ボタンを押します。

※録音ランプが緑色で点灯します。

●録音

1 録音条件になると録音を開始します。

※録音ランプが赤色で点灯します。

2 条件がなくなると録音を終了します。

※録音ランプが緑色で点灯します。

■手動録音方式のとき

●録音開始

【待機画面】のときに操作します。

録音 ボタンを押します。

※録音が始まり、録音ランプが赤色で点灯します。

●録音終了

停止 ボタンを押します。

※録音が終了し、録音ランプが消灯します。

■録音中の操作

録音中に操作します。

●重要マークを付ける

重要 ボタンを押します。

※該当の録音に「重要マーク」が付きます。

再生とファイル操作

■再生

【待機画面】のときに操作します。

1 巻戻 または 早送 ボタンを押し、再生するファイルを選択します。

2 再生／一時停止 ボタンを押します。

※再生が始まります。

■再生中の操作

再生中に操作します。

●一時停止

再生／一時停止 ボタンを押します。

※再生を再開するときは、もう一度 再生／一時停止 ボタンを押します。

●巻き戻し、早送り

巻戻 または 早送 ボタンを 0.5 秒以上押します。

●再生中ファイルの冒頭に戻る

巻戻 ボタンを押します。

●１つ前のファイルに戻る

巻戻 ボタンを２回押します。

（注意）ボタンを押す間隔は、0.5 秒以内にします。

●次のファイルに進む

早送 ボタンを押します。

●重要マークを付ける

重要 ボタンを押します。

※該当のファイルに「重要マーク」が付きます。

●録音日時を表示する

録音 ボタンを押します。

※約３秒間、そのファイルの録音日時を表示します。

■ファイルの操作

【待機画面】および【録音情報表示画面】のときに操作します。

●録音残量表示

停止 ボタンを押します。

●ファイルの移動

巻戻 または 早送 ボタンを押します。

●録音情報の表示

ファイルの移動時に、５秒間録音情報を表示します。

録音情報表示中に セキュリティ ボタンを押します。

※ファイルの録音時間を表示します。

●ファイルの消去

ファイルを選択し、 消去 ボタンを２回押します。

●全てのファイルの消去

消去 ボタンを全消去が表示するまで押します。もう一度 消去 ボタンを押します。

●重要マークの消去

重要ファイルを選択して 重要 ボタンを２秒間押します。

（注意）重要ファイルモードでは消去できません。

■重要ファイルモード

【待機画面】のときに操作します。

1 重要 ボタンを押します。

※「重要マーク」が点滅します。

2 重要ファイルだけが操作の対象となります。

3 【待機画面】のときにもう一度 重要 ボタンを押すと、重要ファイルモードは解除されます。

セキュリティの一時解除

【待機画面】のときに操作します。

1 セキュリティ ボタンを押します。

※【暗証番号入力画面】になります。

2 操作ボタンで暗証番号を入力します。

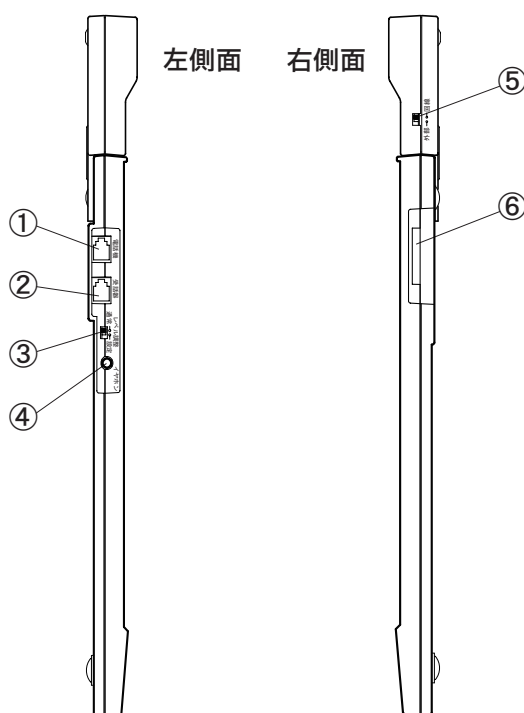
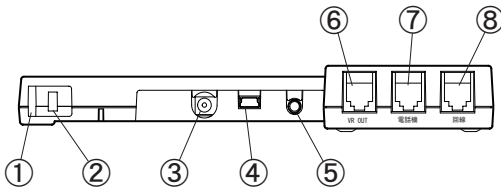
※セキュリティロックが一時解除され、セキュリティマークが点滅します。操作終了後約 10 秒間ボタン操作がないとセキュリティロックの状態に戻ります。

本体装置 VR-D170AⅡ 編

各部の名前とはたらき（VR-D170AⅡ）

上　面

番号	名称	主なはたらき
1	スピーカ	録音内容を拡声します。
2	登録ボタン	機能登録をするときに使用します。
3	消去ボタン	音声ファイルを消去するときに押します。
4	重要ボタン	重要マークをつけるときに押します。
5	セキュリティボタン	セキュリティロックを解除するときに押します。
6	録音ランプ	録音待機時に緑、録音時に赤で点灯します。
7	録音ボタン	手動録音では録音するとき、自動録音では録音待機にするときに押します。
8	停止ボタン	いろいろな動作を終了するときに押します。
9	再生／一時停止ボタン	音声ファイルを再生するときや一時停止するときに押します。
10	早送ボタン	再生時に録音内容を進めるときに押します。
11	巻戻ボタン	再生時に録音内容を戻すときに押します。
12	音量ボタン	再生音量を調節するときに＋・－を押します。
13	ディスプレイ	動作状況や録音された内容の情報を表示します。
14	制御ボックス	回線の接続や外部録音装置の制御などを行います。

側　面

番号	名称	主なはたらき
1	電話機ジャック	電話機の受話器ジャックと接続します。
2	受話器ジャック	受話器を接続します。
3	レベル調整スイッチ	送受話のレベルを調整するとき「設定」側に切り替えます。
4	イヤホンジャック	イヤホンを接続します。
5	外部／回線切替スイッチ	録音の起動／停止を、外部の信号で行うか、回線の信号で行うかを切り替えます。
6	SD カード挿入口	SD カードを挿入します。

後　面

番号	名称	主なはたらき
1	セキュリティカバー挿入口	セキュリティカバーを挿入します。
2	セキュリティスロット	市販のセキュリティワイヤーを接続します。
3	電源アダプタジャック	電源アダプタを接続します。
4	USB コネクタ	USB ケーブルを接続します。
5	外部入力ジャック	外部音源の入力ケーブルを接続します。
6	VR OUT 接続ジャック	外部の録音装置などを接続します。
7	電話機接続ジャック	電話機、外部起動入力を接続します。
8	回線接続ジャック	アナログ電話回線を接続します。

裏　面

番号	名称	主なはたらき
1	入力切替スイッチ 1	受話器接続時の送受話ピン番号を、接続する電話機に合わせて切り替えます。また、外部入力接続時のレベルを切り替えます。
2	入力切替スイッチ 2	
3	入力切替スイッチ 3	
4	機能設定スイッチ	録音方式や録音起動方式などの機能を設定します。
5	電源アダプタコードガイド	電源アダプタコードをガイドに沿って収納します。

ディスプレイの表示項目

通話を録音する（VR-D170AⅡ）

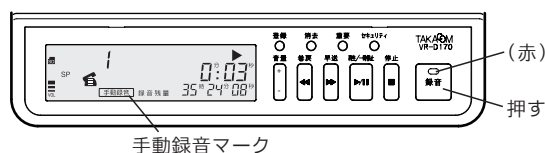
録音

本装置の録音方式には、手動録音と自動録音の２種類があります。いずれかの方式を機能設定スイッチで設定します。設定方法は「設置（VR-D170AⅡ）　機能設定スイッチの切り替え」（40 ページ）を参照してください。

■手動録音方式

ボタン操作で録音の「開始／停止」を行う方式です。

ディスプレイに手動録音マークを表示していることを確認します。

1 録音 ボタンを押すと、録音を開始します。
※録音ランプが赤色点灯に変わります。

2 停止 ボタンを押すと、録音を終了します。
※録音ランプが消灯に変わります。

ビギニング録音機能について

- 本装置の手動録音方式では、ビギニング録音機能が設定できます。ビギニング録音機能を設定すると、通話の途中で録音を開始した場合でも、その通話の始まったときからの通話内容を録音保存できます。

【ビギニング録音中のディスプレイ表示】

※待機中の画面で録音中マークと録音モードを表示します。
※ビギニング録音機能の録音起動方式は、音声起動方式と回線／外部起動方式のいずれかが設定できます。

- ビギニング録音の設定方法は「機能登録を変える」（30 ページ）を参照してください。

ワンポイント

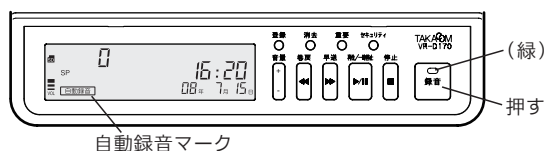
- 通話の音声が小さいなどで「録音中マーク」が表示されないときは、ビギニング録音はされません。
- ビギニング録音が最大録音時間を超えた場合、その録音は一旦キャンセルされ、引き続き新しいビギニング録音が始まります。
- ビギニング録音中は各操作ボタンが有効です。ボタン操作を行うとそのビギニング録音は一旦キャンセルされますが、操作を終了して【待機画面】に戻ると新しいビギニング録音が始まります。

■自動録音方式

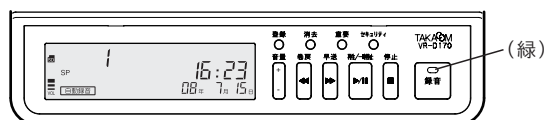
本装置を録音待機状態にセットしておけば、音声を検出するなどの録音起動信号により自動的に録音が開始される方式です。録音起動方式には、音声起動方式と回線／外部起動方式の２種類があります。いずれかの方式を機能設定スイッチで設定します。設定方法は「設置（VR-D170AⅡ）　機能設定スイッチの切り替え」（40 ページ）を参照してください。

●音声起動方式のとき

通話時の音声の「有り／無し」で、録音を「開始／停止」します。

ディスプレイに自動録音マークを表示していることを確認します。

1 録音 ボタンを押します。
※録音ランプが緑色点灯して、録音待機状態になります。

2 通話の音声が検出されると録音を開始します。
※録音ランプが赤色点灯に変わります。

3 音声がなくなると一定時間後に録音を終了します。
※録音ランプが緑色点灯に変わります。

ワンポイント

- 音声がなくなってから、停止するまでの時間を変更することができます。「機能登録を変える」（30ページ）を参照してください。
- 音声起動方式で通話録音を行なった場合、無音時間が長い、または音声が小さいなどの理由により、音声ファイルが複数に分割されることがあります。

●回線／外部起動方式のとき

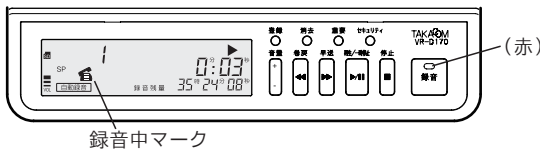
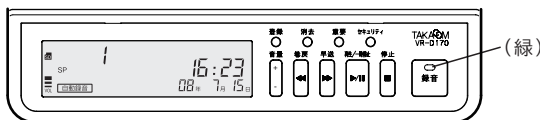
回線または外部からの起動信号によって、録音を「開始／停止」します。

※回線と外部の起動信号の切り替えは、制御ボックスの「外部／回線切替スイッチ」で行います。

※電話回線に接続した場合は、接続した電話機の受話器の上げ下ろしが起動信号となります。

ディスプレイに自動録音マークを表示していることを確認します。

1 録音 ボタンを押します。
※録音ランプが緑色点灯して、録音待機状態になります。

2 録音起動信号が来ると録音を開始します。
※録音ランプが赤色点灯に変わります。

3 録音起動信号がなくなると、録音を終了します。
※録音ランプが緑色点灯に変わります。

- 自動録音を終了するときは、停止 ボタンを押します。
※録音ランプが消灯して、【待機画面】に戻ります。

ワンポイント

- 自動録音方式で「自動録音待機セット」の設定が“使用する”の場合は、【待機画面】に戻ったあと30秒経過すると録音ランプが点灯（緑）して録音待機状態になります。

■録音中の操作

録音中には次のような操作を行うことができます。

●重要マークを付ける

大切な用件に重要マークを付けて、誤って消去することがないようにできます。

1 録音中に 重要 ボタンを押します。
※録音中のファイルに重要マークが付きます。

◆重要マークの付いたファイル（重要ファイル）

重要マークを付けることにより、重要ファイルだけを再生することができます。「再生　重要ファイルモード」（18ページ）を参照してください。

ワンポイント

- 一度付けた重要マークは録音中に消去することはできません。
録音を終了して「ファイルの操作　重要マークの消去」（20ページ）の方法で消去してください。
- 重要ファイルは通常の消去操作では消去することができません。上記の方法で重要マークを消去してからファイルを消去してください。

●録音中の音声をモニターする

本装置のイヤホンジャックにイヤホンを接続すると、録音中の音声をモニターすることができます。モニター音は音量ボタンで調節できます。

※イヤホンは市販の「モノラル・ミニプラグ」の商品をご用意ください。

ワンポイント

- 録音中の音声を本装置のスピーカからモニターすることはできません。

ディスプレイ表示

録音時にはディスプレイに次のような録音情報を表示します。

■録音待機中の表示

■録音中の表示

エンドレス録音について

機能登録で「エンドレス録音」を“使用する”に設定した場合は、SD カードの録音残量が少なくなると古い音声ファイルから順に自動的に消去して録音を継続します。ただし、重要ファイルは自動消去されません。
エンドレス録音の設定方法は「機能登録を変える」（30 ページ）を参照してください。

SD カードについて

■ SD カードを使い切ると

SD カードの録音時間を使い切ると下図のような表示になり、アラーム音が鳴ります。また、自動録音方式の場合は録音ランプが緑の点滅に変わります。

また、1 枚の SD カードに保存できる音声ファイルは、最大 9999 件です。9999 件になると、録音残量がゼロでなくても、下図の表示が出て以後の録音はできません。

これらの表示が出たら、SD カードを交換するか、不要なファイルを消去してください。

■録音残量の表示

待機中に SD カードの録音残量を確認することができます。詳しくは「ファイルの操作　録音残量表示」（19 ページ）を参照してください。

■ SD カードの交換

SD カードの交換のしかたは「お使いになる前に　SD カードについて」（5 ページ）を参照してください。

STOP お願い

- SD カードマークが点滅中は、SD カードを取り出さないでください。保存されているデータが壊れることがあります。

■ファイルの消去

音声ファイルの消去のしかたは「ファイルの操作　ファイルの消去」（19 ページ）を参照してください。

電源の接続

電源アダプタを AC100V に接続します。本装置には電源スイッチがありませんので、接続すると電源が入ります。添付の電源アダプタ以外は使用しないでください。火災などの原因になります。

パソコンと USB 接続した場合も電源が入ります。ただしパソコンが起動していないときは、本装置の電源は入りません。また、パソコンがスタンバイモードになったときは電源が切れます。

お願い

- USB ハブ経由で電源の供給を行なう場合は、電流容量が 500mA の USB ハブをご使用ください。
- USB ケーブルをパソコンに挿し直す場合は、5 秒以上時間を置いてから接続してください。
- 電源の供給を USB のみで長期間ご使用の場合、本装置の内蔵時計の時刻誤差が大きくなることがあります。定期的に時刻の修正登録を行うことをお薦めします。

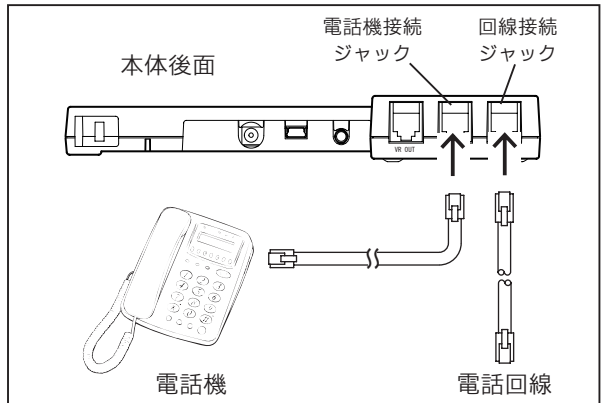
音源の接続

■電話回線に接続するとき

アナログ電話回線に接続します。

機能設定スイッチで音源接続方式を「回線接続（通常）／回線接続（ND)」にします。

※接続する回線がナンバーディスプレイサービスを契約をしている場合は、「回線接続（ND)」に設定します。

回線接続ジャックに電話回線、電話機接続ジャックに電話機を接続します。

お願い

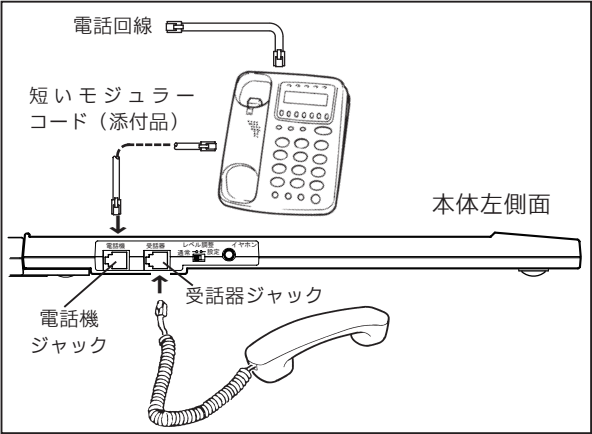
- 電話回線に接続してご使用の場合は、必ず、次の「機能登録」および「機能設定スイッチ」の設定を行ってください。
  - ◆「機能登録」の登録番号 16［外部起動入力］を、「0：メークで起動」に設定します。
    ※「機能登録を変える」（30 ページ）を参照してください。
  - ◆「機能設定スイッチ」の［録音起動方式］を、「SW-2 ON：回線／外部起動」に設定します。
    ※「録音起動方式の設定」（40 ページ）を参照してください。
  - ◆ 制御ボックスの「外部／回線切替スイッチ」を、“回線”側にします。（出荷時設定）
  - ◆「機能設定スイッチ」の［音源接続方式］を、「回線接続」に設定します。
    ※「音源接続方式の設定」（41 ページ）を参照してください。

ワンポイント

- 電話回線に接続した場合、録音の「起動／停止」は、接続した電話機の受話器の上げ下ろしが起動信号となります。
- ナンバーディスプレイに加入している場合は、必ずナンバーディスプレイ対応電話機をご利用ください。非対応電話機を接続したときは、ナンバーディスプレイの表示がされません。

■受話器に接続するとき

機能設定スイッチで音源接続方式を「受話器接続」にします。

電話機から受話器をはずし、本装置の受話器ジャックに接続します。添付の短いモジュラーコードで電話機の受話器ジャックと、本装置の電話機ジャックを接続します。

ワンポイント

- 本装置を電話機の受話器に接続した場合、まれに、通話相手の電話機で音声が二重に聞こえる（エコーがかかる）場合があります。このような場合は、本装置裏面の「入力切替スイッチ」で、送受話のピン番号をお使いの電話機と合わせてください。詳しくは「入力切替スイッチの切り替え」（41ページ）を参照してください。

■外部音源に接続するとき

機能設定スイッチで音源接続方式を「外部入力接続」にします。

外部入力ジャックに外部音源を接続します。

機能設定スイッチの切り替え

録音方式・録音起動方式、および音源との接続方式を、本装置裏面の機能設定スイッチで設定します。

■録音方式の設定（SW-1）

本装置を手動録音方式で使用するか、自動録音方式で使用するかを設定します。

■録音起動方式の設定（SW-2）

録音の「起動／停止」を音声の「有／無」で使用するか、回線または外部からの起動信号の「有／無」で使用するかを設定します。手動録音方式ではビギニング録音を行わない場合は、この設定は無効です。

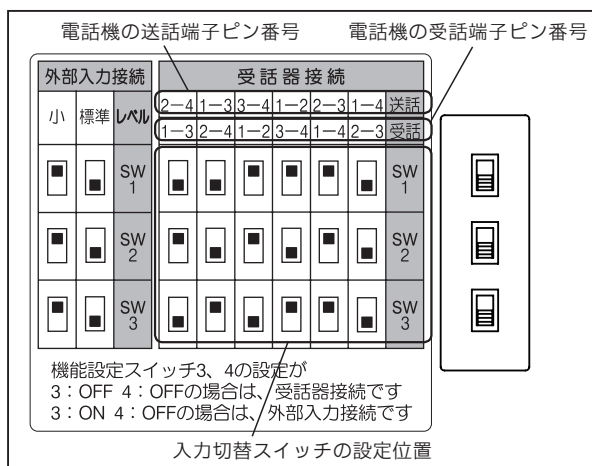
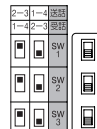
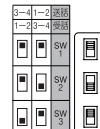
■音源接続方式の設定（SW-3/4）

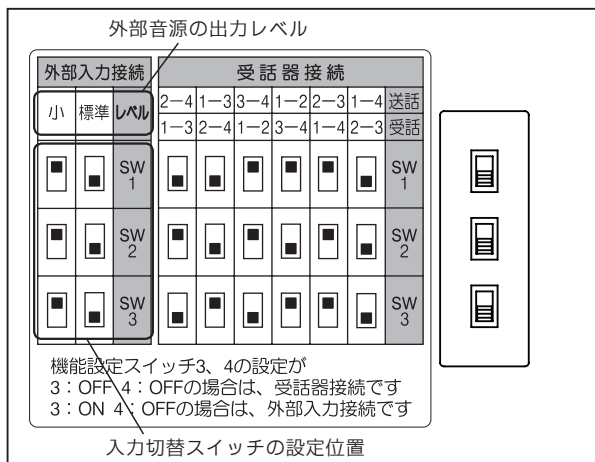
本装置をどこに接続して音声を録音するのかを「音源の接続」に合わせて設定します。

入力切替スイッチの設定

音源接続方式が回線接続の場合は、設定の必要はありません。

■受話器接続の場合

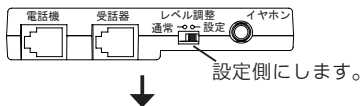
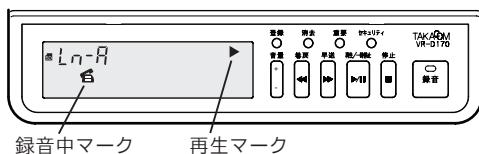
音源接続方式が受話器接続のときは、「入力切替スイッチ（1～3）」は工場出荷時の位置でご使用ください。このとき、録音した音声が小さいなどの現象が発生した場合は、このスイッチで送受話のピン番号をお使いの電話機に合わせてください。詳しくは販売店または弊社営業所にお問合せください。

※電話機の機種により次の設定を目安としてください。

■外部入力接続の場合

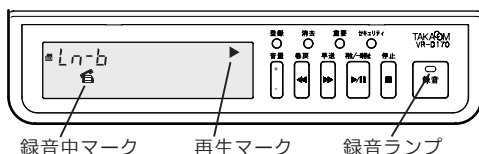
音源接続方式が外部入力接続のときは、「入力切替スイッチ（1～3）」を下図の「標準」に設定します。このとき、録音した音声が小さい場合は、「小」に切り替えてください。スイッチの切り替えを行っても改善できない場合は、次項の「録音レベルの調整」を行ってください。

録音起動の確認

音源接続方式が回線接続の場合は、録音レベルの調整はできません。以下の方法で録音起動の確認ができます。

●録音起動の確認

1 【待機画面】表示中に、本装置左側面の「レベル調整スイッチ」を“設定”側に切り替えます。

※【送話レベル調整画面】を表示します。

【回線接続（通常）の場合】

受話器を上げると録音中マークを表示します。
録音を開始すると再生マークを表示して録音ランプが点灯（赤）します。

【回線接続（ND）の場合】

受話器を上げると録音中マークを表示します。
受話器上げが3秒以上継続すると録音を開始します。再生マークを表示して録音ランプが点灯（赤）します。

録音レベルの調整

通話録音の音声が全体的に小さい、送話または受話の音声だけが小さいなどのときは、次の手順でレベルの調整を行います。また、この調整画面では録音起動の確認もできます。

■受話器入力の調整

受話器接続したときの、送話レベルおよび受話レベルを調整します。「機能設定スイッチ３および4」で、受話器接続に設定します。「音源接続方式の設定」（41ページ）を参照してください。

●送話レベルの調整

1 【待機画面】表示中に、本装置左側面の「レベル調整スイッチ」を“設定”側に切り替えます。

※【送話レベル調整画面】を表示します。

2 接続された電話機で、外線に電話をかけてお話しします。通話中に 巻戻 ／ 早送 ボタンでレベルを調整します。

※録音の起動が確定すると、録音中マークと再生マークを表示して【録音ランプ】が点灯します。

※レベル数値は、0（録音しない）と、1（小）～8（大）の間で設定できます。
※レベル表示は、通常の音声で“ロ”が３個目まで表示し、大きい声のときに４個目の“ロ”が表示するように調整します。

3 送話レベルの調整を終了するときは、「レベル調整スイッチ」を“通常”側に切り替えます。

※【待機画面】に戻ります。

●受話レベルの調整

1 送話レベルの調整の手順２で 登録 ボタンを押すと、受話レベルの調整に切り替ります。

2 送話レベルの調整と同様に調整します。

※レベル数値は、１（小）～８（大）の間で設定できます。
※レベル表示は、通常の音声で“o”が３個目まで表示し、大きい声のときに４個目の“o”が表示するように調整します。

3 受話レベルの調整を終了するときは、「レベル調整スイッチ」を“通常”側に切り替えます。
※【待機画面】に戻ります。

■外部入力の調整

外部入力接続したときの、録音レベルを調整します。「機能設定スイッチ３および４」で、外部入力接続に設定します。「音源接続方式の設定」（41ページ）を参照してください。

1「入力切替スイッチ（1～3）」を外部音源出力レベル「標準」に合わせます。
※「入力切替スイッチの設定　外部入力接続の場合」を参照してください。

2【待機画面】表示中に、本装置左側面の「レベル調整スイッチ」を“設定”側に切り替えます。
※【E1レベル調整画面】を表示します。

3 外部音源からの音声を入力します。受話器入力の場合と同様に調整します。

※レベル数値は、１（小）～８（大）の間で設定できます。
※レベル表示は、通常の音声で“o”が３個目まで表示し、大きい声のときに４個目の“o”が表示するように調整します。

4 レベルの調整を終了するときは、「レベル調整スイッチ」を“通常”側に切り替えます。
※【待機画面】に戻ります。

●外部音源のレベルが小さいとき

前記の調整でレベルを最大にしても、録音した音声が小さい場合は、次の方法で調整を行ってください。

1「入力切替スイッチ（1～3）」を外部音源出力レベル「小」に合わせます。
※「入力切替スイッチの設定　外部入力接続の場合」を参照してください。

2 外部入力の調整の手順２で 登録 ボタンを押します。
※【E2レベル調整画面】を表示します。

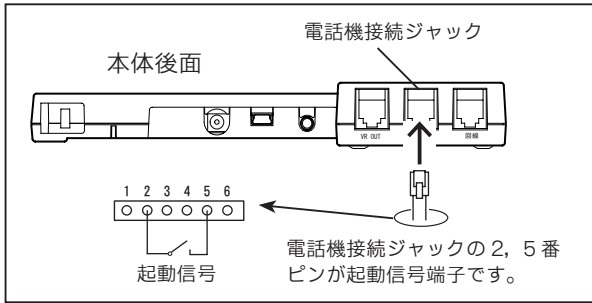
3 E1レベルの調整と同様に調整します。

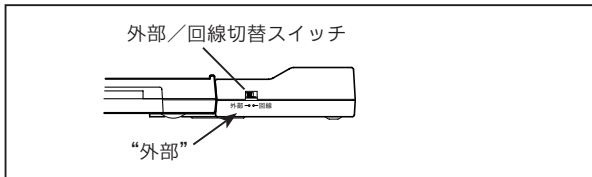
4 レベルの調整を終了するときは、「レベル調整スイッチ」を“通常”側に切り替えます。
※【待機画面】に戻ります。

その他の接続

本装置では自動録音、および手動録音のビギニング録音で、録音起動方式に回線／外部起動方式が設定できます。また、外部の録音装置が連動して録音をするように接続することができます。

■外部起動入力の接続

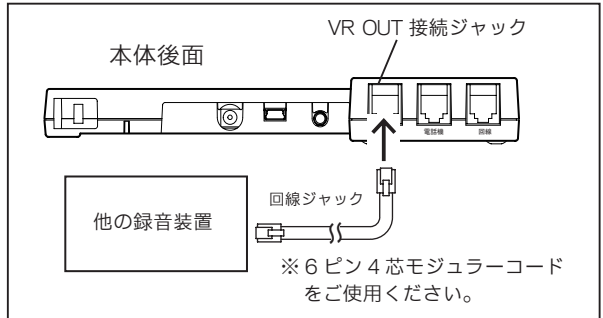
外部からの接点信号により、録音の「起動／停止」を制御することができます。

① 上図のように起動信号を 2-5 番ピンに接続します。
② 機能設定スイッチ（SW-2）で､録音起動方式を“ON（回線／外部起動）”にします。
③ 接点信号の方式により、機能登録「16」の設定値を変えます。
- ● 設定値が「0」のとき
  メークで録音、ブレークで待機
- ● 設定値が「1」のとき
  メークで待機、ブレークで録音

④ 制御ボックスの「外部／回線切替スイッチ」を“外部”側に切り替えます。

⑤ 以上の準備をしたあと、自動録音の場合は［録音］ボタンを押しておきます。
⑥ 外部起動入力に同期して、録音の「起動／停止」をします。

お願い

- ● 外部の接点信号で録音の「起動／停止」を行う場合は、本装置を電話回線に接続していても、受話器の上げ下ろしで録音の「起動／停止」を行うことはできません。
  - ・録音の「起動／停止」を受話器の上げ下ろしで行う場合は、「外部／回線切替スイッチ」を“回線”側で使用します。

■ VR OUT 端子への接続

本装置と録音装置が連動して録音をするように接続することができます。

① 上図のように本装置と録音装置を接続します。
接続には６ピン４芯のモジュラーコードをご使用ください。２芯のコードでは、大型録音装置へ起動信号を送ることができません。
② 起動信号の送り方を、機能登録「17」の設定値で変えます。
- ● 設定値が「0」のとき
  本装置が録音中（録音ランプが赤色点灯時）に起動信号を出力します。
  【待機画面】、再生中のときは信号を出力しません。
- ● 設定値が「1」のとき
  本装置の状態にかかわらず「外部起動入力」に連動して信号を出力します。

電源を投入した直後の処理中は信号を出力しません。

運用上の注意事項

本装置を次の様な運用方法でご利用いただく場合は、機能登録、機能設定スイッチ、制御ボックスの「外部／回線切替スイッチ」を下記のように設定してください。

運用 1

電話回線に接続して、自動録音方式で外部起動入力を使用して録音の「起動／停止」を行なう場合

※電話回線への接続については、「設置（VR-D170AⅡ） 音源の接続　電話回線に接続するとき」（39 ページ）を参照してください。
※自動録音方式の設定については、「設置（VR-D170AⅡ） 機能設定スイッチの切り替え　録音方式の設定」（40 ページ）を参照してください
※外部起動入力での録音については、「設置(VR-D170AⅡ)　その他の接続　外部起動入力の接続」(44 ページ)を参照してください。

運用 2

3 回線音声応答装置 AT-D39SⅡ RB と連動して、用件録音装置として使用する場合

※ 3 回線音声応答装置 AT-D39SⅡ RB への接続については、AT-D39SⅡ RB の取扱説明書「録音装置の接続方法例」を参照してください。

VR-D170AⅡ 設定内容

● 機能登録の設定

「機能登録」を次のように設定します。

・ 登録番号 16（外部起動入力）：0　メークで起動（出荷時設定）

※「機能登録を変える」（30 ページ）を参照してください。

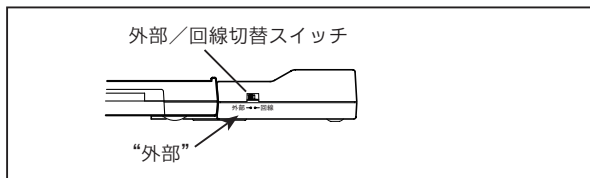
● 機能設定スイッチの設定

「機能設定スイッチ」を次のように設定します。

・ 録音方式の設定（SW-1）　：ON　自動録音
・ 録音起動方式の設定（SW-2）　：ON　回線／外部起動
・ 音源接続方式の設定（SW-3/4）　：OFF/ON　回線接続（通常）

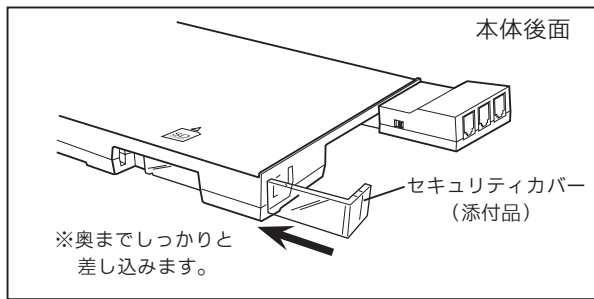
※「運用 1」で電話回線がナンバーディスプレイのときは、（SW-3/4）を（ON/ON）にします。
※「設置（VR-D170AⅡ） 機能設定スイッチの切り替え」（40 ページ）を参照してください。

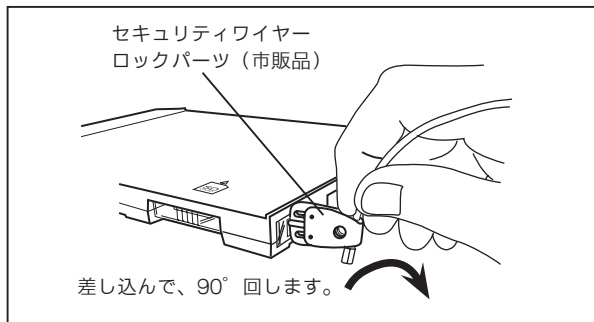
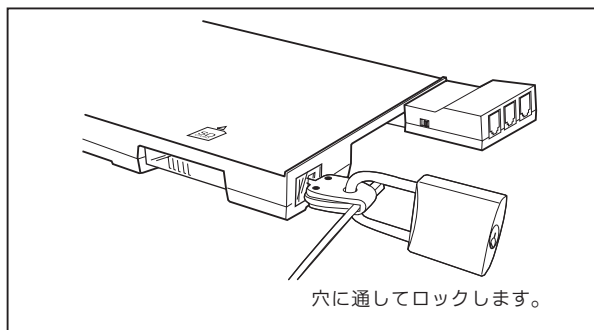
● 制御ボックス「外部／回線切替スイッチ」の設定

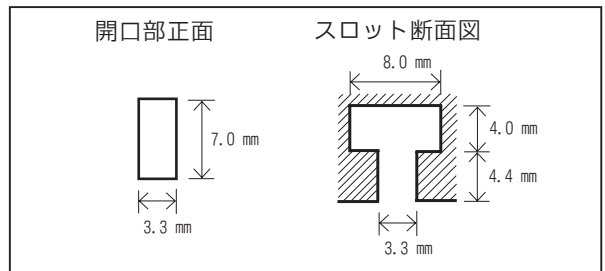
制御ボックスの「外部／回線切替スイッチ」を“外部”側に切り替えます。

セキュリティカバーの取り付け

本装置にはSDカードおよび本体の盗難防止のために、セキュリティスロットが設けられています。次の方法でセキュリティカバー（添付品）とセキュリティワイヤー（市販品）を取り付けてください。

●セキュリティカバーの取り付け

後面の、セキュリティカバー挿入口からセキュリティカバー（添付品）を差し込みます。

●セキュリティワイヤーの取り付け（例）

市販のセキュリティワイヤーのロックパーツを、下図の様に縦向きにしてセキュリティカバーの上からセキュリティスロットに差し込み、矢印の方向に90°回転させます。

ロックパーツの内側と外側の穴を揃えて、南京錠を通してロックします。

●セキュリティスロットの寸法

本装置のセキュリティスロットの寸法は以下の通りです。サイズに応じたセキュリティワイヤーをご用意ください。

VR-D170AⅡ その他の取り扱いについて

以下の取り扱いについては、「VR-D170」と同じです。それぞれの項目をご覧ください。

● 時計を合わせる
《10 ページ》

● 通話の再生とファイルの操作をする
《16 ページ》

● 機能登録を変える
《30 ページ》

● 操作早見表
《32 ページ》

再生ソフト VPS170 編

はじめに

本ソフトの概要

「VPS170」では、「VR-D170」または「VR-D170AⅡ」で録音した音声ファイルを、パソコンに転送して次のような操作を行うことができます。

●音声ファイルの転送

本体装置で録音したファイルは、SDカード経由またはUSB経由でパソコンにバックアップ（転送）できます。

●ファイルの再生

ファイルを選択し再生します。①1つのファイルだけを再生、②1つのファイルを繰り返し再生、③順番に再生の３つの再生モードがあります。②の繰り返し再生の場合、ファイル内で繰り返す場所を指定することができます。再生速度は､「早い｣､「標準｣､「遅い」の３種類が選択できます。

●重要マーク・インデックス

音声ファイルに重要マークやインデックスを付けることができます。

●メモを付ける

漢字で最大６４文字のメモを付けることができます。

●検索

ファイル名または、メモの内容でファイルを検索することができます。

ご注意

本体装置で保存したSDカードの音声ファイルを、添付のUSBケーブルまたは市販のSDカードリーダーで、本ソフトを利用してパソコン上にバックアップ保存をしてご利用いただくことをお勧めします。
SDカードのファイルを直接再生することはできますが、インデックスをSDカードに書き込むことはできません。

インストール

■使用できるパソコン

- CPU：PentiumⅢ以上、または同等品
- OS：Windows 2000（SP4）/XP/Vista 日本語版
- ハードディスク：インストール領域として25MB以上の空き容量
- メモリー：128MB以上
- ディスプレイ：解像度1024 X 768ドット以上、画面の色　High Color(16bit)以上
- USB：USB2.0/1.1コネクタを装備していること
- CD-ROMドライブがあること（インストール用）
- サウンドカードとスピーカ：音声ファイルが再生できること

●商品名は各社の商標または登録商標です。

■お使いになるときの注意

- インストールするときは、管理者権限を持ったユーザー（たとえばAdministrator)でログオンしてください。
- 本ソフトが稼働中は「ユーザー切り替え」は使わないでください。データが破損することがあります。
- 本ソフトが稼働中は、Windowsをスタンバイモードや休止モードにしないでください。データが破損することがあります。

免責事項について

お客様が本ソフトウェアを使用し、または運用した結果、直接的または間接的に生じる損害について、弊社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

STOP お願い

● SDカードをカードリーダーから取り出すときは、事前に､「ファイル」→「取り出し」をクリックするか、またはツールボタンの［取り出し］ボタンをクリックしてください。この操作をせずに取り出すと､データが壊れることがあります。詳しくは「SDカード取り外し時の注意」(59ページ)を参照してください。

■インストールのしかた

本ソフトのインストールが終了するまで、本体装置VR-D170/VR-D170AⅡをUSBに接続しないでください。

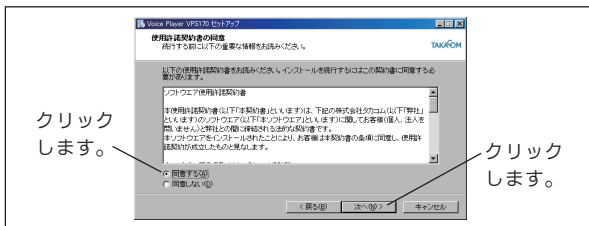
《Windows XP/2000の場合》

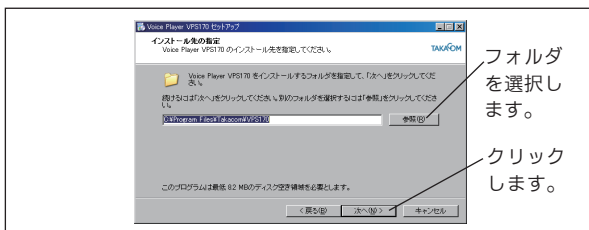
① ほかのソフトをすべて終了します。

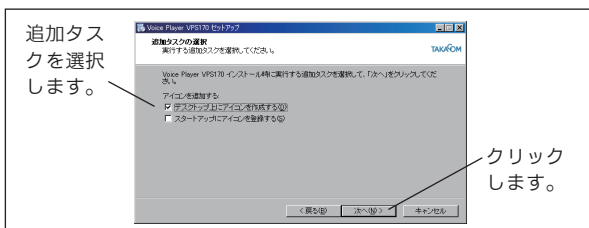
② 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れます。

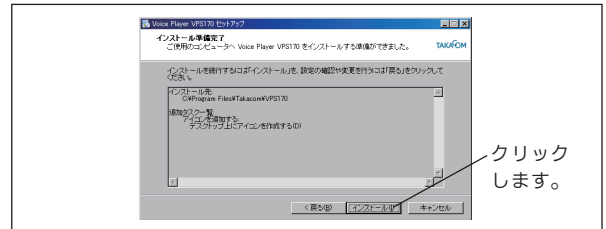
③ インストールプログラムが起動します。

④［次へ］ボタンをクリックします。

※「使用許諾契約書」を表示します。

⑤「使用許諾契約書」をよくお読みいただいた上、同意するをクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

※インストール先の指定画面を表示します。

⑥ インストール先のフォルダを選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

※追加タスクの選択画面を表示します。

⑦ ソフトのアイコンをデスクトップに作成する場合、本ソフトをスタートアップに登録する場合は、それぞれチェックして、［次へ］ボタンをクリックします。

※インストール準備完了画面を表示します。

⑧［インストール］ボタンをクリックします。

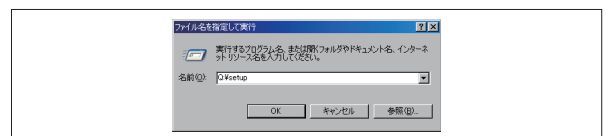
※インストールを開始します。

※インストールが完了すると次の画面になります。

⑨［完了］ボタンをクリックします。

●インストールが自動的に始まらないとき

① タスクバーの「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

※コマンド入力画面を表示します。

②「名前」欄に、キーボードから「Q:¥setup」と入れて［OK］ボタンをクリックします。

・インストールプログラムが起動します。

・「Q:」はCD-ROMのドライブ名です。お使いのシステムによって異なります。

■ソフトの削除（アンインストール）

ソフトを削除するときは、次の手順で行います。

（Windows XPの例）

① タスクバーを「スタート」→「コントロールパネル」の順にクリックします。

②「プログラムの追加と削除」を開きます。

③「Voice Player VPS170」を選んで削除します。

《Windows Vista の場合》

●インストールの前に

次の手順で「ユーザーアカウント制御」を無効化します。（画面は WindowsVista Ultimate エディションの例）

① 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックします。

※【コントロールパネル】画面を表示します。

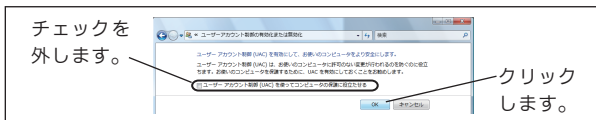
②「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」をクリックします。

※【ユーザアカウントと家族のための安全設定】画面を表示します。

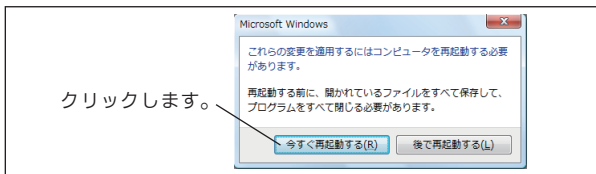
③ 「ユーザーアカウント」をクリックします。

※【ユーザアカウント】画面を表示します。

④「ユーザーアカウント制御の有効化または無効化」をクリックします。

※【ユーザアカウント制御（UAC）の有効化無効化】画面を表示します。

⑤ 「ユーザーアカウント制御（UAC）を使ってコンピュータの保護に役立たせる」のチェックを外します。

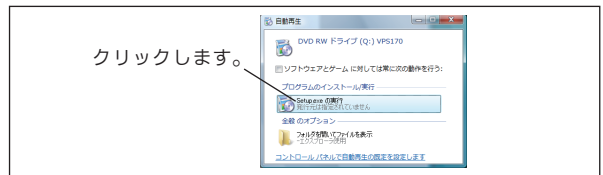
⑥ ［OK］ボタンをクリックします。

※【再起動】画面を表示します。

⑦［今すぐ再起動する］ボタンをクリックしてパソコンを再起動します。

●インストール

① ほかのソフトをすべて終了します。

② 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。

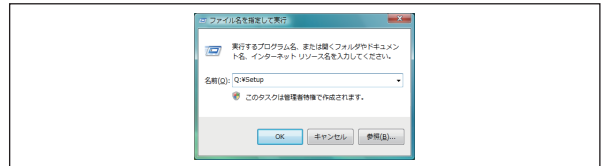
※【自動再生】画面が表示されます。

③［setup.exe の実行］をクリックします。

※インストールプログラムが起動します。

④ 以下、Windows XP の場合と同様に画面の指示にしたがってインストールします。

●インストールが自動的に始まらないとき

①［Windows］キーを押しながら、［R］キーを押します。

※コマンド入力画面を表示します。

②「名前」欄に、キーボードから「Q:¥setup」と入れて [OK] ボタンをクリックします。

・インストールプログラムが起動します。

・「Q:」は CD-ROM のドライブ名です。お使いのシステムによって異なります。

■ソフトの削除（アンインストール）

ソフトを削除するときは、次の手順で行います。

① タスクバーを「スタート」→「コントロールパネル」の順にクリックします。

②「プログラムと機能」を開きます。

③「Voice Player VPS170」を選んで［アンインストール］をクリックします。

ワンポイント

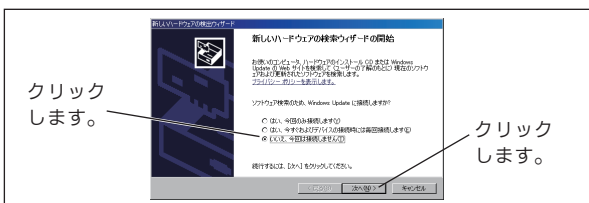
● Windows Vista の場合、操作の途中で【ユーザーアカウント制御】の画面が表示された場合は、［続行］ボタンをクリックしてください。

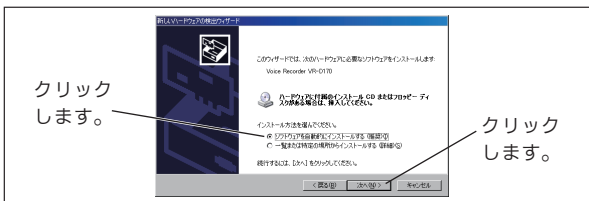
■ USB ドライバのインストール

パソコンと本体装置を初めて USB 接続したときに、次のような画面を表示した場合は、設定画面にしたがって VR-D170 の USB ドライバをインストールしてください。

パソコンの CD-ROM ドライブに、添付の CD-ROM（再生ソフト VPS170）が入っている場合は、必ず取り出してください。

● OS が Windows XP/2000 の場合

① 本体装置とパソコンを USB ケーブルで接続します。

※【ウィザード画面】が表示されます。

②「今回は接続しません」を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

③「ソフトウェアを自動的にインストールする」をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

※【ハードウェアのインストール】画面が表示されます。

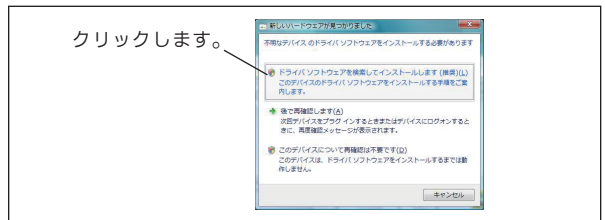
④［続行］ボタンをクリックします。

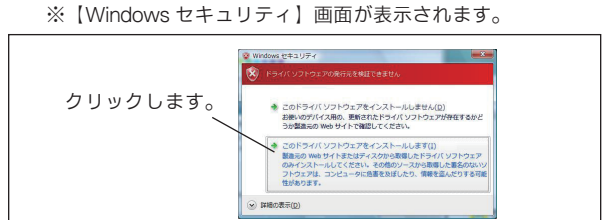
※インストールが始まります。

⑤［完了］ボタンをクリックします。

● OS が Windows Vista の場合

① 本体装置とパソコンを USB ケーブルで接続します。

※【ウィザード画面】が表示されます。

②「ドライバソフトウェアを検索してインストールします」をクリックします。

※【Windows セキュリティ】画面が表示されます。

③「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。

※タスクトレイに、デバイスドライバのアイコンが表示されます。

■ USB ドライバの確認

VR-D170 の USB ドライバは、次の手順で確認できます。

● OS が Windows XP/2000 の場合

「スタート」→「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」

● OS が Windows Vista の場合

「スタート」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」

ワンポイント

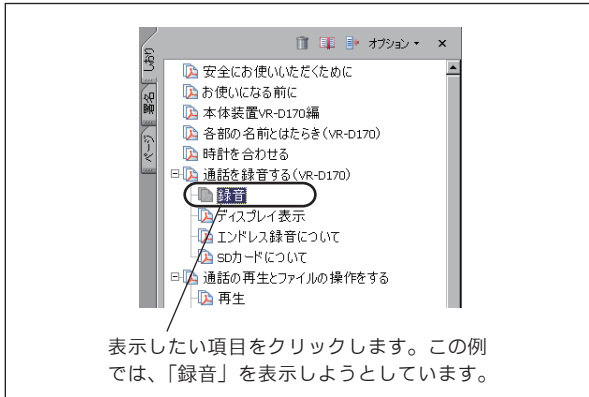
● Windows Vista の場合、操作の途中で【ユーザーアカウント制御】の画面が表示された場合は、［続行］ボタンをクリックしてください。

■ヘルプについて

各操作画面の［ヘルプ］ボタンをクリックすると電子ファイル化された取扱説明書（ヘルプ）を画面に表示します。
表示のためには「Adobe Reader」または「Adobe Acrobat Reader」が必要です。

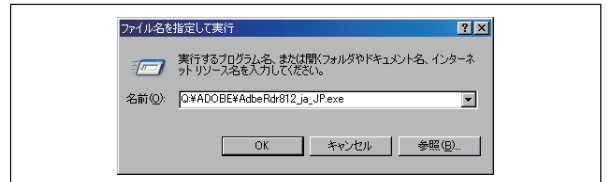
●使用方法

ヘルプ画面左側の「しおり」の項目をクリックすると、該当項目の説明画面に移動します。

表示したい項目をクリックします。この例では、「録音」を表示しようとしています。

ヘルプを表示中に本ソフトのほかの画面を操作するなどしてヘルプ画面が消えてしまったときは、もう一度[ヘルプ]ボタンをクリックしてください。再度、ヘルプが表示されます。

● Adobe Reader のインストール

「Adobe Reader」がインストールされていない場合は、次のようにしてインストールしてください。

① 実行中のソフトを全て終了します。
② 本ソフトの CD を、パソコンの CD ドライブに入れます。
③ メニューバーを「スタート」→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
※「ファイル名を指定して実行」画面が開きます。

④「名前」欄に、キーボードから次のように入力して［OK］ボタンをクリックします。

Q:¥ADOBE¥AdbeRdr812_ja_JP.exe

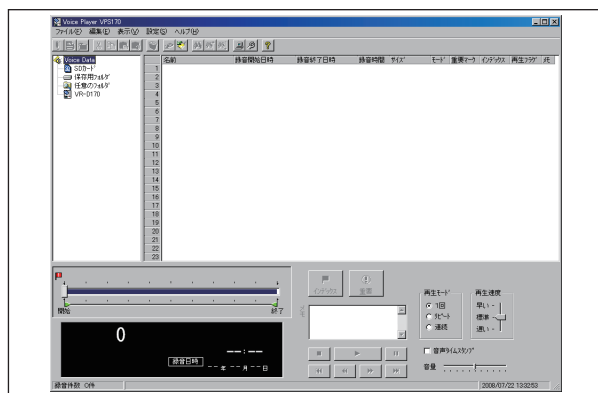
※「Q:」は CD のドライブ名です。お使いになっているパソコンによって異なります。

⑤ 以降は画面の指示に従ってください。
最初にヘルプを表示するときは、「Adobe Reader」の使用許諾書が表示されます。内容をご覧になった上、［同意する］ボタンをクリックしてください。

■ソフトの起動

①「スタート」→「すべてのプログラム」→「TAKACOM」→「Voice Player VPS170」の順にクリックします。

※ショートカットが作成してある場合は、ショートカットアイコンをダブルクリックしても起動できます。

※【基本画面】が表示されます。

●スタートアップに登録されている場合

本ソフトがスタートアップに登録されている場合は、タスクトレイに［VPS170］のアイコンを表示しています。

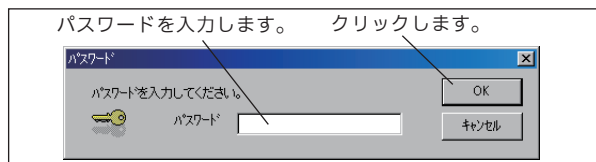
① アイコンを右クリックして「元のサイズに戻す」をクリックします。

※【基本画面】が表示されます。

※アイコンをダブルクリックしても【基本画面】を表示することができます。

●システムセキュリティが設定されている場合

セキュリティパスワードが設定されている場合は、本ソフトを起動したときにパスワード入力画面を表示します。パスワードの設定方法は、「設定」(76 ページ)を参照してください。

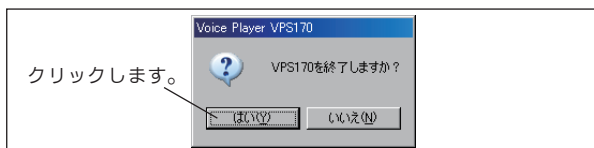
① パスワードを入力して［OK］ボタンをクリックします。

※【基本画面】が表示されます。

●本ソフトのバージョンを確認するには

【基本画面】のメニューバーで「ヘルプ」→「バージョン情報」をクリックします。

■ソフトの終了

① メニューバーを「ファイル」→「終了」の順にクリックします。または、［×］（閉じる）ボタンをクリックします。

※アプリケーション終了の確認画面を表示します。

②［はい］ボタンをクリックします。

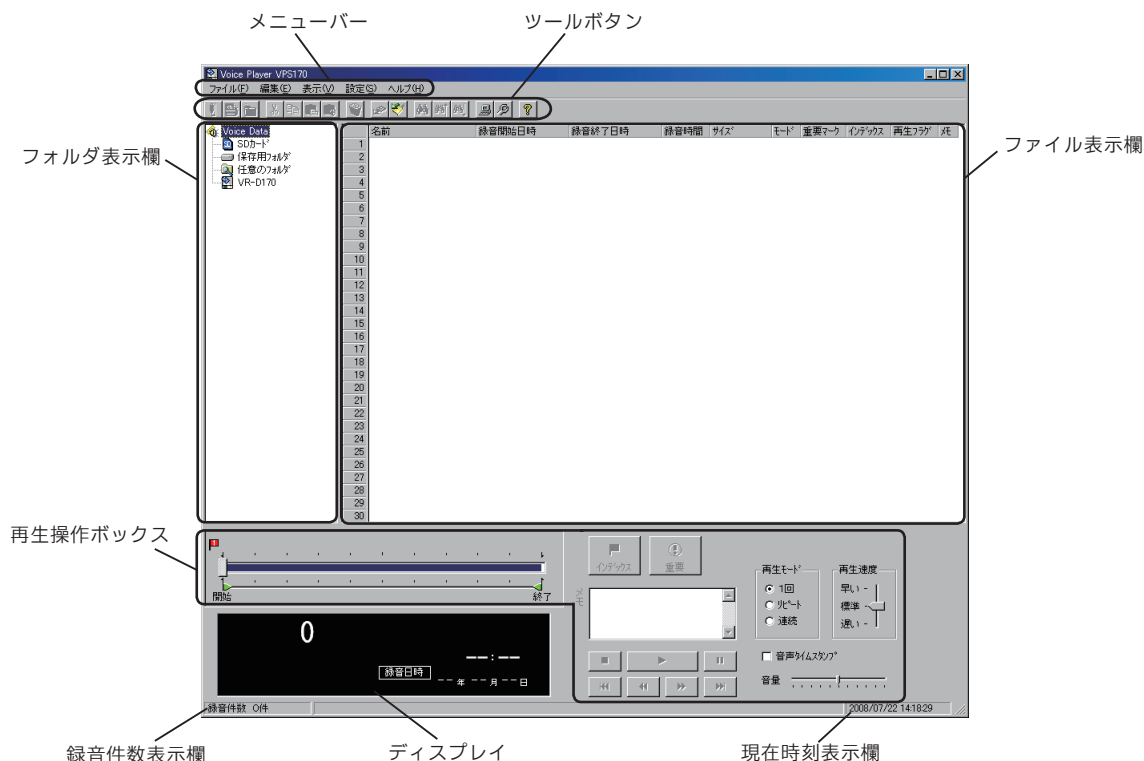
ワンポイント

● 自動転送を設定している場合、本ソフトを終了するときに、次の確認画面を表示します。

［はい］ボタンで本ソフトを終了します。

操作のしかた

再生ソフト VPS170 の基本画面

本ソフトを起動すると下の【基本画面】が表示されます。

メニューバー	本ソフトで操作できる項目のメニューを表示します。クリックすると項目ごとの操作メニューを表示します。
ツールボタン	操作メニューの中で、使用頻度の高い操作をボタンで表示しています。ボタンをクリックするとワンタッチでその操作に移ります。
フォルダ表示欄	音声ファイルを保存したりコピーする場合などに選択するフォルダなどを表示します。
ファイル表示欄	選択したフォルダに保存された音声ファイルを表示します。ファイルごとに録音日時などの情報を表示します。 再生するファイルはここで選択します。
再生操作ボックス	音声ファイルを再生するときの操作ボタンと、再生のオプション操作を行うためのボタンなどがあります。
ディスプレイ	選択された音声ファイルの録音日時などの情報を表示します。
録音件数表示欄	選択したフォルダに保存された音声ファイルの件数を表示します。
現在時刻表示欄	現在の年月日、時分秒を表示しています。

フォルダの操作

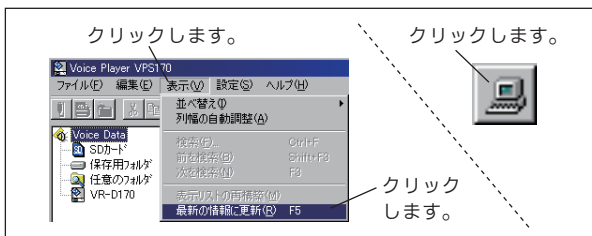
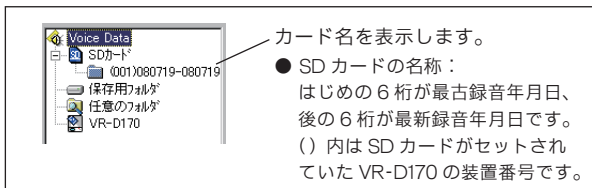
■フォルダの選択

● SD カードを選択する場合

SD カードに保存された音声ファイルのフォルダを選択します。

① SD カードをカードリーダーに入れます。

※ SD カードの内容が表示された場合は、［×］ボタンで画面を閉じてください。

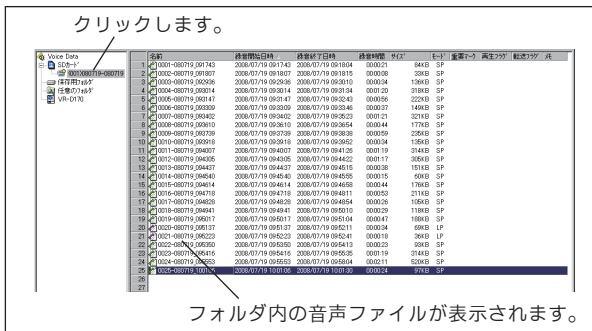
② メニューバーの「表示」→「最新の情報に更新」をクリックまたは、ツールボタンの［最新の情報に更新］ボタンをクリックします。

※ SD カードを認識して SD カードの名称を表示します。

※本ソフトで装置名を登録すると、装置番号が装置名で表示されます。

③ フォルダをクリックします。

※フォルダ内の音声ファイルを表示します。

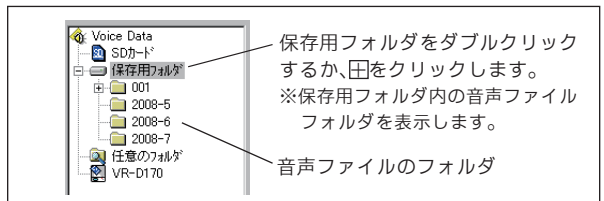
ワンポイント

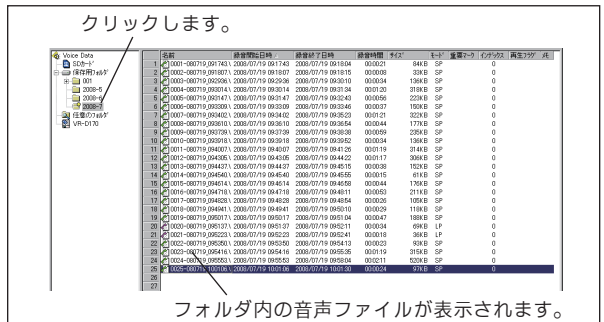
● SD カードのライトプロテクトがロックされているときは、次の表示となりファイルの表示ができません。

ロックを解除してご使用ください。

●保存用フォルダを選択する場合

保存用フォルダは、ハードディスクの本ソフトをインストールしたフォルダ内に自動的に作成されます。

① 保存用フォルダ内の音声ファイルのフォルダを選択します。

※音声ファイルフォルダが表示されていない場合は、保存用フォルダをダブルクリックするか、展開（⊞）をクリックします。

② 目的のフォルダをクリックします。

※フォルダ内の音声ファイルを表示します。

ワンポイント

● 保存用フォルダの保管場所を変更することができます。メニューバーの「設定」またはツールボタンの［設定］で、「フォルダ参照」から保存用フォルダを選択します。

保存用フォルダの容量について

音声ファイルのバックアップ保存やファイルのコピー、または USB データ転送などによって、保存用フォルダのメモリ残量が少なくなると、次の警告画面を表示してデータの保存ができなくなります。

《メモリ残量の目安》

・保存用フォルダをハードディスクまたは 2GB 以上のリムーバブルディスクに設定した場合は、メモリ残量が 500MB 以下になるとデータ保存が中止されます。

・保存用フォルダを 2GB 未満のリムーバブルディスクに設定した場合は、メモリ残量が 50MB 以下になるとデータ保存が中止されます。

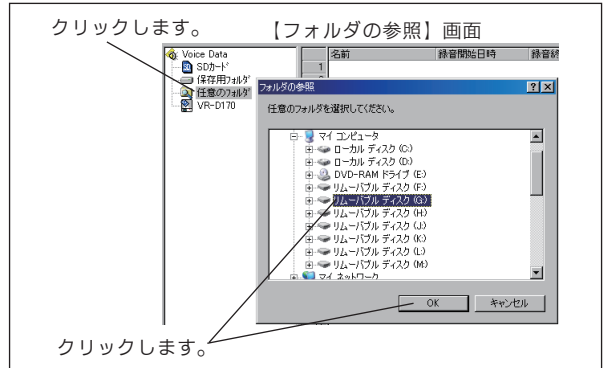
[OK] ボタンをクリックして、フォルダ内の不要な音声ファイルを削除するなどしてメモリの空き容量を増やしてください。

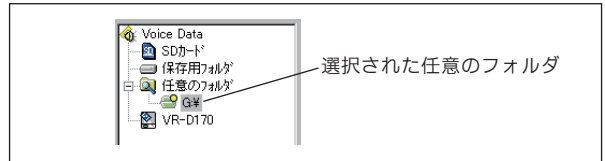
※保存用フォルダをハードディスクに設定した場合は、削除した音声ファイルは「ごみ箱」に入ります。従って「ごみ箱」を空にしないとメモリの空き容量は増えません。「ごみ箱」を空にしてください。

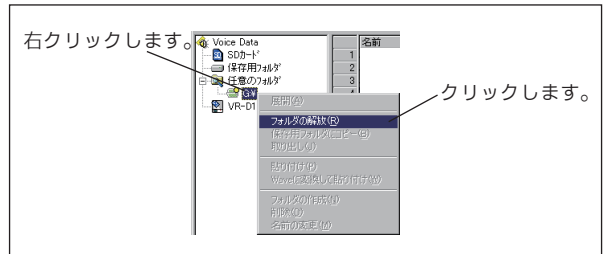
●任意のフォルダを選択する場合

音声ファイルを、ハードディスクの任意のフォルダや外部のリムーバブルディスクに保存することができます。フォルダは最大 10 個まで作成することができます。

① 任意のフォルダを選択します。

※フォルダの参照画面を表示します。

② フォルダを選択して [OK] ボタンをクリックします。

※選択したフォルダが任意のフォルダの下に表示されます。

◆選択したフォルダを取り消すときは

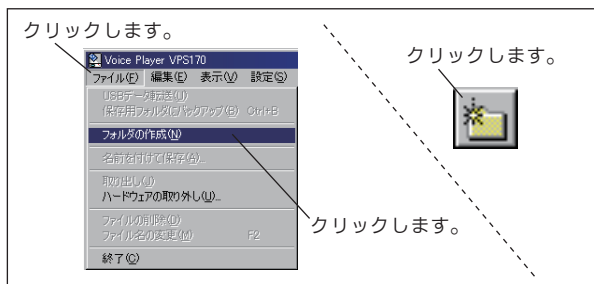
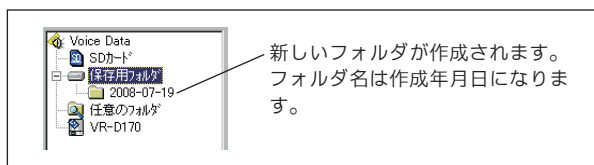
フォルダ名を右クリックして「フォルダの解放」をクリックします。

■保存用フォルダの作成・編集・削除

●保存用フォルダを新規作成する

音声ファイルの保存用に新しいフォルダを作成することができます。

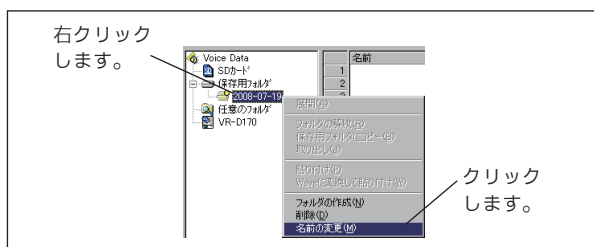
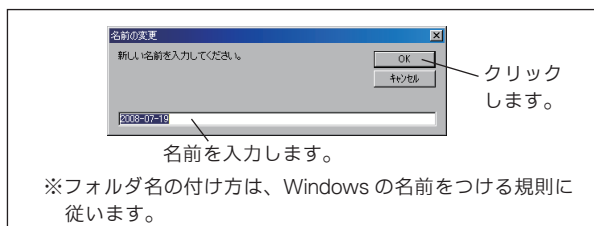
① 保存用フォルダを選択します。

② メニューバーの「ファイル」→「フォルダの作成」をクリックまたは、ツールボタンの［フォルダの作成］ボタンをクリックします。

※保存用フォルダの右クリックメニューでも「フォルダの作成」を選択できます。

③ 新しいフォルダが、保存用フォルダの下に作成されます。

●保存用フォルダの名前を編集する

保存用フォルダの名前を変更することができます。

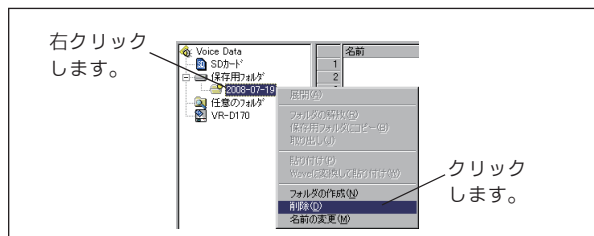
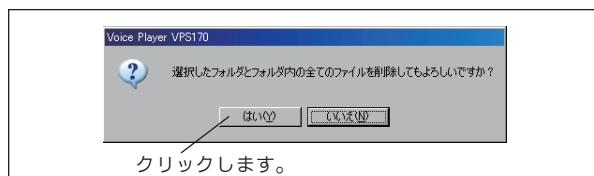
① 名前を変えたいフォルダを選択して、右クリックします。

※【名前の変更】画面を表示します。

※フォルダ名の付け方は、Windows の名前をつける規則に従います。

② キーボードから名前を入力し、[OK］ボタンをクリックします。

※フォルダ表示欄のフォルダ名が変わります。

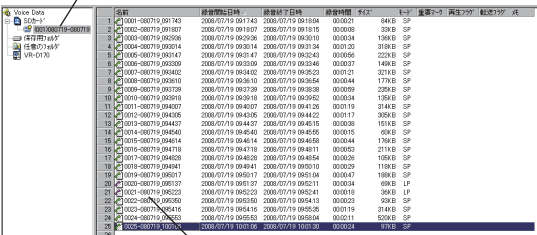
●保存用フォルダを削除する

保存用フォルダを削除することができます。

① 削除したいフォルダを選択して、右クリックします。

※削除の確認画面を表示します。

② ［はい］ボタンをクリックします。

※フォルダ表示欄のフォルダが削除されます。

ワンポイント

● 保存用フォルダを削除すると、フォルダ内のすべての音声ファイル、サブフォルダが削除されます。注意してください。

ファイルのバックアップ保存

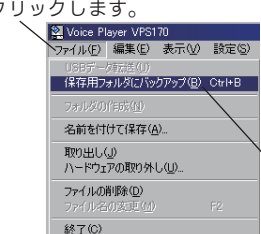
■ SD カードファイルのバックアップ保存

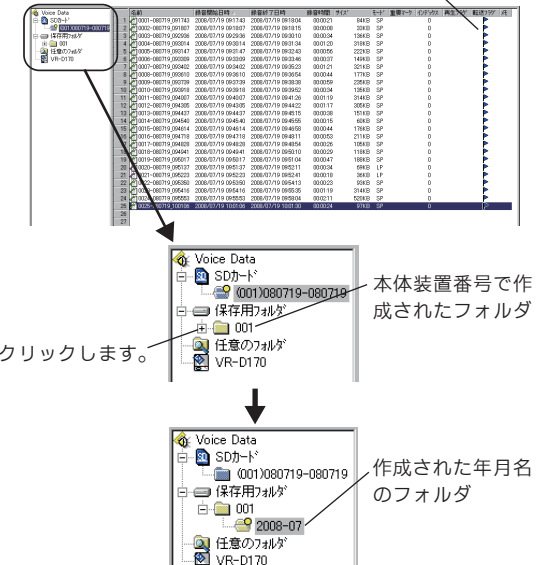
SD カードに保存された音声ファイルを一括して保存用フォルダにバックアップコピーします。

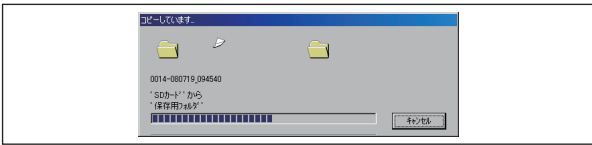
①「フォルダの操作－フォルダの選択－ SD カードを選択する場合」（55 ページ）の手順で、SD カードを選択します。

② SD カード内のフォルダをクリックします。

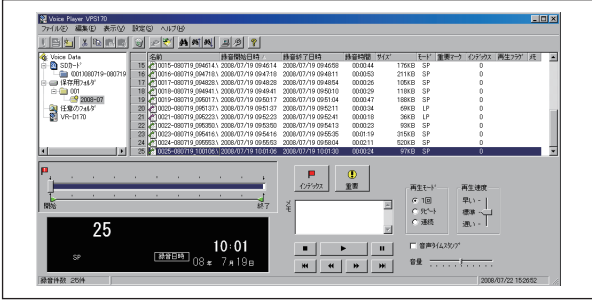
※フォルダ内の音声ファイルを表示します。

※ファイル名は次のように付けられます。

③ メニューバーの「ファイル」→「保存用フォルダにバックアップ」をクリックまたは、ツールボタンの［保存用フォルダにバックアップ］ボタンをクリックします。

※バックアップの確認画面を表示します。

④［はい］ボタンをクリックします。

※以前にバックアップされていないデータのバックアップを開始します。

⑤ バックアップが終了すると、保存用フォルダの中に装置番号（装置名）のフォルダと、その下に年月名のフォルダが表示されます。

⑥ フォルダをクリックします。

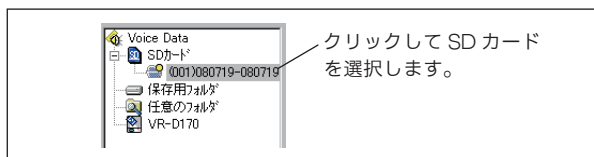
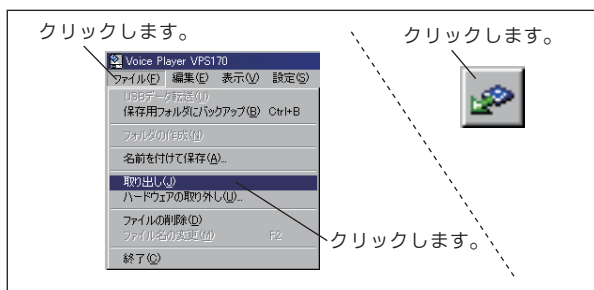
※フォルダ内の音声ファイルを表示します。

ワンポイント

● 一度バックアップ保存で転送されたファイルは、バックアップ済み扱いとなり、再度バックアップはできません。

● SD カード内にバックアップ前の音声ファイルがない場合は、次の案内を表示します。

SD カード取り外し時の注意

SD カードをカードリーダーから取り外すときは、必ず次の手順で取り外してください。

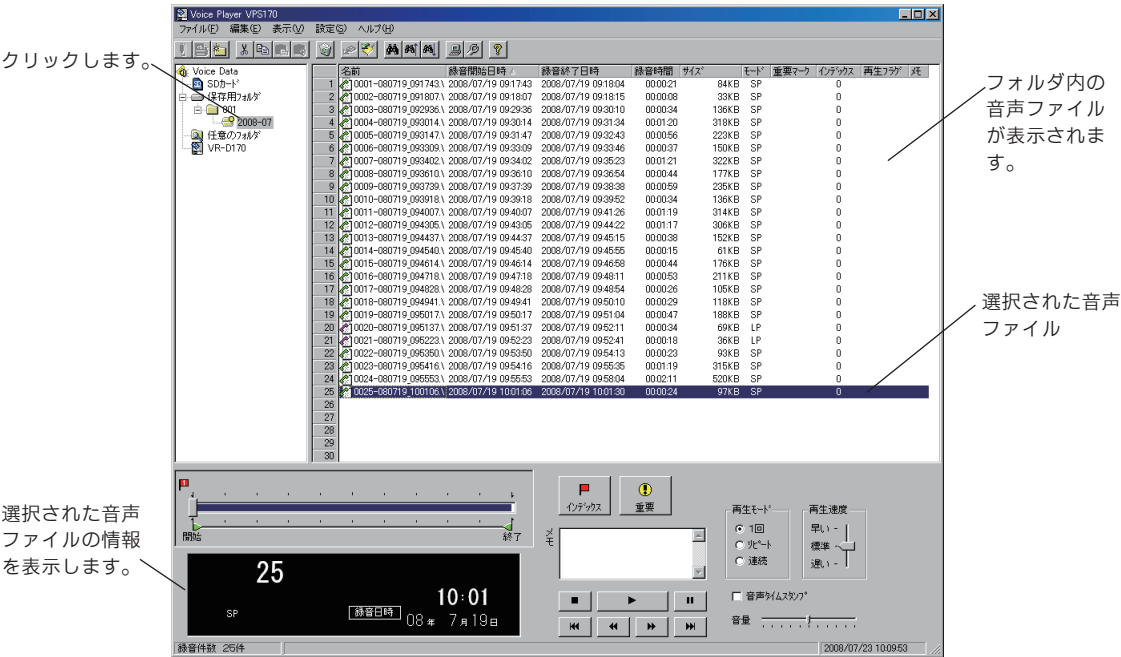
① SD カードを選択します。

② メニューバーの「ファイル」→「取り出し」をクリックまたは、ツールボタンの［取り出し］ボタンをクリックします。

※案内画面を表示します。

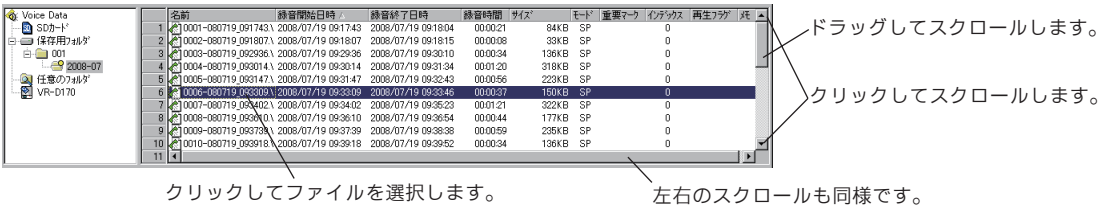
③［OK］ボタンをクリックします。
④ SD カードをカードリーダーから取り出します。

ファイルの操作

保存用フォルダ内の音声ファイルの操作について説明します。SD カードおよび任意のフォルダ内の音声ファイルの操作も同様ですが、一部操作できない項目があります。下記の「ファイル操作一覧表」を参照してください。

■ファイルの選択

フォルダの選択で選んだフォルダをクリックすると、「ファイル情報取得中」のあと、ファイル表示欄に音声ファイルが一覧表示されます。

●ファイルの選択

表示された音声ファイル一覧から目的のファイルをクリックします。

●ファイル操作一覧表

「VPS170」でファイル操作のできる項目は、選択しているフォルダによって次のようになります。

○：できる操作　×：できない操作　　【USB 接続の VR-D170 のフォルダからは、ファイルの転送だけができます。】

選択しているﾌｫﾙﾀﾞ		コピー	切取り	貼付け	Wav 貼付	削除	名前変更	再生	重要	ｲﾝﾃﾞｯｸｽ	メモ
SD カードのﾌｫﾙﾀﾞ		○	×	×	×	○	×	○	○	○＊1	○
保存用ﾌｫﾙﾀﾞ	VRD ﾌｧｲﾙ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WAV ﾌｧｲﾙ	○	○	○	×	○	○	○	×	○＊1	×
任意のﾌｫﾙﾀﾞ	VRD ﾌｧｲﾙ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WAV ﾌｧｲﾙ	○	○	○	×	○	○	○	×	○＊1	×

＊1：操作のみできます。保存はできません。

●【ファイル表示欄】の情報（保存用フォルダの例）

表示された音声ファイルの情報は次の通りです。
パソコンの１つのフォルダに 9999 件まで保存されます。

◆フォルダ表示欄で「SD カード」または「VR-D170」を選択した場合は、ファイル表示欄の情報は次のようになります。

※インデックスの数は表示されません。

行番号	ファイル一覧の行番号
ファイル名	ファイルの名前（ファイル番号と録音開始の年月日時分）
録音開始日時	録音開始の日時（西暦年 / 月 / 日　時 (24 時間制)：分：秒
録音終了日時	録音終了の日時（西暦年 / 月 / 日　時 (24 時間制)：分：秒
録音時間	録音時間（時間：分 : 秒）
ファイルサイズ	ファイルの大きさ
録音モード	SP モード（標準録音モード）
	LP モード（長時間録音モード）
重要マーク	重要マークが付いていると表示
インデックスの数	インデックスが設定されているとその数を表示
再生フラグ	再生済のファイルに表示
転送フラグ	保存用フォルダにバックアップ済みのファイルに表示
メモ	メモが付けられていると表示（全角で 64 文字、半角 128 文字まで）

●【ディスプレイ】の情報

選択された音声ファイルの情報は、ディスプレイに次のように表示されます。

ワンポイント

● **ファイル種別のアイコン表示について**

音声ファイルのアイコンは、録音モードの種類などによって色分けされています。

アイコン	説明
（緑）	SP（標準）モードで録音されたファイル。
（赤）	LP（長時間）モードで録音されたファイル。
（黄）	Wave 形式に変換されたファイル。

● **音声ファイルの拡張子について**

音声ファイルの拡張子は次のように表示されます。

・VRD ：本体装置で録音されたファイルの拡張子です。

・WAV ：Wave 形式に変換されたファイルの拡張子です。

● 保存用フォルダに保存された音声ファイルのファイル番号は、複数の異なる音声ファイルに同じ番号が表示される場合があります。（録音開始日時は異なります。）

※本体装置で転送済み音声ファイルの消去（エンドレス録音での自動消去を含む）を行なうと、SD カード内のファイル名はファイル番号が更新されます。従って、このあとの新しい録音は、消去したファイルの数だけ転送済みのファイル番号と同じ番号のファイル名が付けられます。この音声ファイルを転送すると、保存用フォルダに同じファイル番号のファイルが保存されることになります。

●ファイル名の変更

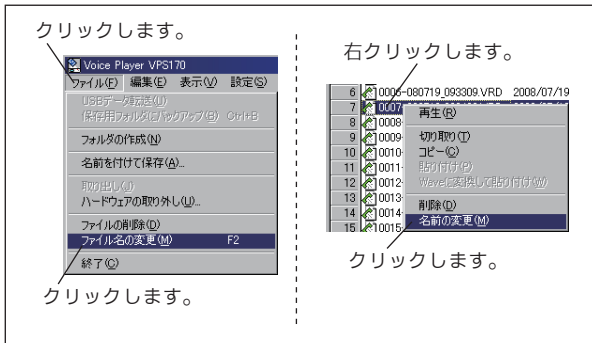
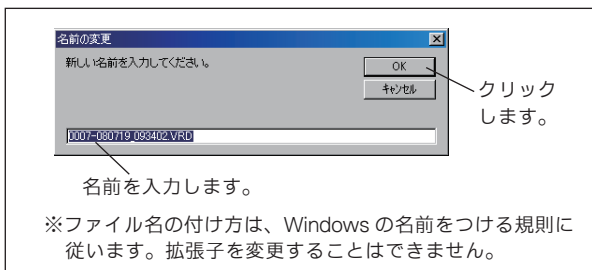
ファイルの名前を変更することができます。

① 表示された音声ファイル一覧から目的のファイルをクリックします。

② メニューバーの「ファイル」→「ファイル名の変更」をクリックします。

※該当ファイルの右クリックメニューでも「名前の変更」を選択できます。

※【名前の変更】画面を表示します。

※ファイル名の付け方は、Windows の名前をつける規則に従います。拡張子を変更することはできません。

③ キーボードから名前を入力し、[OK］ボタンをクリックします。

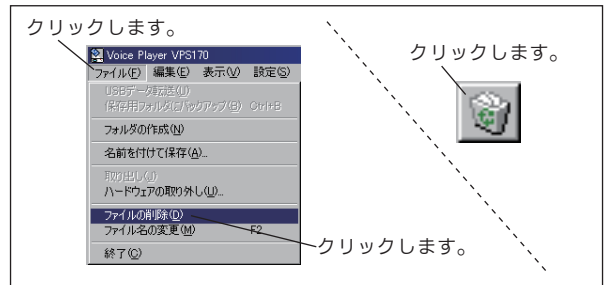
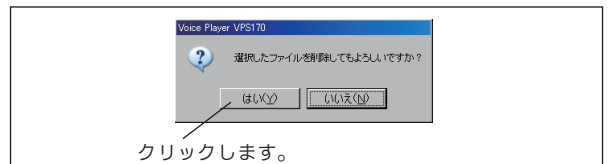
※ファイル名が変わります。

●ファイルの削除

選択したファイルを削除することができます。

① 表示された音声ファイル一覧から目的のファイルをクリックします。

② メニューバーの「ファイル」→「ファイルの削除」をクリックまたは、ツールボタンの［ファイルの削除］ボタンをクリックします。

※該当ファイルの右クリックメニューでも「削除」を選択できます。

※削除の確認画面を表示します。

③［はい］ボタンをクリックします。

※ファイル表示欄のファイルが削除されます。

●ファイル表示欄の列幅変更

ファイル表示欄の各項目の列幅を変更することができます。

① 変更したい項目列の右端にマウスカーソルを移動します。

② カーソルが下図の形になったら、ドラッグして列幅を変更します。

マウスカーソルがこの形になった状態で：
・ドラッグすると、列幅を変更することができます。
・ダブルクリックすると、列幅を自動調整します。

③ 列幅を元に戻すときは、カーソルが左図の形のときにダブルクリックします。

④ すべての項目の列幅を一括して自動調整するときは、メニューバーの「表示」→「列幅の自動調整」をクリックします。

ワンポイント

● 複数のファイルを選択する方法

(a) 連続したファイルを選択する方法

・キー操作による選択

① 最初のファイルをクリックして選択します。

② シフトキー([Shift])を押しながら、最後のファイルをクリックします。

③ シフトキー（[Shift]）を押さないでファイルをクリックすると、選択したファイルがすべて解除されます。

・ドラッグによる選択

① 最初のファイルをクリックして、マウスポインタに（＋）マークの表示がない状態で最後のファイルまでドラッグします。

マウスポインタに（＋）のマークを表示しない状態でドラッグします。

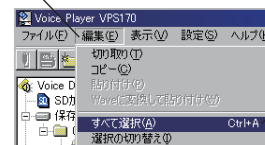
(b) 連続しないファイルを選択する方法

① コントロールキー([Ctrl])を押しながら、ファイルをクリックします。クリックしたファイルがすべて選択されます。

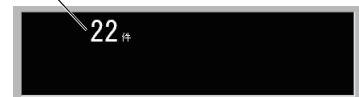
② コントロールキー（[Ctrl]）を押しながら、選択されたファイルをクリックすると、そのファイルの選択が解除されます。

● すべてのファイルを選択する方法

① 選択したいフォルダをクリックして、音声ファイルを表示します。

② メニューバーの「編集」→「すべて選択」をクリックします。

● 選択の切り替え

メニューバーの「編集」→「選択の切り替え」をクリックすると、選択／非選択を切り替えることができます。

※複数のファイルを選択すると、ディスプレイに選択したファイルの数が表示されます。

● ファイルの削除やコピーなどの操作は、複数のファイルを同時に行うことができます。

■ファイルの保存

ファイルを指定してパソコンのハードディスクや外部のリムーバブルディスクなどに保存することができます。

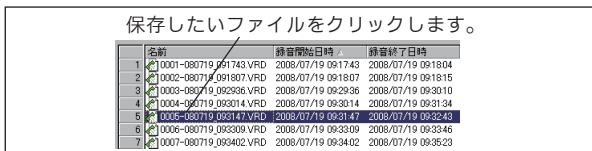
● SD カードのファイル保存

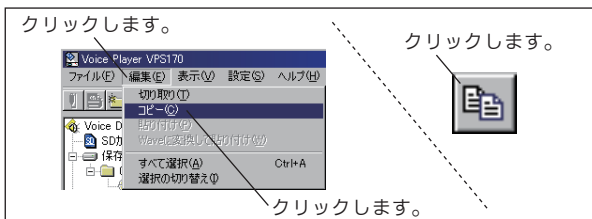
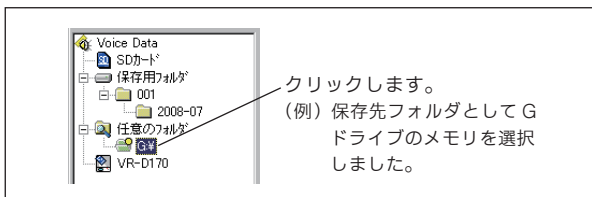
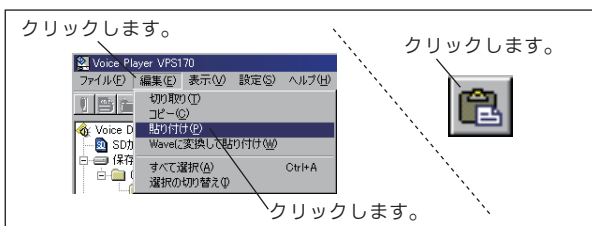
本書「SD カードファイルのバックアップ保存」(58 ページ)を参照してください。

●ファイルを選択して保存

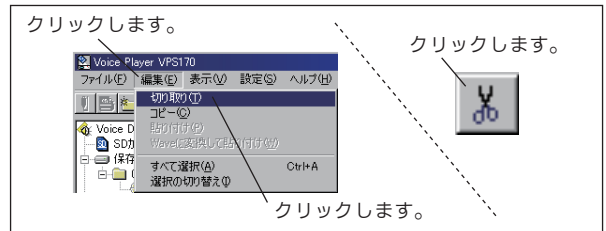
音声ファイルを選択して、他のフォルダやメモリに保存(貼り付け)します。

◆コピー→貼り付け

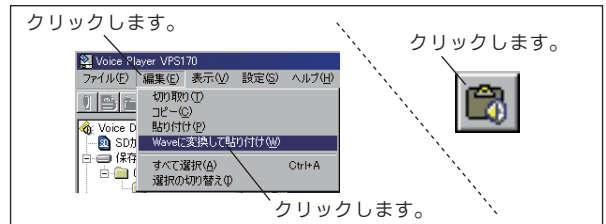
① 表示された音声ファイル一覧から保存したいファイルをクリックします。

② メニューバーの「編集」→「コピー」をクリックまたは、ツールボタンの[コピー]ボタンをクリックします。

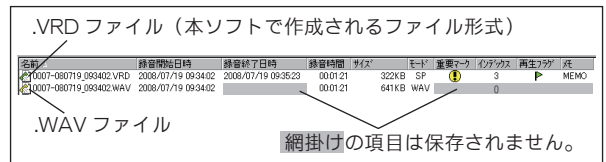
※該当ファイルの右クリックメニューでも「コピー」を選択できます。

③ 保存先のフォルダをクリックします。

④ メニューバーの「編集」→「貼り付け」をクリックまたは、ツールボタンの[貼り付け]ボタンをクリックします。

※保存先のフォルダに貼り付けされます。

◆切り取り→貼り付け

「コピー」の変わりに「切り取り」をクリックすると、貼り付け後、元ファイルが削除されます。(ファイルが移動されたことになります。)

ただし、元ファイルが SD カードにあるときは、この操作はできません。

◆コピー/切り取り→ Wave に変換して貼り付け

貼り付けるときに「貼り付け」ではなく「Wave に変換して貼り付け」をクリックまたは、ツールボタンの[Wave に変換して貼り付け]ボタンをクリックすると、Windows の標準的な音声形式である Wave 形式に変換して貼り付けます。

ただし、Wave 形式に変換すると次の項目は保存されません。

- 録音終了日時
- 重要マーク
- インデックスの数
- 再生フラグ
- メモ

ワンポイント

● 複数のファイルを選択すると、一括してコピー/貼り付けなどの操作ができます。

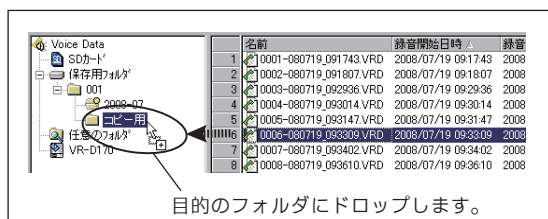
ワンポイント

● ドラッグによるファイルのコピー

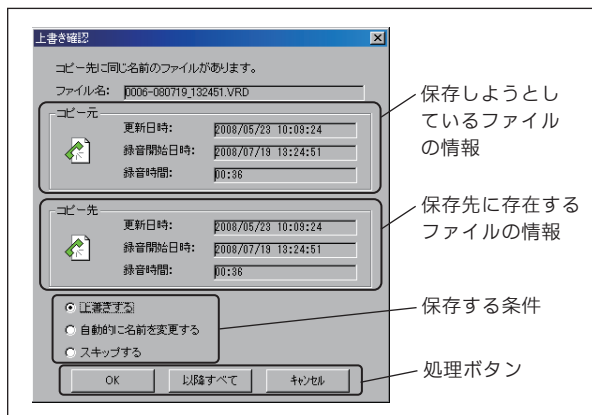
ファイル表示欄のファイルをドラッグしてフォルダ表示欄のフォルダにコピーすることができます。

① ファイル表示欄でコピーするファイルをクリックして、マウスポインタに（＋）マークを表示している状態で、フォルダ表示欄の目的のフォルダまでドラッグ、ドロップします。

マウスポインタに（＋）のマーク表示している状態でクリックし、そのままドラッグします。

目的のフォルダにドロップします。

◆複数のファイルを選択して、ドラッグコピーすることもできます。

●同じ名前のファイルがあったとき

保存先に同じ名前のファイルがあったときは、次の【上書き確認】の画面が開いて、処理を選択することができます。

① 保存する条件を選択します。

・**上書きする**

すでに存在するファイルを消去して書き込むときに選択します。

・**自動的に名前を変更する**

存在するファイルはそのままで、ファイル名を変えて書き込むときに選択します。新しいファイル名は自動的に付けられます。

（例）旧ファイル名.VRD → 旧ファイル名 (2).VRD　など

・**スキップする**

該当ファイルは保存しないで、次の処理に移るときに選択します。

② 処理ボタンをクリックします。

・**[OK] ボタン**

選択した保存条件で処理を開始するときにクリックします。

・**[以降すべて] ボタン**

複数のファイルを保存するときにクリックします。選択したほかのファイルに対しても同じ条件で保存されます。

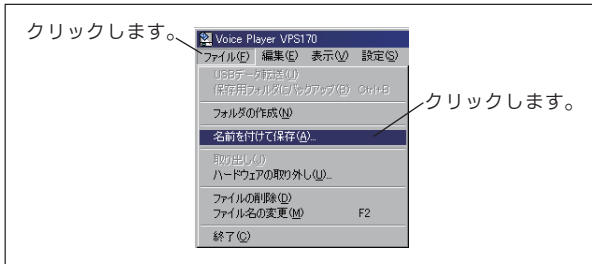
・**[キャンセル] ボタン**

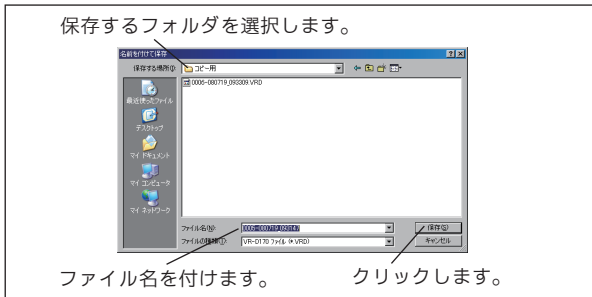
ファイルの保存処理をキャンセルするときにクリックします。

●名前を付けて保存

選択したファイルに別の名前を付けて保存します。

① 表示された音声ファイル一覧から保存したいファイルをクリックします。

② メニューバーの「ファイル」→「名前をつけて保存」をクリックします。

※【名前をつけて保存】画面が表示されます。

③ 保存先のフォルダを選択してファイル名を付けます。

④［保存］ボタンをクリックします。

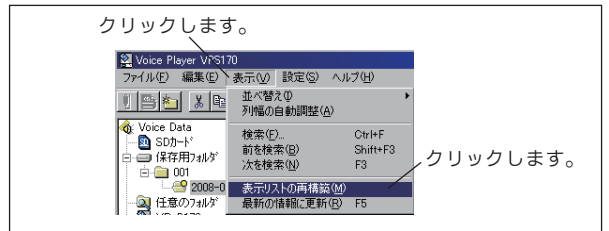
※保存先のフォルダに別の名前で保存されます。

ワンポイント

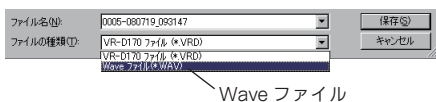
● 手順③の【名前をつけて保存】画面で、［ファイルの種類］を「Wave ファイル（.WAV)」を選択すると、Wave ファイル形式に変換して保存します。

■表示リストの再構築

音声ファイルを選択してコピー保存などを行なったときに、“ファイルが見つかりません‥‥” などの警告が表示される場合は、フォルダ内の音声ファイルが変更されていることが考えられます。
次の手順で表示リストを更新してください。

① メニューバーの「表示」→「表示リストの再構築」をクリックします。

※フォルダ内のファイル情報を取得して、ファイル表示欄の表示リストを再構築します。

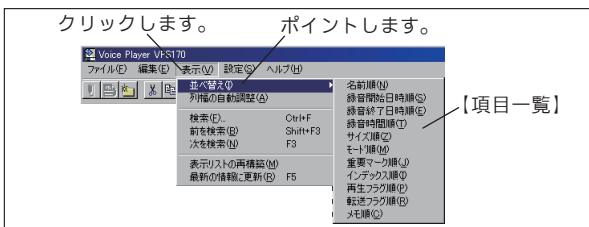
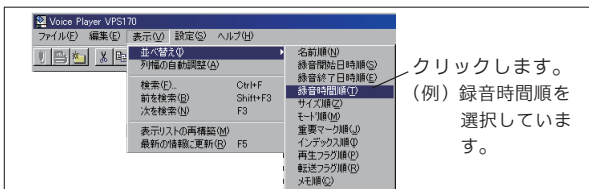
お願い

● 本ソフト以外のツール（エクスプローラーなど）で、SD カードや保存用フォルダ内の音声ファイルの、削除・コピー・編集などの操作をしないでください。再生などの操作ができなくなる場合があります。

■ファイルの並べ替え

ファイル表示欄に表示されている音声ファイルを、項目を選択して「昇順」または「降順」に並べ替えることができます。

●方法1

① メニューバーの「表示」をクリックし、「並べ替え」をポイントします。

※「並べ替え」の【項目一覧】が表示されます。

② 【項目一覧】で、並べ替えのキーとする項目を選択してクリックします。

※すべてのファイルを選択した項目で「昇順」に並べ替えます。

	名前	録音開始日時	録音終了日時	録音時間	サイズ
1	0002-080719_091807.VRD	2008/07/19 09:18:07	2008/07/19 09:18:15	00:00:08	
2	0014-080719_094540.VRD	2008/07/19 09:45:40	2008/07/19 09:45:55	00:00:15	
3	0021-080719_095223.VRD	2008/07/19 09:52:23	2008/07/19 09:52:41	00:00:18	
4	0001-080719_091743.VRD	2008/07/19 09:17:43	2008/07/19 09:18:04	00:00:21	
5	0022-080719_095350.VRD	2008/07/19 09:53:50	2008/07/19 09:54:13	00:00:23	
6	0025-080719_100106.VRD	2008/07/19 10:01:06	2008/07/19 10:01:30	00:00:24	

（例）「録音時間」で「昇順」に並べ替えます。

●方法2

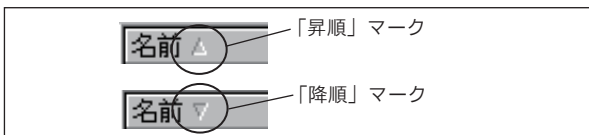
① ファイル表示欄で、並べ替えのキーとする項目をクリックします。

② クリックするたびに、該当の項目で「昇順／降順」が切り替わります。

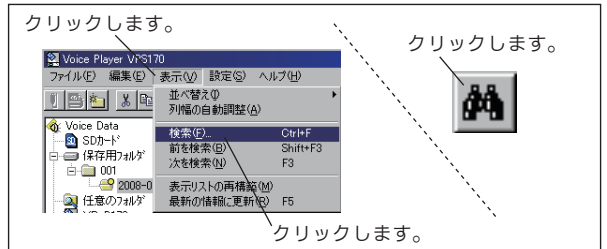
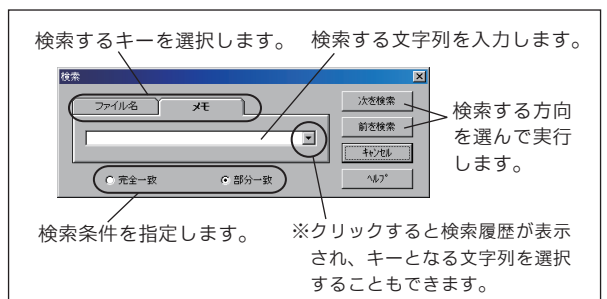
並べ替えのキーとする項目をクリックします。

	名前	録音開始日時	録音終了日時	録音時間	サイズ
1	0025-080719_100106.VRD	2008/07/19 10:01:06	2008/07/19 10:01:30	00:00:24	
2	0024-080719_095553.VRD	2008/07/19 09:55:53	2008/07/19 09:58:05	00:02:12	
3	0023-080719_095416.VRD	2008/07/19 09:54:16	2008/07/19 09:55:36	00:01:20	
4	0022-080719_095350.VRD	2008/07/19 09:53:50	2008/07/19 09:54:13	00:00:23	
5	0021-080719_095223.VRD	2008/07/19 09:52:23	2008/07/19 09:52:41	00:00:18	
6	0020-080719_095137.VRD	2008/07/19 09:51:37	2008/07/19 09:52:12	00:00:35	

（例）この例では「名前」で「降順」に並べ替えてあります。
もう一度クリックすると「昇順」で並べ替えます。

※「昇順／降順」の区別は、項目の右側に記号で表示されます。

■ファイルの検索

ファイル名またはメモの内容をキーにして、ファイルを検索することができます。

① メニューバーの「表示」→「検索」をクリックまたは、ツールボタンの［検索］ボタンをクリックします。

※【検索】画面を表示します。

② 検索するキー（ファイル名またはメモ）を選択して、検索する文字を入力します。

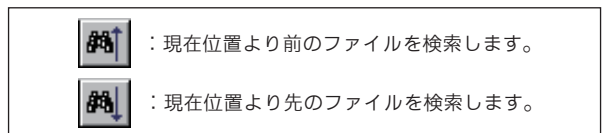
③ 検索条件を指定します。

・「完全一致」を選択すると、検索する文字列と完全に一致するファイルを検索します。

・「部分一致」を選択すると、検索する文字列を含むファイルを検索します。

④ ［前を検索］または［次を検索］をクリックして検索を実行します。
ツールボタンの［前を検索］ボタンまたは［次を検索］ボタンをクリックしても、同じ条件で検索を実行します。

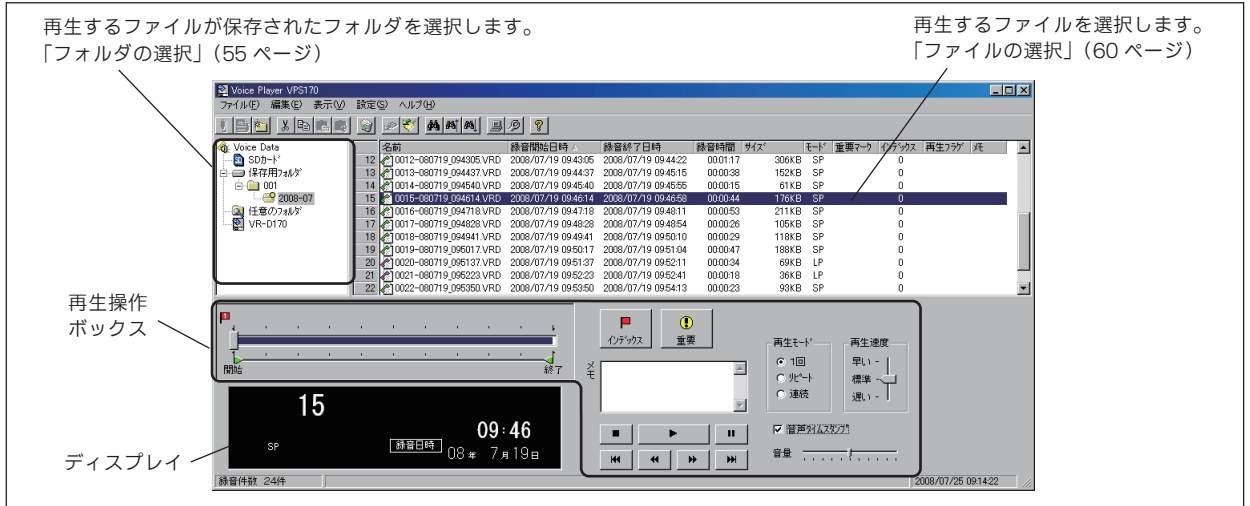
：現在位置より前のファイルを検索します。

：現在位置より先のファイルを検索します。

ワンポイント

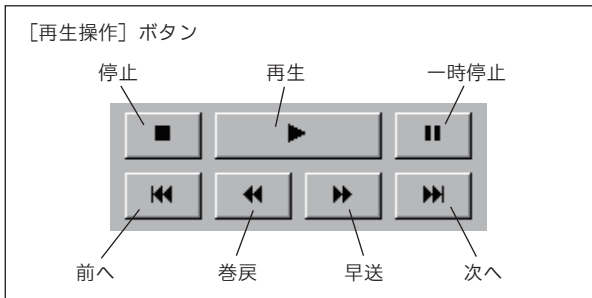
● ファイル名およびメモは全角 127 文字、半角 255 文字まで入力できます。

● 英文字の大文字／小文字は区別しません。

再生

再生操作ボックスのボタン操作で、音声ファイルの再生と、その他の再生オプション操作を行います。

■基本的な操作

ファイル表示欄で再生したいファイルをクリックして選択します。

●再生操作ボタンのはたらき

・再生　　：選択したファイルを再生します。
・停止　　：再生を停止します。
・一時停止：再生中にクリックすると、再生を一時停止します。一時停止中にクリックすると、再生を再開します。
・前へ　　：再生中にクリックすると、そのファイルの冒頭に戻ります。インデックスがあるときは、ひとつ前のインデックスに戻ります。
停止中にクリックすると、ひとつ前のファイルに戻ります。
・次へ　　：再生中にクリックすると、次のファイルに進みます。インデックスがあるときは、ひとつ先のインデックスに進みます。
停止中にクリックすると、次のファイルに進みます。
・巻戻　　：3 秒前に戻します。
再生停止中は無効です。
・早送　　：3 秒先に進めます。
再生停止中は無効です。

●再生中のディスプレイ表示

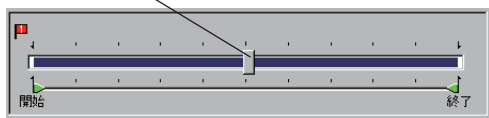
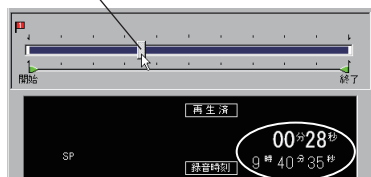
再生中は、ディスプレイに次のような情報が表示されます。

再生の一時停止中は、再生中のマークが変わり、再生位置の表示と共に点滅します。

ワンポイント

● 音声ファイルを選択したときに、そのファイルが見つからない場合などは、［再生操作］ボタンが操作できません。「表示リストの再構築」（66 ページ）の手順で表示リストを更新してください。

●再生位置スライダーについて

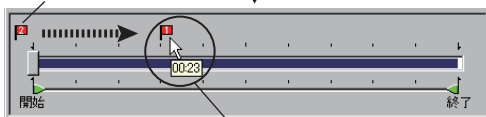
再生中は、下図のようにスライダーが移動して現在の再生位置を示します。

スライダーをドラッグして再生位置の確認や変更ができます。

■オプション操作

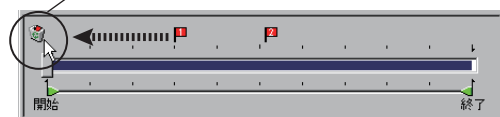
●インデックスフラグの設定

音声ファイルに目印としてインデックスフラグを設定することができます。インデックスフラグはひとつのファイルに最大５個まで付けられます。

インデックスフラグの設定には、次の３通りの方法があります。

◆方法１

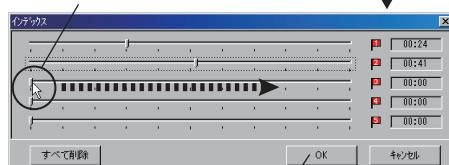
① 再生停止中にインデックスフラグをドラッグアンドドロップします。

② 設定したインデックスフラグを左端までドラッグアンドドロップすると、そのインデックスフラグを削除することができます。

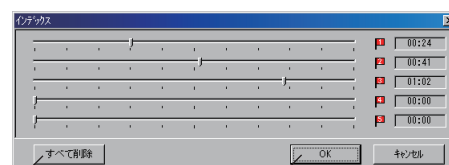
※インデックスフラグの右クリックメニューで、［削除］をクリックしても削除できます。

◆方法２

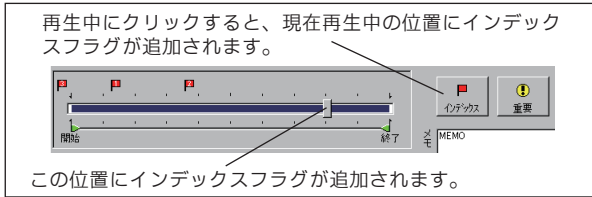
① 再生停止中に［インデックス］ボタンをクリックします。

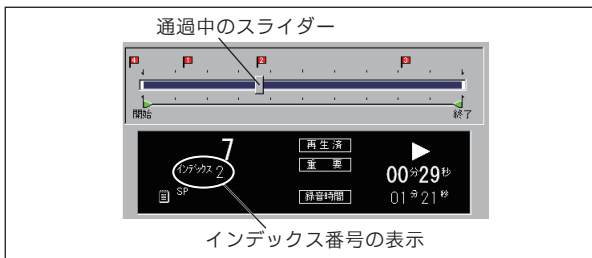
※【インデックスウインドウ】が開きます。

※インデックスフラグの右クリックメニューで、［編集］をクリックしても【インデックスウインドウ】を表示できます。

② スライダーをドラッグアンドドロップして、［OK］ボタンをクリックします。

③ 設定したインデックスフラグを左端までドラッグアンドドロップして［OK］ボタンをクリックすると、そのインデックスフラグを削除することができます。

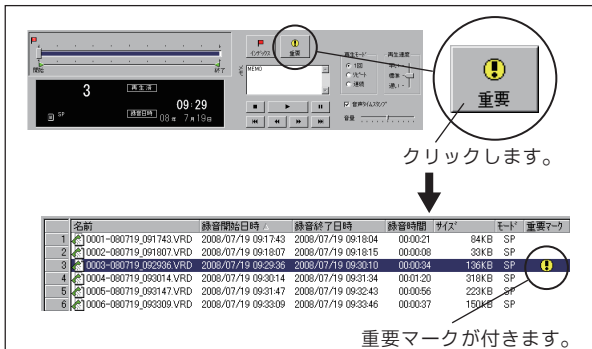
④［すべて削除］→［OK］ボタンをクリックすると、表示しているすべてのインデックスフラグを削除します。

◆方法３

① 再生中にインデックスを置きたい位置で［インデックス］ボタンをクリックします。

② スライダーがインデックスを通過中に［インデックス］ボタンをクリックすると、インデックスを解除できます。

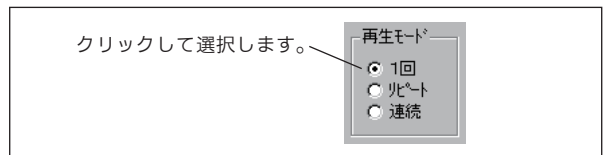
※インデックスを通過中は、ディスプレイに通過中のインデックス番号を表示します。

●重要マークの指定

大切な音声ファイルには重要マークを付けて管理することができます。

① 表示された音声ファイル一覧から重要マークを付けるファイルをクリックします。

②［重要］ボタンをクリックします。

③ 重要マークが付いているファイルを選択して［重要］ボタンをクリックすると、重要マークが削除されます。

●再生モードの選択

音声ファイルを再生するときの「再生モード」は次の３つのモードから選択できます。

①［オプションボタン］をクリックして再生モードを選択します。

◆１回

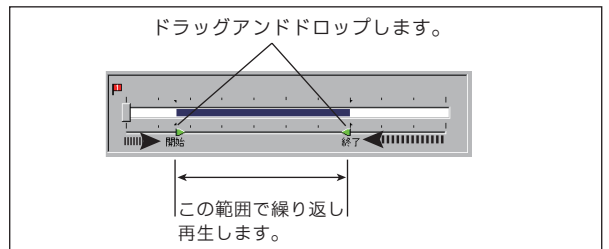
選択したファイルを１回再生すると再生停止します。

◆リピート

選択したファイルを繰り返し再生します。［停止］ボタンをクリックすると再生停止します。

《リピート範囲の指定》

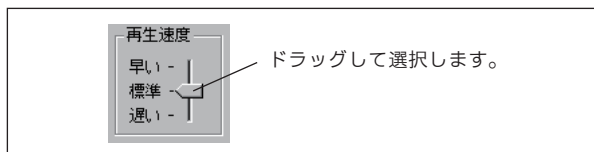
再生を繰り返す範囲を指定することができます。

再生停止中に「開始アンカー」および「終了アンカー」をドラッグアンドドロップして再生範囲を指定します。

※アンカーをドラッグ中は、ディスプレイにそのポイントの録音時刻を表示します。

◆連続

選択指定したファイルから順に再生します。［停止］ボタンをクリックするか、最後のファイルを再生し終わると再生停止します。

●再生速度の選択

音声ファイルを再生するときの「再生速度」は次の3種類から選択できます。再生中または再生停止中に操作できます。

①［ツマミ］をドラッグして再生速度を選択します。

◆早い

標準の1.5倍の速度で再生します。

◆標準

通常の速度で再生します。

◆遅い

標準の0.75倍の速度で再生します。

●音声タイムスタンプの指定

録音された月日時刻を合成音でアナウンスする／しないを指定します。

① 音声タイムスタンプを使用するときに、□をクリックしてチェックを付けます。

クリックしてチェックを付けます。　☑ 音声ﾀｲﾑｽﾀﾝﾌﾟ

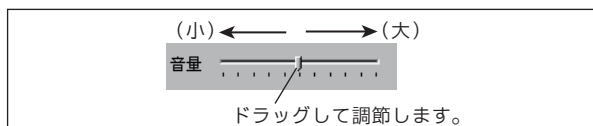
◆音声タイムスタンプを使用すると

録音内容を再生する前に、タイムスタンプをアナウンスします。「年」と「秒」はアナウンスしません。

ワンポイント

- 音声タイムスタンプを使用する状態で音声ファイルをWaveに変換すると、「音声タイムスタンプ＋録音内容」が1つのファイルになります。タイムスタンプの「年」と「秒」はWave形式のファイルには含まれません。

●再生音量の調節

再生音量を調節します。右へドラッグすると音が大きくなります。

この調節を行うと、パソコンのほかの音量も変わります。

●メモを付ける

選択したファイルに録音内容や担当者名などの「メモ」を付けることができます。再生中または再生停止中に操作できます。

ワンポイント

- メモは全角64文字、半角128文字まで入力できます。
- メモの入力で改行を行なった場合は、以降のメモはファイル表示欄には表示されません。

USB データ転送

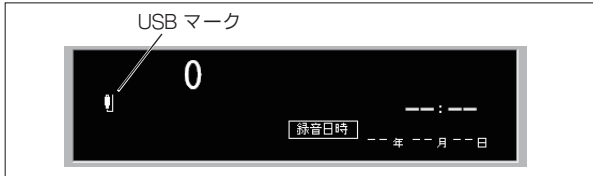
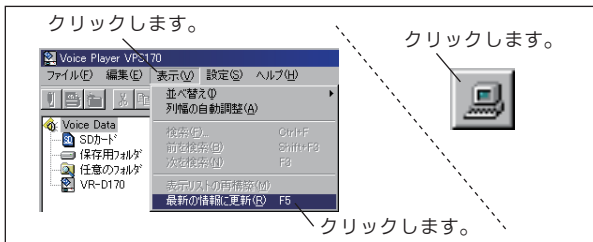
本ソフトをインストールしたパソコンと VR-D170 本体装置を USB ケーブルで接続して、本体装置にセットされた SD カードの音声ファイルをパソコンのハードディスクなどに転送することができます。
データ転送には手動転送と自動転送の 2 種類があります。

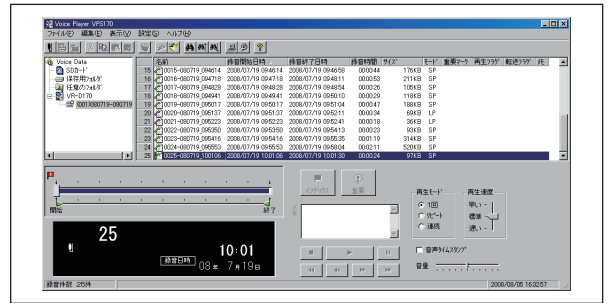
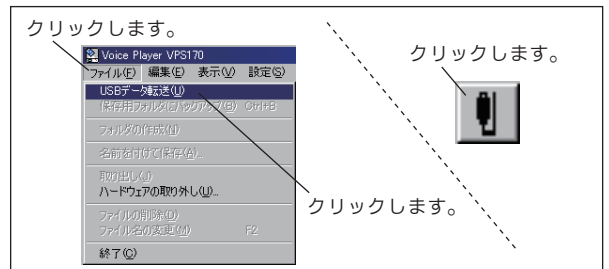
■手動転送

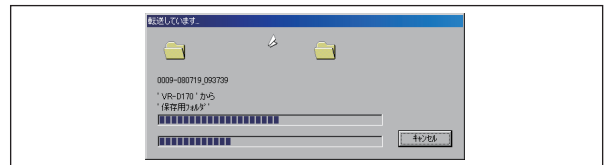
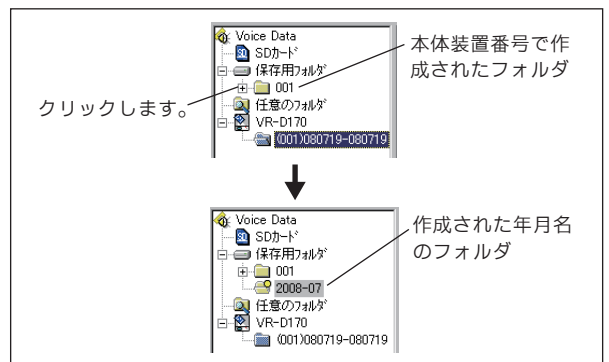
手動転送は、本ソフトの【基本画面】から、「USB データ転送」を選択して行ないます。
本体装置にセットされた SD カード内の未転送の音声ファイルを一括して保存用フォルダに転送コピーします。

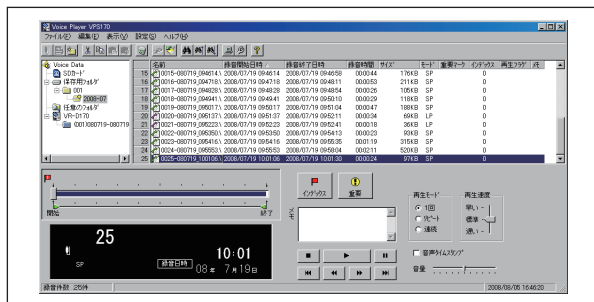
① 本ソフトを起動して【基本画面】を表示しておきます。

② 本体装置に SD カードをセットします。
※電源は、USB 経由でパソコンから供給されます。電源アダプタを接続する必要はありません。

③ VR-D170 本体装置とパソコンを USB ケーブルで接続します。
※本体装置との接続が完了すると【基本画面】のディスプレイに「USB」マークを表示します。

④ メニューバーの「表示」→「最新の情報に更新」をクリックまたは、ツールボタンの［最新の情報に更新］ボタンをクリックします。

※本体装置 SD カード内のフォルダを表示します。

⑤ フォルダをクリックします。
※フォルダ内の音声ファイルを表示します。

⑥ メニューバーの「ファイル」→「USB データ転送」をクリックまたは、ツールボタンの［USB データ転送］ボタンをクリックします。

※転送の確認画面を表示します。

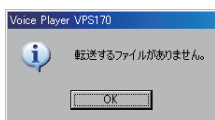
⑦［はい］ボタンをクリックします。
※以前に転送されていないデータの転送を開始します。

⑧ 転送が終了すると、保存用フォルダの中に装置番号（装置名）のフォルダと、その下に年月名のフォルダが表示されます。

⑨ フォルダをクリックします。

※フォルダ内の音声ファイルを表示します。

お願い

● 手順⑤で、本体装置のSDカード内ファイルを再生するなどの操作はできません。保存用フォルダに転送してから操作してください。
ファイルの操作、再生の操作などは「ファイルの操作」(60ページ）および「再生」(68ページ）と同じです。

ワンポイント

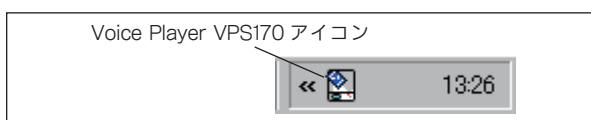
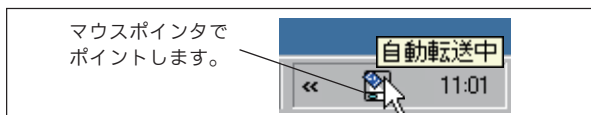
● USBデータ転送で転送されたファイルは、転送済み扱いとなり、再度転送はできません。

● SDカード内に未転送の音声ファイルがない場合は、次の案内を表示します。

● 1台のパソコンに2台以上の本体装置をUSB接続した場合は、最初に接続した装置だけが使用できます。

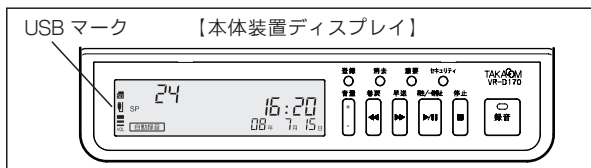
■自動転送

自動転送は、パソコンとUSBケーブルで接続されたVR-D170本体装置で通話録音が発生するたびに、SDカードの音声ファイルを保存用フォルダに転送コピーします。

自動転送を行なうには、本ソフトの「USB転送設定」で“自動転送を行う”をチェックします。この設定を行なうと、本ソフトは自動的にパソコンの「スタートアップ」に登録されます。詳しくは「設定」(76）ページを参照してください。

① パソコンを起動して、タスクトレイに「Voice Player VPS170」のアイコンを表示していることを確認します。

② アイコンをポイントして“自動転送中”と表示することを確認します。

③ SDカードをセットしたVR-D170本体装置とパソコンをUSBケーブルで接続します。

※本体装置の電源は、USB経由でパソコンから供給されます。電源アダプタを接続する必要はありません。

④ 本体装置のディスプレイにUSBマークを表示することを確認します。

⑤ 以後、本体装置で通話録音が発生すると、そのつど音声ファイルデータが保存用フォルダに転送されます。

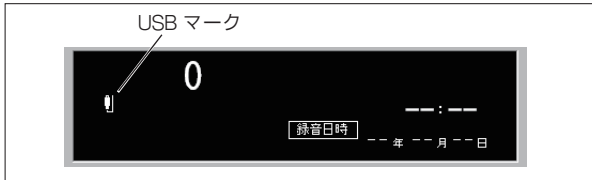
ワンポイント

● 転送データは、保存用フォルダの中に装置番号（装置名）のフォルダと、その下に年月名のフォルダを自動的に作成して保存されます。

自動的に作成された装置番号（装置名）のフォルダと、年月名のフォルダ

◆タスクトレイにアイコンの表示がないときは

① 本ソフトを起動し、「設定」ボタンで“自動転送を行う”にチェックが付いているか確認します。
「ソフトの起動」(53 ページ) および「設定」(76 ページ) を参照してください。

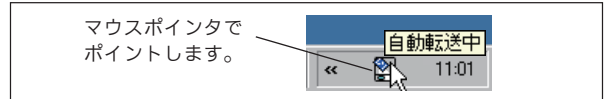
② 【基本画面】のディスプレイに USB マークを表示していることを確認します。

③ [ー] (最小化) ボタンまたは、タスクバーの [Voice Player VPS170] をクリックして、本ソフトを最小化します。

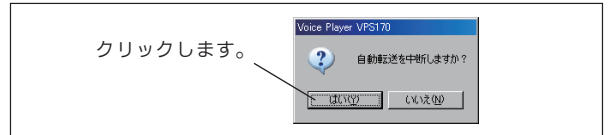
ワンポイント

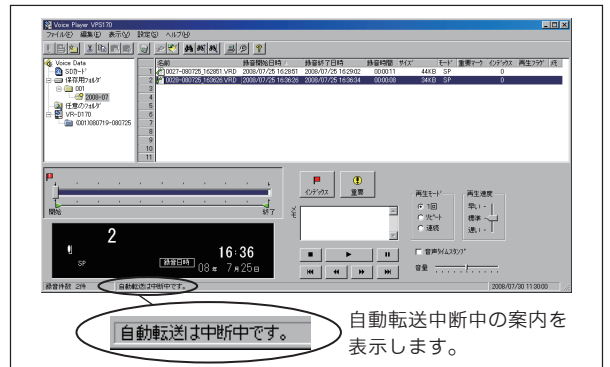
● 本ソフトを終了したときやパソコンをシャットダウンしたときは自動転送は行ないません。この間の通話録音データは、次に本ソフトが起動したときに自動転送されます。

●自動転送中に再生などの操作を行なうと

音声ファイルの再生やファイルの操作などで、【基本画面】を開いているときは自動転送機能は中断されます。操作終了後、ソフトを最小化すると自動転送機能を再開します。

① 自動転送機能が動作中は、タスクトレイのアイコンをマウスポインタでポイントすると“自動転送中”と表示します。

② アイコンを右クリックして [元のサイズに戻す] をクリックします。

※“自動転送を中断しますか？”の確認画面を表示します。

③ [はい] ボタンをクリックすると【基本画面】を表示します。

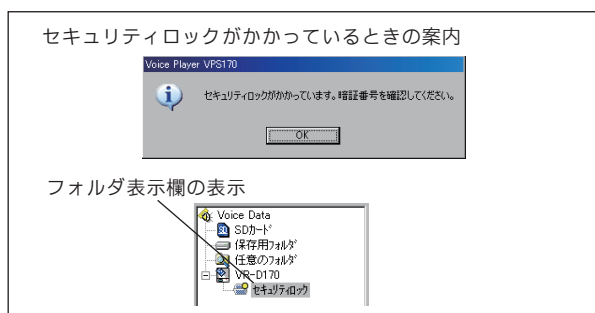
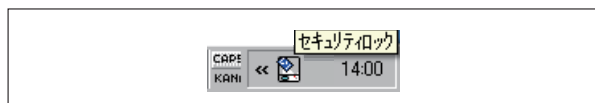
④ 保存用フォルダを選択してデータを表示します。

再生などの操作は、本取扱説明書の該当ページを参照してください。

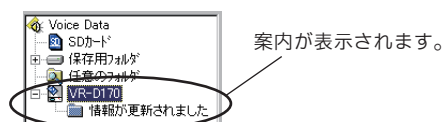
⑤ 操作が終了したら [ー] (最小化) ボタンまたは、タスクバーの [Voice Player VPS170] をクリックして、本ソフトを最小化します。

ワンポイント

● 画面を開いた状態で、約 10 分間マウス・キーボード操作を行なわないと、本ソフトは自動的に最小化してデータの自動転送機能を再開します。

■セキュリティロックについて

パソコンに接続した本体装置にセキュリティロック（20ページ）が設定されているときは、装置の暗証番号と本ソフトの「設定　装置名」（78ページ）で登録したその装置の暗証番号が一致しないとセキュリティロックが働きます。
この場合は次の表示となり、本体装置SDカードの音声ファイルを表示することができません。
暗証番号を確認して登録しなおしてください。

セキュリティロックが動作中は、タスクトレイのアイコンをマウスポインタでポイントすると“セキュリティロック”と表示します。

USB接続中のVR-D170フォルダについて

本ソフトと本体装置がUSB接続中のフォルダ表示欄には、本体装置の状態に変化があるとVR-D170のフォルダ名に次のような案内を表示します。

● 「情報が更新されました」
・新しい通話録音や再生などの操作がありました。［最新の情報に更新］をクリックして状態を確認してください。
新しい通話録音があったときは、手動転送の場合は「USBデータ転送」を行なってください。
また自動転送の場合は、本ソフトを一旦最小化してください。新しく追加されたデータが転送されます。

● 「情報が取得できません」
・SDカードのライトプロテクトがロックされています。確認してください。
※［最新の情報に更新］をクリックしたときなどに表示されます。

● 「SDカードがありません」
・本体装置にSDカードが取り外されたか、セットされていません。確認してください。
※［最新の情報に更新］をクリックしたときなどに表示されます。

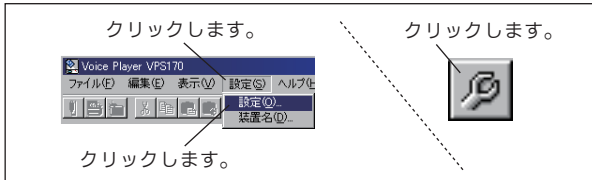
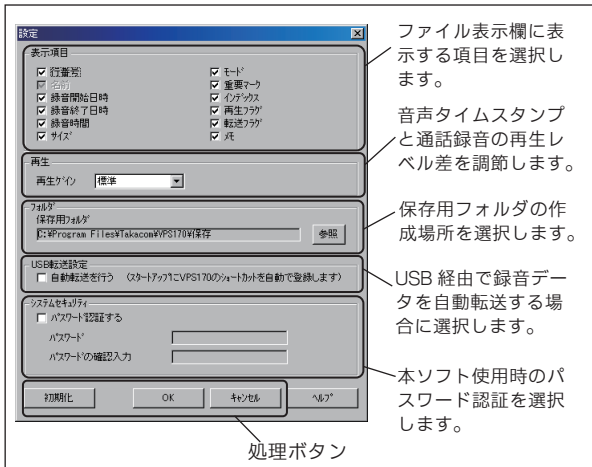
● 「本体操作中」
・本体装置で録音・再生・登録などの操作が行なわれています。
※［最新の情報に更新］をクリックしたときなどに表示されます。

● 「セキュリティロック」
・接続した本体装置の暗証番号と、登録されている暗証番号が一致していません。確認してください。

設定

■動作条件の設定

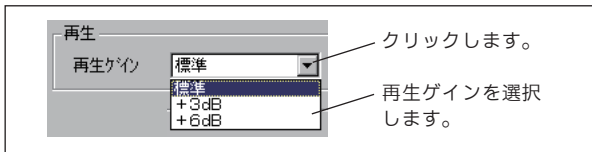
本ソフトの動作条件を設定します。

① メニューバーの「設定」→「設定」をクリックまたは、ツールボタンの［設定］をクリックします。

※【設定】画面を表示します。

② 次の各項目を必要に応じて設定します。

・**表示項目**

チェックを付けた項目がファイル表示欄に表示されます。「名前」を非表示にすることはできません。

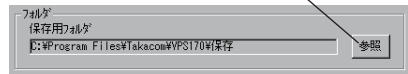
・**再生**

通話録音の内容が音声タイムスタンプの音量に比べて小さいときは、再生ゲインを「標準」から「＋3dB」または「＋6dB」に変更してください。

変更した環境は、Wave ファイルで保存するときにも適用されます。Wave ファイルに変換後は、変更は反映されません。

・**保存用フォルダ**

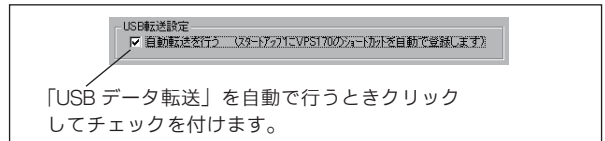
SD カードの音声ファイルをバックアップするときおよび USB 接続でデータを転送するときに、音声ファイルを保存する「保存用フォルダ」をどこに作成するかを指定します。

初期はプログラムをインストールしたフォルダ内に作成されます。

［参照］ボタンをクリックして、フォルダの場所を指定します。

USB 接続でデータを転送を行なった場合は「保存用フォルダ」内に、装置番号または装置名のフォルダを自動的に作成します。

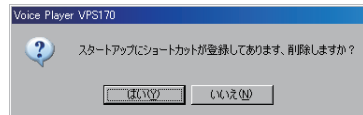
・**USB 転送設定**

USB 経由で音声データの自動転送を行なうときに選択します。

「USB データ転送」を自動で行うときクリックしてチェックを付けます。

「自動転送を行う」にチェックを付けると、本ソフトはパソコンのスタートアップに登録され、パソコンの起動時にタスクトレイにアイコンを表示します。

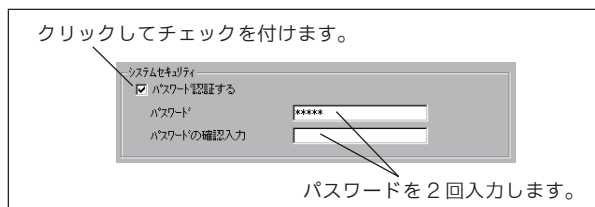
本ソフトが最小化された状態で VR-D170 本体装置とパソコンが USB 接続されると自動的にデータ転送を行います。また USB 接続されている状態では、VR-D170 本体装置で新たな通話録音があるたびにデータが転送されます。

ワンポイント

● USB 転送設定で「自動転送を行う」のチェックを外して［OK］ボタンをクリックすると、次の確認画面を表示します。

・［はい］ボタンをクリックすると、パソコンのスタートアップから本ソフトのショートカットを削除して設定を変更します。

・［いいえ］ボタンをクリックすると、パソコンのスタートアップに本ソフトのショートカットを残して設定を変更します。

・**システムセキュリティ**

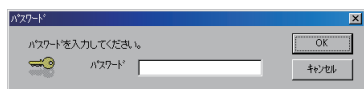
本ソフトを使用するときに、パスワードの認証を行うように設定できます。

パスワードは、半角 20 文字まで登録できます。

お願い

● パスワードを忘れると本ソフトの【基本画面】が開かず操作することができなくなります。ご注意ください。

ワンポイント

● パスワードを設定すると‥‥

本ソフトの画面を開くときに次のような【パスワード認証】画面を表示します。

パスワードを入力して、［ OK］ボタンをクリックします。

● パスワード認証を中止するときは‥‥

「パスワード認証する」のチェックを外します。

※パスワードを無効にする確認メッセージを表示します。

［はい］ボタンをクリックします。

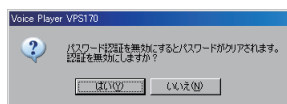
③ 設定・変更した内容を、処理ボタンで確定します。

・**［OK］ボタン**

設定・変更した内容を保存して終了するときにクリックします。

・**［キャンセル］ボタン**

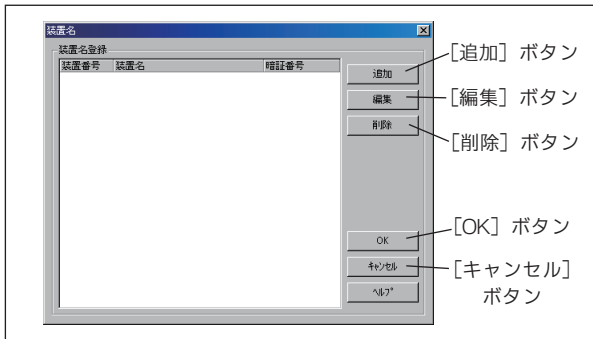
設定・変更した内容を保存しないで終了するときにクリックします。

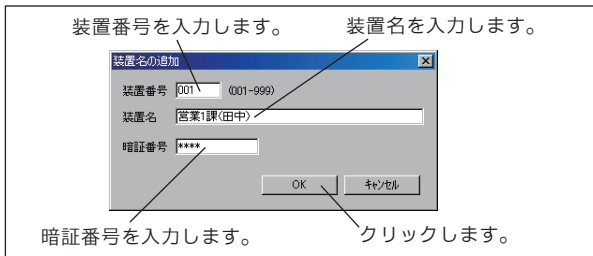
・**［初期化］ボタン**

設定内容をすべて初期値に戻すときにクリックします。

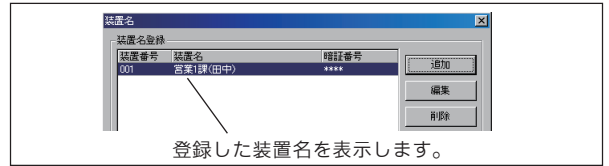
■装置名の登録

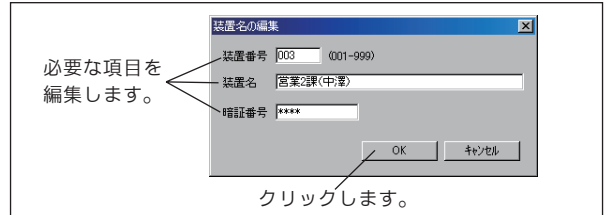
通話録音装置 VR-D170 の装置名と必要であれば暗証番号を装置番号ごとに登録・変更します。
装置名は、本ソフトのフォルダ表示欄に、各装置の装置番号に変わって表示されます。

① メニューバーの「設定」→「装置名」をクリックします。

※【装置名】画面を表示します。

② 新しい装置名を登録するときに［追加］ボタンをクリックします。

・【装置名の追加】画面が表示されます。

・通話録音装置の装置番号を入力します。001～999 の 999 台まで登録できます。
・該当装置の装置名を登録します。全角半角の区別なく 20 文字まで登録できます。部署名、担当者名など解りやすい名前で登録することをお奨めします。
・本体装置に「セキュリティロック」が設定してある場合は、その暗証番号を入力します。各桁 1～6 の 4 桁の数字で登録します。

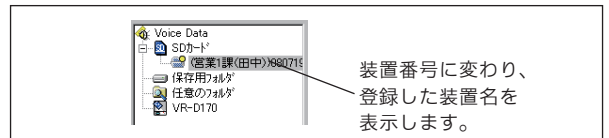
・[OK]ボタンをクリックすると【装置名】画面に戻り、新しい装置名が一覧に表示されます。

・続けて登録するときは、この操作を繰り返します。

③ 登録済みの装置名を変更するときは、該当の装置を選択して［編集］ボタンをクリックします。

以降の操作は、追加と同じです。

④ 登録済みの装置名を削除するときは、該当の装置を選択して［削除］ボタンをクリックします。

・装置名が削除され、【装置名】画面から削除されます。

⑤ 登録・変更した内容を、保存して終了するときに［OK］ボタンをクリックします。
［キャンセル］ボタンをクリックすると、登録・変更した内容を保存しないで終了します。

●装置名が表示されたフォルダ一覧の例

ワンポイント

● 装置名の登録画面で､｢装置番号｣または｢装置名｣の項目をクリックすると、それぞれの項目で並べ替え（ソート）ができます。

ツールボタンについて

【基本画面】に表示しているツールボタンをクリックすると、メニューバーから項目を選択するのと同じ操作がワンタッチで行えます。各ボタンの操作内容を下表に示します。

ボタン表示	ボタン名	操　作　内　容
	USB データ転送	USB 接続した本体装置から、SD カードの音声ファイルをパソコンに転送します。
	保存用フォルダにバックアップ	SD カードの音声ファイルを一括して保存用フォルダにコピーします。
	フォルダの作成	保存用フォルダの下にフォルダを新規に作成します。
	切り取り	音声ファイルを切り取りします。
	コピー	音声ファイルをコピーします。
	貼り付け	音声ファイルを貼り付けます。
	Wave に変換して貼り付け	音声ファイルを Wave 形式に変換して貼り付けます。
	ファイルの削除	音声ファイルを削除します。
	取り出し	SD カードを安全に取り出します。
	ハードウェアの取り出し	リムーバブルディスクなどの外部装置を安全に取り外します。
	検索	ファイル名などを入力して音声ファイルを検索します。
	前を検索	現在位置より前のファイルを検索します。
	次を検索	現在位置より先のファイルを検索します。
	最新の情報に更新	SD カードや本体装置の情報を最新の情報に更新します。
	設定	本ソフトの動作条件の設定や装置名の登録をします。
	ヘルプ	電子ファイル（PDF）の取扱説明書を表示します。

主な仕様

■ VR-D170 本体装置 仕様

項目		仕様	備考
接続方式 （音声入力方法）	受話器接続	受話器モジュラー端子（送受話端子番号切り替え可）	
	外部入力接続	3.5φモノラルミニジャック インピーダンス　20KΩ	
録音	録音媒体	SD カード（128MB, 256MB, 512MB, 1GB, 2GB）	
	録音方式	自動録音 手動録音／手動ビギニング録音	
	起動方式	音声起動	
	総録音時間	5 ページ参照	
	最大ファイル数	9999 個（1 枚の SD カードに保存できる最大数）	
時計精度		月差± 60 秒（通電時、25℃）	
USB インターフェース		USB 2.0/1.1　ミニ B コネクタ	
外形寸法		幅 180mm ×奥行き 260mm ×高さ 15mm	ゴム足含まず
質量		約 400g	
電源	電源	AC100V ± 10V（専用電源アダプタ）	
	消費電力	約 3.5W	
USB 電源供給		5V 500mA	
停電時の時計保証		約 10 年間	

■VR-D170AⅡ 本体装置 仕様

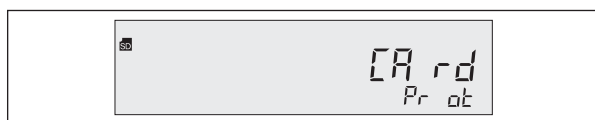
項目		仕様	備考
接続方式 （音声入力方法）	回線接続	アナログ一般回線 1 回線 モジュラー接続	
	受話器接続	受話器モジュラー端子（送受話端子番号切り替え可）	
	外部入力接続	3.5φモノラルミニジャック（インピーダンス　20 KΩ）	
録音	録音媒体	SD カード（128MB, 256MB, 512MB, 1GB, 2GB）	
	録音方式	自動録音 手動録音／手動ビギニング録音	
	起動方式	音声起動／外部起動	
	総録音時間	5 ページ参照	
	最大ファイル数	9999 個（1 枚の SD カードに保存できる最大数）	
外部起動入力	端子位置	電話機接続ジャック（2-5 番ピン）	
	接点仕様	無電圧メーク／ブレーク （接点容量：DC5V 10mA 以上、接点抵抗：1 KΩ以下）	最小信号時間 200ms 以上
VR OUT 端子	音声出力	最大 0dBV （600 Ω負荷時）	
	接点出力	無電圧メーク（接点容量：DC30V 500mA 以下）	
時計精度		月差± 60 秒（通電時、25℃）	
USB インターフェース		USB 2.0/1.1　ミニ B コネクタ	
外形寸法		幅 180mm ×奥行き 325mm ×高さ 24mm	ゴム足含まず
質量		約 470g	
電源	電源	AC100V ± 10V（専用電源アダプタ）	
	消費電力	約 3.5W	
USB 電源供給		5V 500mA	
停電時の時計保証		約 10 年間	

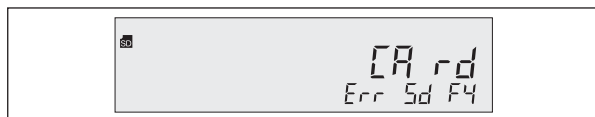
故障とお考えになる前に

■ VR-D170/ VR-D170AⅡ 本体装置

こんなときは	お確かめください	参照ページ
ディスプレイに表示が出ない。	電源アダプタが電源コンセントから外れていませんか？	24/39
ディスプレイに“CArd”と出て操作できない。	SD カードは奥までしっかりと入っていますか？	6
ディスプレイに“FULL”と出て操作できない。	SD カードを使い切りました。交換するか、不要な録音を消してください。	14/38
録音ランプが緑点灯のままで、録音が始まらない。	録音起動方式は合っていますか？ 録音のレベル調整を行ってみてください。	25/40 26/42
録音が別々のファイルに分かれてしまう。	最大録音時間を越えて録音していませんか？ 音声起動方式で、通話の音声が小さいか、または途中で無音がありませんでしたか？	30 13/37
ファイルの消去ができない。	重要マークが付いたファイルを表示しているときに操作していませんか？	19
［再生］や［登録］のボタンが押せない。	セキュリティロックが設定されていませんか？ ［セキュリティ］ボタンを押して､暗証番号を入力してください。	20

●ディスプレイのエラー表示

・SD カードの書込み防止スイッチがロックされていると、右図のように表示します。ロックを解除してください。

・SD カードを差し込んだときに、右図のように表示した場合は、もう一度差しなおしてください。

・SD カードに異常が発生すると、右図のように表示します。SD カードをフォーマットするか取り替えてください。

※エラー表示中に［登録］ボタンを押すと､SD カードのフォーマットができます。フォーマットの方法については、本書６ページの「フォーマット」を参照してください。

※ SD カードエラー表示の例

■再生ソフト VPS170

こんなときは	お確かめください	参照ページ
パソコンが動作しない。	パソコンの動作環境は合っていますか？ OS やメモリー容量などを確認してください。	48
フォルダ表示欄に、SD カードのフォルダや USB 接続した VR-D170 のフォルダが表示されない。	［最新の情報に更新］ボタンをクリックしてください。	55 72
ファイル表示欄のファイルの、再生などができない。	USB 接続した VR-D170 の SD カードデータは操作できません。パソコンに保存してから操作してください。	73
本体装置と USB 接続できない。	VR-D170 の USB ドライバが正しくインストールされていますか？ USB ドライバの COM ポート番号が 1 ～ 16 以外ではないですか？ USB ケーブルを一度パソコンから抜いて、5 秒以上後に接続し直してください。 VR-D170 本体の電源入れ直しと、「VPS170」の再起動を行ってください。	51 51 24/39
SD カードのフォルダ名に「アクセスできません」と表示される。	SD カードの書込み防止スイッチがロックされていませんか？	55

アフターサービスについて

- 本書は、下記記載の保証条件で無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社営業所に修理をご依頼ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。お買い上げ店または当社営業所へお問い合わせください。
- 本品の故障・誤操作または不具合により、通話などの利用機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

保　証　書

型　名	通話録音装置 VR-D170/ VR-D170AⅡ
保証期間	お買い上げ日より１年間
お買い上げ日	年　月　日

お客様		
	お名前	様
	電話番号	（　）　―
	ご住所	〒

販売店名／住所／電話番号

保　証　条　件

1 保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常なご使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社営業所が無料修理いたします。
2 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社営業所に製品と本書をご持参またはご送付ください。尚、修理ご依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送付費用などはお客さまのご負担となります。
3 保証期間内であっても、次の場合は有料修理となります。
① 保証書の提示がない場合
② 保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合
③ 保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合
④ 誤ったご使用方法で故障または損傷した場合
⑤ 輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合
⑥ 火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合
⑦ 本製品に異常がなく、本製品以外の部分（例えば、電話線・電源・他の機器など）の不良を点検または改善した場合
⑧ 不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合
⑨ 消耗品を交換した場合
4 この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
5 この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
6 ご贈答品、ご転居後の修理については、最寄りの当社営業所にご相談ください。

使い方・取付け方などのご相談

お客様相談センター 0570-03-8811

受付時間：月～金 9：00 ～ 17：30 （土・日曜日、祝日、弊社指定休日除く）

修理に関するご相談

●製品の修理につきましては、お買い上げの販売店様または弊社「修理センター」へお問い合わせください。

弊社ホームページ http://www.takacom.co.jp
「サポート修理センターご案内」をご覧ください。 株式会社タカコム 検索

株式会社タカコム　本社・工場／〒 509-5202　岐阜県土岐市下石町西山 304-709

支店／営業所名	住所、電話番号	担当地区
東京支店	〒 103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 2-9-8（日本橋 MS ビル） 電話：03-5651-2281	関東、甲信越地区
札幌出張所	〒 060-0061 札幌市中央区南 1 条西 10 丁目 4-167（小六第一ビル） 電話：011-271-0225	北海道
仙台出張所	〒 980-0011 仙台市青葉区上杉 1 丁目 6-10（仙台北辰ビル SEED21） 電話：022-726-7300	東北地区
名古屋営業所	〒 464-0075 名古屋市千種区内山 3-10-17（今池セントラルビル） 電話：052-734-6601	東海、北陸地区
大阪営業所	〒 542-0081 大阪市中央区南船場 2-5-23（自重堂ビル） 電話：06-6260-4611	近畿地区
広島営業所	〒 733-0021 広島市西区上天満町 3-19（第 2 横山ビル） 電話：082-291-6400	中国、四国地区
福岡営業所	〒 812-0042 福岡市博多区豊 1-3-14（佐藤ビル） 電話：092-431-1942	九州地区、沖縄県

P1MK01070060R　Jul.2011